

そ

そ その発音は、しょになる事が有る。

そ【名詞】 麻、麻糸。複合して用いられる事が多い。あ
おそ、しろそ。[会話] アオソやなあ(です)、あれ
は家で 作りおったけどなあ(作って居ました)。
作って(畑で耕作して)剥いて それで あやまあ
(あれは) なんえ(何に)でも 使われるけどなあ
(使えますが)。シロソは 作らへんけど(ないが)、
アオソは作って、戦争中に 下駄の鼻緒が ないもん
でなあ(無いもので)アオソして 作りおったんやわ
い(作って居たのです)。シロソ 白い、祝に使うな
(使うのは)シロソ言うやんない(でしょう)。普通の
縄のおたり(なったり) すんな(するのは)アオ
ソ。アオソと、シロソとなあ シロソは結婚式の扇子
に 縛って有ったりする、祝いの時 シロソ使うしな
あ(使います)。

そ【終助詞】 1) か。誰ゾに聞け。2) 終助詞、疑問と
呼応して、反語や疑問を強めるのに用いる。(志、桑
市、鈴市、亀、津、久、松、多、阿、度、伊、熊)
[会話] 1) 誰ゾ おらへんか(いませんか)、誰ど
おらへんか 言うてなあ。”ゾ“言う人も 有るやろ
けどなあ(有るでしょうが) おおかた(大体、大多
数) 誰ど おらへんか 言うて 此処らは “ど”や
なあ(です)。誰も おらへんのを(居ないのを)、誰
かなあ言うのを 誰ど言うて 誰か おらへんかなあ
言うてもええねやけど(良いのですが) 心やすい(気
やすい)人に 言う時はなあ(には) 誰ど おらへん
かなあ 言うて。

そいじゃあ(そいぢゃあ)【接続詞】 それでは(鳥、一、
阿、北) そいで参照

そいだけ それだけ(志(布施田)、上、阿)

そいたら そおしたら。(三、鈴市、伊、北) [会話]
そしたら(そうしたら) こげんするかい(こなんにし
ますか) 言うてな、そしたら言うねけどな(のです)
その そしたら よお言わんで(言えなくて)、ソイ
タラ 言う にげ(人間) な(が) あんねわい(有る
のです)。そしたら こんだ(今度は) こげん(こん
なに) しょおか(しようか) 言うてな、そげん(そん
なに) したら言うて言うし。

そいつ【代名詞】 1) その奴 そやつの訛(大言海) そ
いつら 参照(鈴市、鈴郡、松、多、度、伊、尾)
2) その物(志、鳥、桑郡、伊賀地方)

そいつら(人)【代名詞】 其の奴ら そいつの複数形
(鈴市、多、伊、尾) [会話] ソイツラが。あいつや
(だ)ソイツや こいつや 言うて、どいつも こい
つも 皆 まあ どくな(ろくな) もん(者) や
(で) ねえわ(無い) 言うて、よお(よく) 言うやん
かい(言います)。

そいて(そうして、さうして)【接続詞】 そおして、そ
れで、それでの変化した語。(志(片田)、三、鈴市、
鈴郡、安、伊、尾、北) [会話] そして 言うね(言
うのです) ソイテ 言うな(のは) 舌な(が) まあら
ん(廻らない) 人な(が) 言う事や(です) そして
言うねわい(言うのです)。

そいで【接続詞】 それで。(志(鶴方、神明、立神、国
府)、鳥、桑市、鈴市、安、一、松、上、阿、張、度、
伊、北、尾、熊) [会話] それで 言うのなあ(で
す) そんで(それで) 言うて、ん を付けるけどなあ
(付けます)。その人ん(に) よって、ソイデ 言う
人も あんね(有るのです)。そいじゃ(それでは)
言う人も有るしなあ。

そいといて そうしておいて、そうして。(北) [会話]
そしといて言うのなあ(です)、わがと(自分が) し
ておって(しておいて) ソイトイテ おって(居て)
おらん(俺に) かずけて(なすりつけて) とか、言う
時んなあ(に)。

そいな そんな、其の様な。そげな(志(御座、立神、
甲賀、国府)、鳥、度、北) [会話] ソイナ事言うた
ててなあ(言っても)、そげな(そんな) 事言うのを
ソイナ事 言う人もあるしなあ(有ります)。うなじ
(同じ) 意味の言葉やけど(ですが) 言う人によって
なあ、そげな事なあ 言う人と、ソイナ事になあ 言
う人となあ(有ります)。ソイナ事言うのと そげな
事言うのと一緒や(です)。

そいなこた そんな事は

そいなな そんなものは そんなのは [会話] 男な
(が)、おなご(女)の のおを(のを)、男のけえ
(毛)で切ったんねわい(切ってやるそうです) け
ぎれ言うて、ソイナナ 昔から言うわい(言います)。

そいなね そんなのです [会話] そおやから(だか
ら) 言うのを、そやもんで言うねなあ(のです)、ソ
イナネもんでなあ(そんなのだから) 言うてな。

そいなねもんで それだから [会話] そおやから(そ

うだから) 言うのを、ソイナネモンデ言うてなあ。
そいなのかい そんなのですか。そうだろうか。
そいなもん そんな物(者)(志(甲賀)) [会話] おら
(俺は) ソイナモン いなもん (いらぬ)、使い
道な(が) 無いもん (無いか) 言うて。
そいなもんどこか そんな物には関わって居られない。
そんな物どころか。
そいなら【感動詞】 1) それなら。2) それでは。3)
別れの挨拶、そんなり。
そいなんかい そんなのですか。そうですか。[会話]
そげなんかい言うけどな(言います)。そげななあ
(そんな) 言う時も 有るしなあ。ソイナカイ言う
てな そおかい (そうですか) 言うのをな そげなん
かい。そおですか言うのをな ソイナカイ 言うのな
(です)。
そいなんこ そんなのですか。そうだろうか。[会話]
そおかなあ言うのを ソイナコ 言うて 感心したよ
おん (ように) 言うのなあ (言うのです)。
そいなんなら その様なら
そいなんやったら その様だったら
そいなんやれ そんなのだ
そいに【副詞】 そのように そんなに(志(国府、御座、
立神、甲賀)、鳥、桑市、一、度) [会話] そげに
言うねやんか(のです)。そげな (そんな) 事 言う
たてて (言っても) とか。仕事すんの (するの)に
下手な事すると ソイニしたら はざんやんか 言う
て、そんなにしたら 言う事、そげん せんと (せぜ
に) こげん (こんなに) せんかれ (しなさい) 言うて
おせごと (教え事) する 時な(です)。
そいら(其奴等)【代名詞】 “そいつら” の変化した語。
そこの奴ら。(志(布施田)、鈴市、北)
そいん そんなに。[会話] むすめや (娘は) たけてか
れ (年取って行く) 言うて、ソイン言う事も有るし
(有ります)。
そう(そふ)【自ワ五】 つれ添う 1) 仲間に入る
2) 結婚する
そえ(そへ)【添】【名詞】 添えて有る物。
そえな そんな その様な(志)
そえに そんなに
そえもり【名詞】 御飯をよそう時、二度に分けてよそう
後の行為。少しよそう事も有り、よそうまねだけの時
も有る。[会話] ひとしゃくし飯 (一度に茶碗一杯
に) すんな (するな) 言うけど、皆 ちよいと (少
し) づつ ソエモリ するけど (するが)。ソエモリ

言うのは ちよいと (少し) もりまね (よそうまね)
すんのなあ (するのです)。
そえん そんなに、そげん参照(志(布施田)) [会話]
ソエン 言う人も 有るなあ (有ります)。そのにげ
の (人、人間の) 癖やなあ (です)。そげんなあ 言
う人と、ソエン言う人も有るし、その人の癖やろなあ
(でしょう)。おおた (おお) ソエンよけ (沢山) 呉
れて、気の毒なあ (です) 言うなあ (言います)。
そげんよか (沢山) もてくのか (持って行くのか) 言
うたり、うなじ (同じ) 言葉やけど (ですが) いろい
ろと 人によって 発音も違うねてや (違うのです)。
あぜって (もつれて) 言う人も有るし ぷつりんと
言う人も有るし、やんな (でしょう) うなし 言葉言うの
でも ソエン 言うのと そげん 言うのと そんな言う
のと みんな (皆) うなじ事 なんやけどなあ (なの
ですが)。そげん 言うのと 一緒やなあ (です)。ソエン
言う人も 有るんやてや (有るのです)。ソエン 言う
となあ うた (ああ) ああ言うの見よまあ (見なさ
い) わがとら (自分達は) 言うのは そげん 言うもん
でなあ (ので) ソエン 言うの(のが) おかしかった
(面白かった)。
そえんすや そうすれば [会話] ソエンスヤ だ まあ
出来てくねない(行くのだ) 言うてなあ。なん (何)
でも ソエンスヤええのに(よいのに) とか、こえん
(こんなに) すや 出来るやんかあ (でないか) 言う
て。そおすや (そおすれば) 言うのをなあ、ソエンス
ヤ とか あえんすや (あんなにすれば) とか 言う
てな。
ぞお(ぞう、ざふ)【雑】【名詞】 浜辺に 打ち上げられ
た海藻 [会話] ゾオ 言うてなあ、もお (藻) や
(とか) 荒布や、てぐさ (天草) や いろんな もん
(物) な (が) 浜の ないざ (渚) い (へ) 一杯よっ
て来んねわい (来るのです)、五月のはえ (南風) ん
(に) なるとなあ。生えもん (生え物) な (が) 抜け
んねやんかな (抜けるのです)。海藻類 な (が) みん
な (皆) 寄ってくんの (来るのです) はえ (梅雨) ん
(に) なる
ぞお(ぞう、ざふ) 雑
そおいや(さういや)【然言】 そう言えば
そおか(そうか) そおかい(そうかい) そおですか、本
当ですか。肯定と疑問と両方に使用する。やゝ発音を
異にする。[会話] そおやなあ (そうですね)、ソオ
カナ (そうですか) 言う人も有るし ソオカイ 言う人
も有るしなあ(有ります)。その人によって ソオカ

イ 言う人も有るし、ソオカナ 言うて、ソオカイ そいなのかい (そんなのですか) 言うて。一緒の言葉で ソオカレ 言う。言いよお (言い方) が 違て (違つて) ソオカレ そげなんかれ、そいな (そんな) 事言うんかれ (言うのですか) うなじ (同じ) 言葉でも 色々。

そおかいなあ (そうかいなあ) (然) そおかいねえ。そおかいのお そうだろうか。そう、然う。さの転。打消しの語を伴つてその程度が甚しくない状態を表す。相手に対する軽い、疑い、驚きの気持ちを表す。

そおがかり (そうがかり) (総掛) 【名詞】 全員がその事にたずさわる事

そおがし (そうがし、さうがし) (騒) 【形容詞】 騒がしい やかましい サヤグ (喧擾) のサヤガシ、サウガシと転じた語 (大言海) さおがし参照

そおかな (そうかな) そうですか。そおかい参照

そおかゆうて そうかと言って、それでも

そおかれ (そうかれ) そうだろうか。疑問。そおかい参照 (志 (立神)、度)

そおかれえ (そうかれえ) そうだろうか疑問を呈する時。納得出来ない時。(志、鳥)

そおぎ (そうぎ) 【名詞】 屋根を葺く下地に用いる薄い板。そぎ (削) (志 (甲賀)、桑市、三、四、度) [会話] ソオギ、(削) きい (木) のうっすい (薄い) のおを (のを)、昔や (は) びんぼ (貧乏) な家や (は) 瓦葺よおせんやんない (瓦屋根に出来ないでしょう)。そやもんで (それで) くさやぶき (草屋葺) か ソオギブキ、今し (今) で言うて まあ、トタンの代りに ソオギブキき言うのなあ (言うのです)。ソオギブキ 言うな (のは) どえらい (大変) びんぼ な家は ソオギブキやなあ (です)。あの家や (は) ソオギブキ そして風な (が) こおして (吹いて) 来るもんで (ので) 石をおそたり (おそつたり、乗せたり) よおしいおつたもんやわい (よくして居たものです)。ソオギブキ 石 おそつたりして、どいらい 見苦し びんぼたらし (貧乏くさい) 思いおつたわい (思つて居ました)。片田の松山 (地名、字名) い (へ) 行くと 石の おそて有る家 片田の松山 は 乞食な (が) よけ (沢山) 有つたもんでなあ (有つたもので)、皆 ソオギブキ。石な (が) おそて (おそつて) 有つたなあ (有りました)。“あの ソオギブキ の 石な (が) おそてある家からもおて (貰つて) きたんやどお (来たのだぞ)” 言うて あんごし (馬鹿) 事すると “片田の石の置いて有る家へ やんどお

(やるぞ)”、子供を わるう (叱る) 時 言いおつた (言つていました)。波切 (地名) の地藏さんへ (に) 参つてたり (行つたり)、片田の稲荷さんへ 参つたり よお (よく) しおつたわい (して居ました)。伊勢へよお行かんし、二十四日 (カ) ん (に) なると しよんがつ (正月) 波切の地藏さんに参つてたり (行つたり) 片田のしよんがつ の七日 (ナノカ) は稲荷さん の 会式やよつて (だから) 稲荷さん 参つてく のを (参つていくのを) 伊勢行くよおおもて (思つて) よお行きおつたわい (よく行つて居ました)。

ぞおき (ぞうき、ざぶき) (雑木) 【名詞】 雑木 建築に用いる杉、桧以外の木

ぞおき (ぞうき) 【名詞】 のぼせ 上気 [会話] ゾオキすられ (します) あつうて (暑くて) 言うて。あつうて むさつて来ると (むしむしして来ると)、ゾオキすんなあ (する) 言うて。上気 言うのは そや (それは) ええ (よい) 言葉や (です)、暑い時にや (は) 今日 あつうて あつうて ゾオキ したよお (しました) 言うて。

そおぎではなふく 取り合わない。横を向いて居る。

そおぎぶき (そうぎぶき) 【名詞】 削葺 そおぎで葺いた屋根。そおぎ参照 (南)

ぞおきんおけ (ぞうきんおけ、ざぶきんおけ) (雑巾桶)

【名詞】 雑布を洗う桶 [会話] ゾオキンオケや (だ) 言うて、雑布を洗う桶や (だ) 言うて。

そおげだつ (ぞうげだつ) (総毛立) 【自タ五】 寒さや恐怖のため、全身の毛が逆立つ程ぞつとする。[会話] ソオゲダツて来た 言うてな。嫌な事 言うたりしたや (したら)。おおた あれ 見たや (ら) ぞつと したない (しました) 言うてな、怖いもん (物) 見たり 汚いもん (物) 見たりするとな、ぞつとするよおな なあ (だ) 言うて ソオゲダツよお 言うて、針な (が) 立つのをなあ ソオゲダツ。鳥肌だつた言わせんね (言わないのです) ソオゲダツ 言うてな。

そおこ (そうこ) そうですか。本当ですか。肯定と否定と両方に使用。(志 (浜島)) [会話] おおた (おゝ) そや (それは) そいなんこ (そんなのですか) 言うのを ソオコ 言うて べつんも (特に) 感心したよおん (ように)。

そおこお (そうこお、さうかう) (然斯) 【副詞】 何となく、きまつた事でなく、あれこれと、何や彼やと。[会話] ソオコオ しとる (している) うちん (間に) 日な (が) 経つてたれ (行つた) 今日 言うたり な。 あげん (あんなに) こげん (こんな) とし

とるうちん、ごてごてしとるうちん 言うてな、あれや それやを しとるうちん 日が 経ってた (ていった) 言うのをな、あげん こげん しとるうちん 日な (が) 経ってたれ (て行った)。今日は ごてごてと あげこげ (あれこれ) しとる 言うて、あげこげ 言うとる (言っている) うちん 日な (が) 経ってた とかな。

そおごお (そうごう、さいがう) (相好) 【名詞】 顔つき、人柄、容貌、姿。(志 (布施田)、津、尾) [会話] ソオゴオな (が) 変ってた (て行った) 言うのか (のですか)。あの人は 若い時は じっば (立派) なかつたけど (だったが)、今しゃ (今は) ソオゴオな (が) 変ってたなあ (て行ったなあ) 言うてなあ。ソオゴオな (が)、人相 な (が) 見やんと (見ずに) おると (居ると) 変っててなあ (行って) 言うて。顔つきや 体の格好とか、ふうてい (風体、みなり) な (が) 違ごて (違つて、変つて) 来るとなあ。あのひた (人は) なんやら (なにか) 病気かして (と思えて) ソオゴオな 変って来たなあ (来た) 言うて。顔だけやのおて (でなくて) 体も全体に ソオゴオな 変って来た。

そおこおするうち あれこれとする間

そおさ (ぞうさ、ざうさ) (造作) 【名詞】 1) 面倒をかけた、もてなしを受けたりした時などに、感謝の意を表す言葉。2) 面倒な事。(名、上、阿) [会話] 1) 世話かけたなあ (お世話になりました)。ゾオサかけてなあ (させました) 言うてなあ、なんか (なにか) 世話 になるとなあ、えらい (大変) ゾオサかけてなあ 言うて。なんやかや (なにかと) だんどり (準備) かけたりするとなあ、ゾオサやなあ (です)、大変や (だ) 言う言葉や (です)。御馳走してもおたり (貰ったり)、世話ん (に) になって 厄介になつたとか 言うて、ゾオサかけてなあ 言うてなあ (言います)。2) そんげな (そのような) ゾオサなこた (事は) せんでええわれ (しなくてよろしい) 言うてなあ。ゾオサな事せんと (せずに) 簡単にしときや (しておけば) ええわれ (よろしい) 言うてなあ。めんどくさい (面倒臭い) 事せんでも ええわれ 言う事やなあ (です)。

そおざい (そうざい) (総菜) 【名詞】 総菜。家庭で調理した日常のおかず、飯の菜、副食物。[会話] おかずかい (ですか)、ゾオザイ言うのかい。ざつとした おかず なあ、ソザイ で 食うた (食べた) 言うてな。いろいろ 野菜やなんやかや (とかいろいろ) を 炊

いて 混ぜて ソザイ で 食うたよお (食べました) 言うて、ソザイヤ (だ) 言うて。ゾオザイ言わせん (言いません) みんな (皆) まあ ごちゃごちゃん (に) しといて (しておいて) 真ん中い (に) 置いといて (ておいて) やうちな (一同が) ソザイ で 食うたよお 言うて。

ぞおさく (ぞうさく、ざうさく) (造作) 【名詞】 1) 作る事、又作られたもの。2) 修理 3) 顔のつくり、器量。(志 (布施田)) [会話] 2) なんやかや 直すの (のを) ゾオサクして 言うやんかい (言います)。家な (が) うちやれてくと な (壊れて行くと) ゾオサク せななあ (しなければ) 入いられやせんわれ (ない) 言うてな、直さな (なければ) はざん (いけない) 言う事、舟も うちやれて 来ると ゾオサク せななあ 乗られやせん (乗られない) 言うてな。3) 顔の ゾオサク 整形して貰え言うけど な (言います)、あの ゾオサク見よまあ (見なさい) 言うて、器量な (が) わり (悪い) のおなあ (のを)、あれも ゾオサクい (に) 掛けるとええん なあ (よいのだ) 言うて、あんまりだ (あまり) 器量な (が) わりもんで (もので)。

ぞおさない (ぞうさない、ざうさない)。ぞおさねえ (造作無) 【形容詞】 たやすい、簡単だ、手軽に出来る。[会話] なんも (なにも) そんだけのもん (それだけのもの) ゾオサネエワレ 言うて。なんでも 無いわれ (です) 世話無いわれ 言う事やなあ (です)。そんだけの もん なあ、なんでも無いわれ 言う事を、ゾオサナイやんか (でないか) 言うてな。そげな (そんな) 事する ばかん (だけに) ぞおさな いろかれ (要らない) 言うてな。

そおし (そうし、さうし) (草子、双子、册子) 【名詞】 双子、草子、習字などを習うため、半紙を綴じたもの。手習い草子。サウシ (册子) の音便 (大言海) [会話] しんぶんがみで ソオシ こしらえて、習字 書くの しよおった (しました)。紙でなあ してあるの 買うんけど (買うのだが) そや (それは) じっきん (すぐに) つこたるやんかい (使ってしまう)、そすと さいご (すると) しんぶんがみを綴じて ソオシ こさえよおったの (作って居たのです)。半紙な (が) 綴じて あんの (あるのです) ソオシや (だ) 言うて、十枚や 十五枚 綴じてあんの それい (に) 眞つ黒ん (に) 紙の 生地な (が) 判らんよん (ように) なる迄書きおつたね (書いて居たのです)

そおしき (そうしき、さうしき) (葬式) 【名詞】 葬儀、

葬送。死者をほうむる儀式。(志(鶴方、御座、片田、志島、浜島。)、鳥(相差、国崎、坂手、答志)) [会話] ソオシキ、てんてん、昔や(は) てんてんやんな(です)、ソオシキやおて(でなくて) てんてんな(が) あんね(有るのだ) 今日は言うて、てんてんえ行かな(なければ) はざんね(いけないのだ) 言うて。てんてん言うて、鉦ならすもんで(ので) あんで(あれで) 言よおったんやろなあ(いって居たのでしよう)。

そおしきど(そうしきど、さうしきど)【名詞】 葬儀の会葬者。どは人を表す。おくり参照 (志(布施田)) [会話] おくりど(送人) 言うて、ソオシキドの事を 言うけど。(言います)

そおしきまんじゅう(そうしきまんじゅう)【名詞】 葬式の時に会葬者に配る黄と白の饅頭 [会話] 饅頭をなあ なぬか(初七日) ん(に) になると すえよおったなあ(つけて居ました)。五つとか 七つとか ソオシキマンジウや(だ) 言うて 据えよおった。ひきでもん(引出物) みたよん(のように) して、饅頭をなあ、五つか 七つ つけよおったね(つけて居たのです)。きい(黄)と 白となあ 葬式は きい(黄)や 白や するけど(が) 祝いの のおは(のは) 紅白なあ、がっこ(学校)で、饅頭 ふたつつ(二つつ) もらよおったやんかい(貰らっていました)。紀元節(建国の日)や 天長節(天皇誕生日)や 言うて 饅頭もろて(貰って) 来ると、家までよお、もて来んと(もって来なくて) 道道 食う 子らな(が) あよおったなあ(有りました) おっちやく(横着)な 子らなあ(が)。

そおじまい(そうじまい、そうじまひ)【名詞】 すべて終る事。終わった事。全員が終える事。全員が休むこと。

そおしや(そうしや) そうすれば。さまし参照 [会話] 欲しいて、(くて) 一年に 二、三枚つ(ずつ) こおて(買って) たためて、ソオシヤ 今しや(今は) よっけ(沢山) たまって邪魔ん(に) なって しょおない(しかたない)。

そおしよおか(そうしょうか) そうしましよるか 問いかけの言葉 肯定にも使用。(北) [会話] そおしよおや(しましよ) 言うて、相談してなあ 仕事すんのん(するのに) 此れを こおしよおか てや(と云えば)、ソオショオカ てやら(とか) 言うてな。ソオショオカ こおしよおか言うて相談する ひた(人は) こおしよおか言うし、そんなら(それなら) ソオ

ショオヤ言うて 受けたひた(人は) そお言うの(のです)。

そおしよおや そうしましよ そうしよおか参照

ぞおすい(ぞうすい ざふすい)【雑炊】【名詞】 野菜などをに入れて味を付けたかゆ。おじや(志(鶴方)、多阿、南、尾) [会話] おじや やなあ(です)。おじやの事を ゾオスイ言うわな(言います)。わしら(私の) 子供の時分(頃) は おじや言うけど(が) 今しや(今は) ゾオスイ 言うなあ(言います)。子供の時分は まあ さぶい(寒い) よって(から) おじやに しょおやんかい(しましよ)。

そおすと(そうすと、さうすと)【接続詞】 そうすると(北、尾) [会話] ソオスト、そげん(そんなに) すると 言うの(のです)、そげん(そんなに) すると はざんわれ(駄目だ) 言うてな ソストナア言うてな ソオスルト言うのを 早口で そすと こお なるやんかあ(なります) 言うてや(言うのです)。

そおすとさいが(そうすとさいが)。そおすとさいご(そうすとさいご) そのようにすると その時(志(波切)) [会話] ソオストサイゴ、そげんすると(そんなにすると) はざんやんかあ(いけない) 言うのを ソストサイゴ はざん(駄目な) よん(ように) なってかせんのか(なって行かないのか) 言う時 んなあ(に)。そんな事するとその時は、そげな(そんな) 事すると。言うて、そげな事した時は とかなあ。

そおすや(そうすや)。そおすりや(そうすや、さうすりや)【接続詞】 そおすれば、すると、前の事柄の結果を受けて、後の事柄が起こることを示す。そのようにすると。[会話] ソオスリヤ言うのを ソオスヤ言うね(言うのです)。ソオスヤ まあ丁度 ええねけどなあ(よいのだが) 言うてな、のげの(お前の家) こお(子)と 俺家の こお(子)と、そげん(そんなに) すや どいらい(大変) ええんけどなあ 言うてな、そげんすや なつとも(なんとも) 言わんで(言わなくても) ええねけどなあ。昔や(は) よお(よく) 従兄縁 しょおったやんかい(して居ました)。今しや(今は) 嫌うけど(が)、他人に くれんのん(るのに) 勿体おて(なくて) 親類同志 くよおったけどなあ(くれて居ました)。そやよって(だから) 片端な(が) よけ(沢山) 出来よおったね(出来ました)、あんごし(阿呆) のおななあ(のが)。

そおする(そうする) その様にする(南)

そおするとさいが。さおするとさいご その様にした時

には(志、桑郡、員、鈴市、鈴郡、伊)
そおぜ(そうぜ、そうぜい)【名詞】 総勢、全員、全部の人数。

ぞおせんば(そうせんば、ざうせんば)【名詞】 造船場。船舶の新造、改造、艀装、修理などをする所。[会話] ゾオセンバ、舟造るとこ (所) ふねや や (です)。

そおそお(そうそう、さうさう)(然然)【副詞】 そんなに それ程 そのようには、サ(然)を延べて重ねて言う語(大言海)(上、阿)[会話] そげんな(そんなに) のな(お前が)言う事ばか(ばかり)聞いておらよかれ(居られない)言うて、ソオソオ お前の事ばっか(ばかり)聞いてたてて(ても)、お前、こげん(こんなに)も せな(しなければ) はざんのん(いけないのに)言うてなあ、ソオソオ お前の言う事ばっか 聞いておられんわい(居れません)言う時も有るなあ。

そおそお(そうそう、さうさう)(早早)【副詞】 はやばや 早く

ぞおぞお(ぞうぞう、ざうざう)【副詞】 寒さや恐ろしさのため、全身が鳥肌だって身ぶるいの出るさま。[会話] ゾオゾオ さぶい(寒い) 風邪引くんかして(のか)言うて。あの人な(が)言うこた(事は) おらまあ(俺は) ほんどん(本当に) 好かんで、ゾオゾオ すられ(する)言う時も あんな(有ります)。好かん人 見ると、おおた 私や(は)あの人見ると ゾオゾオ すんねよお(するのだ)言うて、好かん人 な(が)言い寄って 来たりすると、おおた ゾオゾオ 寒気な(が)してくんね(来るのだ)言う。

ぞおぞおする(ぞうぞうする) 寒気がする。ぞくぞくする参照(志(鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗))[会話] 背中が ゾオゾオスル 風邪 引く んかして(引くのかと思えて)。

そおぞく(そうぞく、さうぞく)(装束)【名詞】 しょうぞく。古くはそうぞくとも。特別の場合の為に整った一揃いの服装、衣服、着物、衣服を身につける事。装う事。(志)[会話] ソオゾクは 体のかた(形)の事を あのソオゾクみよまい(見なさい)。なんやら(何か) よけ(沢山) どおぐだてして、きもん(着物) きい(着て)、合羽きい あのソオゾクみよまあ(見なさい)言うて、おかしなふう(格好) よけ(あまり)して来ると、あのソオゾクみよまあ言うてなあ(言います)。着るもん(物) やとか 格好の事をなあ ソオゾク。よお(よく)体に なんやら(なにか) ソオゾクつけて言うて。合羽着たり、オーバー着

たりすると まあ さぶいもんで(寒いので) ソオゾクみよまあ 言うてなあ。

そおぞく(そうぞく、さうぞく)(相続)【名詞】 相続、跡継ぎの事。先代に代って戸主となること。

そおぞし(そうぞし)(総々、験々)【形容詞】 やかましい。さわがしい。そうぞうしの母音の略。さうざうはサワサワ(騒騒)の音便(大言海)(志(鶴方、神明、立神、志島、国府))[会話] おおたまあ、ざあざあと ソオゾシニア言うて。さわぎたてるとなあ ソオゾシニア なんやら(なにか) 事が(変わった事) ある かして(有るとみえて) えらい(大変) ソオゾシド(ぞう)言うて。やかまし(やかましい)とか よけ(あまり) ざあざあ言うとなあ ソオゾシ、よけ(あまり) 騒ぐなまあ 言うてなあ(言います)。にげ(人、人間)も 寄ると 喧まし(しく) 騒ぐと ざあざあ さわんで(騒いで) 言うやんかい(言います)。ソオゾシニア おとっしや 言うて。

そおたい(そうたい)(総体)【副詞】 全部ひっくるめたさま、すべて。[会話] 全部、ソオタイ そおやなあ(そうです) 言うてなあ(言います)。ソオタイ あのかたは(方は、人は) あげな(あんな) かた(型、性格) やなあ(だ)とか、ソオタイ あげな ふう(格好) やなあ とかなあ、そお言う時に よお(よく) 使うなあ(使います)。

そおだい(そうだい)(総代)【名詞】 会の代表者 総名代の略 名代、人の代りに立った事。代理人。そおだいかい参照

そおだいかい(そうだいかい、そおだいくわい)(総代会)【名詞】 その会の代表者に依って行われる会議。会員が多数の時は総会に変わる事も有る。[会話] ソオダイカイ言うて、磯人(海女)や、じょおし(漁師) ななあ(が) ソオダイや言うて 一組で一人いつな(づつ) 大将な(が) 取ってあんね(選んで有るのです)それを ソオダイや言うて その人らな集まって話をするのを ソオダイカイ。そすと 宮さんや どけでもなあ(などでも) ソオダイな(が) 取って有って(選んで有って)、そして、そのたいしよ(大将) な(が) 寄って(集まって) なんやかや(いろいろ)皆 指揮してなあ。ソオダイな(が) 集まって、ねんぎよおじ(年行事、支配人)も取って(選んで)有ってなあ。海女のねんぎよおじや(だ)言うて ソオダイの内の一番 たいしよ(大将) なあ(です) ねんぎよおじ。ねんぎよおじな(が) 今日はまあ、休もや(休みましょう) 言うねよお(言うのだ)言うてな、

今日はまあ やすもやんかあ (休みましょう) 言うて旗揚げて、赤いのおや (のだから) 白いのおや ねんぎよおじな (が) 今日は 旗揚げん (に) 来たよお (来ました)。

ぞおたけ (雑茸) 【名詞】 松茸以外の食用きのこの総称。

(一) [会話] 茸のなあ、今し (今) 養殖 (栽培) すんのは (するのは) 違うけど (が) 山え はえんなな あ (生えるのは) すどおしやとか、ねずみたけやとか、採りん (に) 行きよおった (行きました)。あいなの (あんなのを) ゾオタケ。松茸以外のの (のを) ゾオタケ。松茸は松茸ん (に) 決まっとんね (決まっている) よってなあ (のだから)、すどおしや ねずみたけや はつたけ 言うのも 有るしのお。ねずみたけは どいらい (大変) 美味いんよお (のです)。かい山 行くとなあ ひととこん (一ヶ所に) よつけ (沢山) 生えとんね (生えているのです) 鼠のてえ (手) みたよん (のように) しとて (していて)、真っ白や なしんのお (でなくて) なんか (何か) 灰色みたよお な (のような) のな (のが) 有りおった (有りました)。すどおしは 道端い (に) も、でんの (生えます)。奥山の方い (へ) 行くとなあ 笹や羊歯な (が) 有るとこい (所へ) 行くと 道端も皆出とる (生えています)。畑な (が) ちよいと (少し) 荒れかかった時になあ はえよおったけどな (生えています) よけ (沢山) きい (木) な (が) ぶえて来ると (茂って来ると) でやへんのなあ (生えないのです)。

そおだん (そうだん、さうだん) (相談) 【名詞】 1) 願う事。頼りにする事。2) 会議 [会話] 2) あした (明日) どこ いこ (行こう)、何処か 行こか (行きましょう) とか、何か 喰をか (食べようか) とか 言うのな、話し会うのソオダン。1) 今日は あんたん (貴方に) ソオダンに來たんよお (来ました) 言うて、頼み事する時。何か こげん (こんなに) してもらお かい (してもらおうかと) 思う時んなあ (に) ソオダンして 押しつけに (無理に) して呉れ (して下さい) 言わんとなあ (言わずに) まあ ソオダン。こおしてしとんね (して居るのです) してもらわれやせん かい (して貰えませんか) 言うのを ソオダンする 言うね (言うのです)。こげん (こんなに) 思うんやけど (思って居るのだが)、あんたん (貴方に) 頼も (頼もう) 思うんやけど して呉れるかい (ますか)、して貰われるかい (貰えますか) 言うのソオダン。今日は ソオダンに來たんや (来ました)。ソオダンに乗ってくれるかい。こおこおで 無理な頼みに 來た

んてや (来たのです) 言うてなあ (言います)。

そおだんごと (そうだんごと、さうだんごと) (相談事)

【名詞】 1) 依頼する事。頼りにする事。そおだんに同じ。2) 約束した事

そおだんばた (そうだんばた、さうだんばた) (相談旗)

【名詞】 海女が出漁するか否かを相談して居る時にその事を知らせる旗。

ぞおつく (ぞうつく、さうつく) 【自カ五】 1) ざわざ

わしている。騒いでいる 2) 寒さのため寒い感じがする。(志(布施田)) [会話] 2) せすじ (背中) な (が) ぞおぞおと ゾオツイテ さぶいわれ (寒いです) 言うてな、風邪引く前ん (に) になると、風邪引くんかして (のか) せすじ な ぞおぞおして ゾオツク。気持ちな (が) わりのお (悪い) あ、ぞおぞおすんのは (するのは)。

そおと (そうと) 【副詞】 静かに、そろそろ 動作

を静かに行うさま。そと。そとの促音添加。注意深く静かに行うさま。触らないでおくさま。その儘にしておくさま。こつそりするさま。ひそかに、ちよつと、少し。そと、音を立てないよう静かに、人に知られないよう、ひそかに。(三) [会話] ソオット 言うと、静かに言う事やけどなあ (です)。こお (子供) な (が) 寝とるよって (寝て居るから) 喧し (喧しく) 言うなよお (言うな)、ソオットせえよお (しなさい) 言うと、抜き足差し足して歩いたり。そや (それ) 音 立てるなよお 言うてすると、ソットして、戸 閉めたりするのも ソオット、静かにせえ (しなさい) 言う事やなあ (です)、ソット言うのは、ソット 言うのと ソロット 言うの それも一緒やんかい (です)。その人の言いよ (言い方) によって、ソロット歩いて来いなあ (来なさい) とか、ソット歩いて 来いなあ 言うてなあ (言います)。

ぞおと (ぞうと) 【副詞】 ぞとを強めた言い方。

1) 恐ろしさ寒さで体がふるえるさま。2) 強い感動が身内を走り抜けるさま。[会話] 1) さぶけ (寒気) な (が) ゾオットしてくんなあ (来ます) 言うて、なんか (何か) 好かん事な (が) 有ると、おおた、ソット すんなあ (する)。わりもん (悪い物) や (とか)、汚いもん (物) 見たりなあ、嫌なもんや (物とか) 嫌な人に おおたり (逢ったり) すると、ソット したよお (しました) 言うてなあ、おおた あの人な (が) 話し 聞いたや (たら) ゾオットしたよお 言う時も 有るな。

そおで 【名詞】 袖。着物の身衣の左右にあつて、腕を覆

う部分。(志(片田 布施田)、度)[会話] わりごの じばん(襦袢) 言うな(のは)、ソオデを 三つに してあんねてや(してあるのです)。

そおで(そうで、さうで) その様で

そおで(そうで) (総出)【名詞】 全員が出席する事。

そおと 左様と、そのように。すると。(北)[会話] そや(それは)、ソオト、こげん(こんなに) しょおやんかい(しましよう) 言うてな。それは ソオト 言うのを そや(それは) ソオト言うのなあ(です)、そや ソオト あや(あれは) なつとしたねやつたどい(どうしたのですか) 言うて問う時ん(に)。

そおど(そうど、さうど) (騒動)【名詞】 大騒ぎする事。大変だ。そうどうの末尾母音の省略(志(布施田、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、三、鈴市、伊)[会話] ソオドやなあ(だ) おとっしや 言うて。 なんや かや(何、彼と) どおさ(面倒) な事すると、仕事を するのを あれも出して これも出して 言うど、うた(ああ) そげん(そんなに) ソオド せんでも(しなくても) ええない(よろしい)、ソオドやなあ(だ) 言うて。 なんやかや 広げたり よけ(沢山) 出したりすると、おおた(あゝ) どおさ な(面倒だ)、おおた そげん(そんなに) ぎよおぎよし(仰々しい) とか 言うてなあ(言います)。どおさ な事すると ぎよおぎよしまあ はだて(広げる) せんでも ええのん(良いのに)、よけ(多く) どおぐだて(道具立て) はだてると。ぎよおぎよし 言うな(のは) なん(何) しても する事な(が) おつきい(大きく) する事を ぎよおぎよし 言うなあ(言います)。

そおどし(そうどし さうどし) 騒がしい(志)

そおどする(そうどする、さうどする) 大騒ぎする。

[会話] ソオドスル(だ) 言うてな、今日は ごっつお(御馳走) すんで(するの) 其処ら あらけとかな(広くしなければ) はざんわれ(駄目だ)、此処も 掃除しとかな(しておかなければ) はざんわれ 言うのなあ(です) ソオドスル 今日 は ごっつおの したごさえ(準備) で言うて。ソオドスル 言うて 忙し事を 言うんやろな(言うの)でしょう)。ソオド 言うのは なんやかや(いろいろ) 子供らな(が) まけたても そやれま ソオドヤレ 言うて、掃除すんの(するの)に 忙し(忙しく) するもんで(ので) やるな(でしょう)、あんで(あれで) 忙しめえ(目) すんのを(するのを) ソオドスル 言うんかい な(言うの)でしょうか)。なんやら(何) かやら

(彼) がつちやら ごっちやらと 色々の仕事、其処らのせんで(しなくて) ええよおな(よいよな) 仕事も、皆な あの時や(は) するもんで(ので) そんでまあ(それで) ソオドヤレ こや(此れは)、此れも 片付けて しとかな(しておかなければ) はざんし(駄目だ) 言うてな、なんやかや(いろいろ) 忙しめえ 張る時んなあ(に)、今日は ソオド ヤッタレ(騒動だった) 言うてな、なんして(何をして) ええやら(よいか) 判らへん(ない) 言うのをな、仕事な(が) よれで(沢山で) あちらいも こちらいも せんならんもんでなあ(しなくてははいけないので)、片付きや(は) せんならんし(しなければいけない) ごっつあ(御馳走は)、こしらえんならんし 言うよおな時に まあ オオソオドヤレ(大騒動だ) 言うてな。仕事 が 手が張る(手に余る) 言うんか(のか)、忙し言うねやろなあ(の)でしょう)。手が 掛かる事を、子供らな(が) お茶 まけたても(零しても) しやあれ(それ) ま オオソオド ヤレ それ 拭く事ならなあ言うて、よけ(沢山) まけたると(零してしまう) と 言うんてや(言うのです)。

そおどやれ 大変だ。そおどする参照。

そおな(そうな、さうな)【助動詞】 そうだ。1) 状態や性質などに関して、そうであろうと推察して判断される状態。2) その事が他人からの見聞によって、知られたものである事を表す。(志、津、多、上、張、熊)[会話] あの人な(が) きんによ(昨日) 死んで たんてわい 言うてな。1) 死んでくよおん(に) しとると(していると) 死んで ソオナテワイ(そうだ) 言うて、まあ あの人な(が) 加減(状態) な(が) わりいて(悪くて) 死んで ソオナテワイ、まあ じつきん(すぐに) 死んでく(で行く) 言うてな。

そおに(そうに、さうに) (素煮)【名詞】 1) 早く茹でたり、炊いたりする事。2) 水炊き(志(布施田)) [会話] 1) ソオニ言うのはなあ、野菜もん(物)を ざあつと 湯、沸しといて(ておいて) それい(へ) 入れて ふわつとと茹でる事なあ(です)。ソオニしとけ(しておけ)。そら豆でも 大豆でも 小豆でも ちよいと(少し) ソオニしといて(しておいて) ほとらしとけとかなあ。ソオニしといて その水 あけたれとかな、さつとする事なあ(です)。さつと煮る事、ソオニや(と) 言うな(言います)。はやにの事やよつて(だから)。ほとらす 言うななあ(のは) 煮立といて(ておいて) 火(ひい) 消して 蓋をしとく

(しておく) のおを (のを) ほとらしとく (ておく) 言うて、いどらすとも 言うてなあ。飯も いどらしとかな (しておかなければ) うまねえわれ (美味くない) 言うて。

そおのこり (そうのこり、さうのこり) (総残) 【名詞】

丸残り。全部残る事。全員が残る事。(志(布施田))

そおば (そうば、さうば) (相場) 【名詞】

1) 一般市場で取引される物の値段。2) 世間一般に定まっている人や物のうち。3) 物の程度。[会話] いしぐら (芋飯) ぐわしとんのん (食べているのに) 人な (が) 来ると、喰わんかい (食べませんか) 言うても 喰わす (食べさす) よおなもん (物) ねえね (無いのです)、ソオバな (が) わりいて (悪くて)。

そおば (そうば さうば) (総歯) 【名詞】 総入歯 全部の歯

そおはい (そうはい さうはい) (総牌) 【名詞】

お盆に初盆を迎えた人の戒名を、すべて書いた位牌。[会話] 盆に みんな (皆) の名前が書いて有るとこい (所へ) いて (行って)、みんな な (が) 拜むとこ (所) かい (ですか)。あれ、ソオハイ。全部ん (の) のおな (のが) 書いて有るもんでなあ (もので) 初盆の人の名前な (が) おっかい (大きい) のおえ (の)に 書いてあんね (有るのです) ソオハイん (に) 乗とらせんない (乗っていない) 言うて あれん (に) 書いてねえと (無い)。

そおばん (そうばん さうばん) (早晚) 【副詞】 遅かれ早かれ 近い内に (志(布施田))

ぞおふ (ぞうふ、ざうふ) (臓腑) 【名詞】 内蔵、五臓 (心、腎、肺、肝、脾) と六腑 (大腸、小腸、胃、胆、膀胱、三焦) の総称。

ぞおみず (ぞうみず ざうみず) (雑水) 【名詞】

1) 生後七日間の間にうぶ湯を使わせた水 2) 下水 (志(片田 国府 布施田)) [会話] ゾオミズ 言うななあ (のは)、生れて七日迄の うぶ湯を うぶ湯あぶせた (浴ぶせた) のおを (のを) ゾオミズや (だ) 言うて。家の前い (へ) ほらせんの (捨てないのです)。ゆう (湯) あぶせた 水を 家の前い (に) すると穢れる言うて、皆 浜のごみくてば (ごみ捨て場) い (へ) ほりんきおったのなあ (捨てに行つたのです)。

そおめんこ (そうめんこ、さうめんこ) 【名詞】

海鼠の卵巣。みのわた。みのわた参照 [会話] ソオメンコや (だ) 言うて、きいよい (黄色い) のおを (のを)、このわたや (で) なしん (なくて) 素麺みたよん (の

ように) 糞みたよん しとんのおを (しているのを) ソオメンコや (だ) 言うて すするわい (すすります)。

そおめんじる (そうめんじる、さうめんじる) 【名詞】

味噌汁の中へ素麺を入れたもの [会話] ソオメンジル 美味いなあ、味噌汁い (に) 入れると、そおめんをなあ、なあがいもんで (ながいので) 二つん (に) へしよつて (折って) 水で しよしよつと あるとい (て) (洗っておいて) 味噌汁い (に) ぼんと 放り込む の。おつけ (味噌汁) な (が) 煮えて来たとこい (ところへ) ぼんと 放り込んでなあ、そして ごてごて とる (している) うちん (間に) 喰われんねてや (食べられるのです)。それい (に) 野菜入れてなあ 美味いね (のです) ソオメンジルなあ、味噌ラーメン言うやんない (でしょう) あいなのおやわい (あんなのです)。茹でたのお (の) やなしん (でなくて) うでたのおでも ええけどなあ (よいが)、うでたのおと (のと) また 味な (が) 違うねてや (のです)。へしよつて (折って) ほこりだけ ちよろちよろ とするだけで そすと (すると) 美味いねてや (のです)。さぶい (寒い) ひい (日) になあ 葱 入れて こしよこしよと あるとい (沸騰したとこい) (ところへ) ぼんと 入れるんやんかい (のです)。

ぞおもつ (ぞうもつ、ざうもつ) (臓物) 【名詞】

内蔵、特に鳥、牛、豚、魚などの肝、はらわた。略してもつ。(志(布施田)) [会話] はらわたを ゾオモツや (だ) 言うなあ (言います)。ゾオモツも そやれ (それ) 引きずりさがしとられ (ている) 言うて、猫な (が) しかれて (引かれて) 死んどると (でいると) ゾオモツも 引きずり出しとられ 言うてな

そおや (そうや さうや) 1) その通りです

2) そうです。人に聞いた話を第三者に伝える時の語。(志(浜島)、鳥、桑郡、桑市、鈴郡、安、津、一、多、阿、張、名、伊、北、南) [会話] ゾオヤ 言うて。なんでも こおや (こんなだ) こげや (此のようだ) 言うて、ああ ソオヤナア 言うて つち (相槌) 打つなあ、ソオヤ言うて。つち打つ言うのは相槌する言う事やなあ (です)。こや (これは) こおや 言うて、合して (合わせて) ソオヤ言う事は、相槌するわけやなあ (わけです)。

そおやあか (そうやあか、さうやあか)。

そおやか (そうやか、さうやか)。そおやかなあ (そさかなあ、そうやかなあ) そうだろうか。[会話] ソオヤカナア言うて うたごとの (疑って居る) よおな言いかたやな

あ(です)。そや(それは) そおや(そうだ) 言う、それに賛成して ソオヤナア言うんけど(言います)が、ちょいと(少し) 疑い心がある言葉やなあ(です)。

そおやかて(そうやかて、さうやかて) 然し、そうだが **そおやがな(そうやがな、さうやがな)** そおでしょう その通りでしょう(志 桑郡、南)

そおやけど(そうやけど、さうやけど) その通りだが、だけど、けど…けれども 然しながら(志、松、上、名、度、南) [会話] そやけど、ソオヤケド、こや(これは) テレビやんない(でしょう) 言うて、そや(それは) テレビやけど(だが)、そや ソオヤケド なあ 言うねんなあ(言うのです) そやけど 言う時もあるしなあ、それやけど 言う時もある。

そおやさけん(そうやさけん、さうやさけん) それだから [会話] ソオヤサケン お前に こお言うたやんない(言ったでしょう)とか、ソオヤサケン それ持て(持って) 来たんやんか れ(来たのだ) 言うて、そげな(そんな) 時ん(に) そやさけん 言うのな(言います)。そげん(そんなに) 言うたさけん だ(から) 持て(持って) 来たんやんか。お前が こげん(こんなに) 言うたさけん 持て来たねえだ(のだ)。そげん したねえだ(したのだ)とか言うて、そげん 言うたさけん 持て来たんやれ(持って来たのだ)。

そおやし(そうやし、さうやし) そうです。前言を肯定し念を入れる。二つ以上を並べて等しい事を表す。[会話] それもソオヤン 言うて、それもそおや(そう) だ 言う事、それも そおやけど(そうだが) 言う時も、それもそおやれ(そうだ) 言う時も 有るしなあ。そおです言うのを ソオヤン、それもそおやれ ほん と(本当) の事やなあ(だ) そや(それは) 理屈ん(に) おおとられ(合っている) ソオヤレ 言うてなあ。

そおやすみ(そうやすみ、さうやすみ) (総休) 【名詞】 皆が休むこと(度) [会話] 全部休む事なあ(です) ソオヤスミ、なんもかも(すべて) 皆、休むの(のを)、ソオヤスミ。乞食な(が) 来ると よお(よく) 言よおったやんかい(言っていたではありませんか)、どこやらで(何処かで) 貰らうと ええんけど(よいのだが) 貰らわへんと(ないと) 此処らで 一文 貰らわなきや、家の鍋、釜 ソオヤスミ 言うて 乞食な(が) 言うね(言うのです)。

そおやそおや(そうやそうや、さうやさうや) その通りです(阿、張) [会話] ほん とや(本当だ)、そや

ソオヤソオヤ 言うてな、話すると わがと(自分が) おもとる(思っている) 事と合うと おお そやそお や ほん とや ソオヤソオヤ 言うてな。その通りや(だ) 言うの、ソオヤソオヤ 言うてな。

そおやった(そうやった、さうやった) そうだった その通りでした(松) [会話] ソオヤツタンやれ(のだ)。今日はなあ こげん(こんなに) しとるけど(しているが) そやなれ(それは) ソオヤツタンやれ 言うて話すると、話な(が) あうと ソオヤツタンや れ 言うて。

そおやったら(そうやったら、さうやったら) それだったら。[会話] ソオヤツタラ なと(なんと) するや かなあ(しましよう)、ひまのかあやなあ(大変だ) 言うて、そげな(そんな) かつたら(だったら)、ひまのかあやなあ 言うて、えらい(大変な) 事やなあ(だ) 言うのをなあ、ひまのかあやなあ 言うて。そおだったら 言うん な(のです)。ソオヤツタラ そや ま(それは) えらい 事やなあ(だ) 言うて。

そおやつたんやれ(そうやつたんやれ、さうやつたんやれ) その通りでした [会話] 今日は こげん(こんなに) しとるけど(しているが)、そやなれ(それは) ソオヤツタンヤレ 言うて、話しすると、話な(が) あうと、ソオヤツタンヤレ 言うて。

そおやって(そうやって、さうやって) そおして、その様にして。

そおやで(そうやで、さうやで) それだから(一) [会話] そげん 言うたよって(から) ソオヤデ なあ、言うけどなあ(言います)。ソオヤデ なあ言う事は その人な(が) 言うた事を まあ、わかっ とて(判って居て) 心やすい こげ(人、人間) に 言う時は なあ ソオヤデ え 言うの なし(言いますし)。その こげ(人間) に 依って なあ わがと(自分) の 同輩 に 言うの に そげな(そんな) 言葉 で 言うわい(言います)。

そおやでえ(そうやでえ、さうやでえ) その通りです。 そうです。そおやで参照

そおやてない(そうやてない、さうやてない) その通り だそうです。

そおやてや(そうやてや、さうやてや) その通りです。 てや：親しみを込めて、軽い感動の意を表す。疑問、又は反語の意を表す 依頼の気持ちを表す。(志(船越)、鳥(国崎)) [会話] ソオヤテヤ 言うな(のは)、槌打つ(相槌を打つ) 言葉やわいなあ(です)。 なんか 言うても なあ(言っても) ソオヤテヤ そんな なんて や 言うて なあ 槌打つ 言葉や(です)。

そおやど (そおやど、さうやど) その通りです (張)
[会話] そやまあ (それは) ソオヤド 言うて、ほん
と (本当) の有る事やったら (だったら) そや (それ
は) ソオヤド言うて、ほんとやど (本当だぞ) 言うの
なあ。ほんとやれ (だ) そや (それは) 言うのをな
ソオヤド言うてな

そおやどお (そうやどお、さうやだう) その通りだ

そおやとも (そうやとも、さうやとも) その通りだ

そおやなあ (そうやなあ、さうやなあ) 1) その通りで
す。2) そうですね。思案する時の言葉。(桑郡、三、
四、鈴市、安)

そおやないね (そうやないね、さうやないね) 違います
そうではありません [会話] そおや (で) ない 言う
事を、ソオヤナイネ 言うのを、いいえ ソオヤナイ
ネ 言うて、そおやろか (そおだろか) 言うて、そ
おやろかい (そうではありません) 言うて。

そおやなけな (そうやなけな、さうやなけな) その通り
でなければ

そおやに (そうやに、さうやに) その通りです そうで
す (鳥 (桃取)、鈴市) [会話] ソオヤニ 言うのも、
そおや (だ) 言うのも、そおやれ 言うのも一緒や (で
す) 人ん (に) よってなあ、ソオヤニ言う人も有る
し、そおやれ 言う人も そおやんか 言う人も ある
しなあ。

そおやにい (そうやにい、さうやにい) その通りです。
そおやに参照

そおやねえ (そうやねえ、さうやねえ) 違います そう
ではありません [会話] そや (それは) ちがわれ
(違います) 言うのを、ソオヤネエ。 そや (それは)
ちがわれ ソオヤネエウレ言うてな、違わせんと (違
わないと) そおやれ 言うね

そおやねえ (そうやねえ さうやねえ) 一度思案する
時。そうです

**そおやねえわい。そおやねえわな (女性語)。そおやね
えわれ (そうやねえわれ、さうやねえわれ)** 違います。
そうでは有りません。

そおやのお (そうやのう、さうやのう) そうですね 肯
定と疑問 (志) [会話] そや (それは) ソオヤノオ
言うて、話な (が) 合うとなあ、そや ソオヤノオ
そげん (そんなに) 言うとお言うて、合わす時んな
あ (に)。ほんと (本当) やなあ (だ) 言うのをな。
何か忘れたて (てしまって) 考える時ん (に) こや
(これは) こおやったやんか (だったでないか) 言う
と、ソオヤノオ言うて。そして人ん (に) してやりた

ない (やりたくない) 時も ソオヤノオ言うて、はい
言うてすぐん (に) 言わんと (言わずに) 値打持たし
て、考へとくわい (ておきます) 言うて、金貸してく
れ (下さい) 言うて 貸したくない (たくない) ソ
オヤノオ 考へとくわい 言うてな。

そおやのん (そうやのん、さうやのん) それだのに

ぞおやみ (ぞうやみ ざうやみ) (序病) 【名詞】 潜伏
期、病気の最初の時期。[会話] ゾオヤミ。はしかの
ゾオヤミ 言うてなあ。はしか (麻疹) の出て来る
まえん (前に) 熱がしたり するやんな (するでしょ
う)。そいな (そんな) のを はしかのゾオヤミ し
とる (して居る) 言うてなあ (言います)。熱が出て
来る ばあつと 出たと (出てやると) はしかな
(が) 出た言うんけど (言いますが) その熱な (が)
出て来る迄ん (に) なんやか (何か) 熱な (が) えら
い (大変) するなあ言うて、そげな時ん (そんな時
に) ゾオヤミ。はしかな (が) 出たと 判って来て
あんな (あれが) ゾオヤミ やったんなあ (だったの
だ) あの熱な (が) すんな (するのは) 言いおった。
昔や (は) はしかの ゾオヤミ、とおか (十日) 言う
て。そげん 言うて (そんなに言って) 言いおった (言
っていました) よって (から) 熱な (が) すると そ
やまあ (それ) 風にふかすなよお (当てるな) 言うて
風に吹かすと はしかな (が) 入りぞこないになつて
くと (なつて行くと) はざんどお (駄目だ) 言うて、
昔の人ら (は) 包み込んでぬくとお (暖かく) しとれ
(して居なさい) 言うて、麦する時分 (頃) はしかす
ると あつうても (熱くても) 布団着せて 寝とれ
(ておれ) 寝とれ 言うて、やや (嫌だ) 言うても (言
っても) ねやして (寝させて) しとりおった (して居
ました)。いりぞこないになると 悪さになつてくん
どお (なつて行くぞ) 言うて いってく (なくなる)
時は さあつとなあ 無いよおん (に) なつてくけど
(が)、そんな (それが) いりそこなう。ぶつぶつん
(に) いつまでしとて (して居て) そんな (それが)
こせん (皮膚病に) なつてくんでわい (なつて行くそ
うです)。そやもんで (それで) 昔の人らは 悪さや
(悪病と) 言うてなあ (言つて) 悪さん (に) なんね
どお (なるのだぞ) 入り損うと 言うて。

そおやもんで (そうやもんで、さうやもんで) それだか
ら そやもんで (志、鳥、鈴市、松、伊) [会話] ソ
オヤモンデ おんな (俺が) あげん (あんなに) 言う
て 有るのに、のな (お前が) 聞かせんね (聞かない)
い) もんな (から)、ソオヤモンデ そげん (そんな

に) なって来たれ(来たのだ) 言うてなあ。ソヤモンデ ソオヤモンデ、早口で ソヤモンデ、言うのなあ、ソヤモンデ、おんな あげん 言うて あんのん(有るのに) 言うて 失敗したるとなあ(してやると)、そやみたけ(それ見たか) 言う時も有るし、そやみたけ おんな 言うた通りやれ(だ) いうてな。

そおやれ(そうやれ、さうやれ) その通りだ(志(浜島)、張、北) [会話] それも ソオヤレ、それも そおやなあ(そうだ) 言うのをな。それも ソオヤレ、ほんと(本当)の事やなあ(だ)、その言うこた(事は) 理屈ん(に) おおとられ(合っている) ソオヤレ 言うてなあ。

そおやろ(そうやろ、さうやろ) その通りでしょう その通りです(阿、張、名、北)

そおやろか(そうやろか、さうやろか) そうだらうか そうですねか 違います(上、張) [会話] そおやないね(そうでない) 言うて、ソオヤロカ言うて そおやろかい 言うて。

そおやろかい(そうやろかれ、さうやろかれ) そおやろ
かな(女性語) そおやろかれ(そうやろかい、さうや
ろかい) 違います そうでは有りません [会話] そげなことやろかい(そんな事でない) 言うのな(です)、そおやない(でない) 言うのを ソオヤロカイ 言うて。

そおやろてや(そうやろてや、さうやろてや) 思った通りだ [会話] ソオヤロテヤ言うて、失敗したる(してやる) やんない(でしよう)、そすと(すると) ソオヤロテヤ言うてな。なんやかや(いろいろ) あげん(あんなに) せえ こげん(こんなに) せえ(しなさい) 言うてあんの(有るのに) 聞かんとなあ(ずに) 他の事 すると、まあ それが 失敗するやんない。そやみたけん(それ見たか) 言うてな。ソオヤロテヤどおせ そいな事やれ(だ) 言うてな、失敗するとなあ、のな(お前が) する事なら、そいな(そんな) 事や(だ) おもとたれ(思っていた) 言うてな。

そおやろなあ。そおやろんなあ(そうやろんなあ、さう
やろんなあ) そうでしょう その通りでしょう 多少の疑問感を含む時も有る。(度) [会話] 今日 は 風 で じょおし(漁師) や(は) やすどる(休んでいる) 言うたや(言ったら) ソオヤロナア 此の風に言うて。

そおやんか その通りです そおやんかあ参照(鳥(坂手)、度)

そおやんかあ(そうやんか、さうやんか)。そおやんか

い。そおやんかな(女性語)。そおやんかれ。そおや
んかん その通りです [会話] ソオヤンカ ソオヤンカレ 言うてな。ソオヤンカア そいなんやれ(その通りです) 言うて。そおやなあ(然りです) 言う事を ソオヤンカイ 言うて。まあ こっちや(こちら) で 決めつける よおな 言いかたやなあ(です)。ソオヤンカイ 言うな(のは)。ソオヤンカン 言うのも 一緒やなあ(です)。

そおやんな(そうやんな、さうやんな) (然) そうでしょう。(志、一、上、阿、張、名、度)

そおやんなあ(そうやんなあ、さうやんなあ) そうですよ そのとおりですよ

そおやんない(そうやんない、さうやんなあ) そうでしょう その通りでしょう [会話] ソオヤンナイ 聞いてくれまあえ(下さい)。こや(これは) ほんと(本当) やんない(でしよう) 言う事をなあ、ソオヤンナイ 考えてみてくれまあえ(下さい)、あのひた(人は) こげん(こんなに) 言うとるけど(言っているが) あんたな(貴方が) 言う通りやのん(だのに) ソオヤンナイ 言うて、言うねやんかい(言うのです)。

ぞおよ(ぞうよ、ごうよ) (雑用) 【名詞】 雑費、費用、入費。ぞおよお参照(鈴市、上、阿、張)

ぞおよお(そうよう ごうよう) (雑用) 【名詞】 1) 雑費、費用、入費。(志(立神、志島、鶴方)、鳥、員、鈴市、安、津) 2) 雑用 雑多な用事 [会話] 1) 経費の事 ゾオヨオな(が) 幾ら要った 言うてなあ。他処行くと ゾオヨオな(が) 一円やった(だった) てら(とか)、八十銭で 泊ったてやら 言いおったの(言って居たのです)。泊り賃(旅館代)は 幾らやったんど(でしたか) 言うて 今しや(今は) 言うけど(言うが)、わしら(私の) 若い時分(頃)は ゾオヨオ幾らやったよお(でした) 言いおったの(言って居たのです)。そおすると 一円やったてやら、八十銭やったてやら 言うてな、今し(今)で 言うたら 宿銭の事、ゾオヨオ言いおった(言っていました)。宿銭以外の いりよお(経費)も、皆なあ、ゾオヨオな(が) 幾ら要つてな 言うて。おかね(金銭) なん使ても(何に使っても) その時 旅行した時の ゾオヨオや(だ) 言うてなあ(言います)。ごつつお(御馳走)しても その ゾオヨオを わりやい(割合、適当に分配する事)にしよおや(しましよう) 言う、勘定(計算) する時んなあ(に)。昔や(は) 米 を茶碗に 一杯とか二杯とか 言うて 出しおった(出して居ました)。そすとさいが(その時に)、あとの醤油

や、すう (酢) 買うのは ゾオヨオは、又 後で 割り合や (割りあえば) ええてや (よるしい) 言うて しよおったの (して居たのです)。

そおより (そうより) (総寄) 【名詞】 全員の集合 (志 (布施田)、度) [会話] 郡中 ソオヨリやなあ (だ) 言うて、よけ (沢山) 寄っとると (集まっている) 郡中 ソオヨリやなあ こや (これは) なしたんど (どうしたのだ) 言うて、郡中 ソオヨリや (だ) 言うて、大袈婆ん (に) 言うんやわい (言うのです)。志摩郡中 ありだけ (有るだけ) のもん (者) な (が) 寄って (集まって) 来る言うの (のを)、志摩郡中 寄っとる (集まっている) よおな大きな言い方や (です)。

ぞおらく (ぞうらく、ざうらく) 【名詞】 粗雑 不潔 (志 (布施田) 南) [会話] ゾオラクな (だ) 言うね (言うのです)、きたのお (汚なく) しとる (している) 事を、ゾオラクモン (者) の はてなしや (果てなしは) 言うてな。ゾオラクもんよ (者) 言うて わるわれよおった (叱られて居ました)。其処ら ひろげるとなあ (散らばしていると) 子供ん (に) ゾオラクモナ (者は) 其処らよけ (あまり) ひろげなまあ (散らかすな) 言うて、其処ら なんやかや (いろいろ) よけ (沢山) 広げさがしとるとな (散らばしていると) ゾオラクモン (者) やよって (だから) こやれ (これ) 片付ける事知らんと (ずに) 言うて、ざっぱもんとかなあ。ゾオラクモンや (だ) 言うて 汚い事勝手 (台所) でも 綺麗ん (に) せんと (せずに) うるそお (汚く) しとると (していると)、あの家や (は) ゾオラクで かってもと (台所) な (が) きたのおて (汚なくて) 言うてなあ。

ぞおらくもん (ぞうらくもん、ざうらくもん) 【名詞】 自堕落な人 だらし無い人 [会話] だらしない人をなあ ゾオラクモンや (だ) 言うてなあ。自堕落も一緒や (です)。自堕落な事しとる (している) 人を、ゾオラクモンや (です)。なんでも (なにでも) ざっぱ (乱雑) でなあ 汚れたら 汚れたなり 広げたら、広げたなりしとる 頓着な (が) 無い人をなあ。

ぞおり (ぞうり、ざうり) (草履) 【名詞】 小判鮫。頭頂が草履に似て居るので。

ぞおりえび (ぞおりえび ざうりえび) (草履海老) 【名詞】 くつえび。うちわ海老。ウチワエビ科のエビ。体長15cmに達する。体は尾扇を除けば、ぞうり状に平たい。甲殻は厚く硬く、表面に小さな粒状突起と粗毛がある。体色は黒褐色で尾扇は黄褐色に黒褐色の小斑

点がある。胸脚に鉤がなく先端は棘状、食用にする。[会話] ひらくたい (平たい) のなだ (が) ゾオリエビ。

ぞおりげた (ぞうりげた、ざうりげた) (草履下駄) 【名詞】 履いて歯の無くなった下駄に藁草履をつけたもの じょおりげた (桑市) [会話] 下駄のはあ (歯) の無いのい (に) 草履を釘で打つの (のを)、それ ゾオリゲタや (だ) 言うて履きおったね (履いていたのです)。そいなのおを (そんなのを) 草履をなあ 釘で うつつけんねてや (打ち付けるのです)。そすと がいん (大変) 履きよいねてや (やすいのです) びたび たんなつて履かれやへんよん (ないように) なつてく (なつて行く) 鼻緒な (が) すげられやへんよん (ないように) なつとる (なつている) もん (の) でなあ、それい (に) 草履をうつつけてなあ ゾオリゲタや (だ) 言うて、よお (よく) はきよ おつたんなあ (履いて居ました)。

そおりよお (そうりやう) (総領) 【名詞】 一番年長の子。嫡子、家名を受け継ぐべき子。(志 (御座、鶴方、神明、浜島、的矢、磯部)、鳥 (鳥羽、国崎)、多) [会話] 兄弟で甚六のソオリヨオ。兄貴な (が) ソオリヨオ ソオリヨオの甚六や (です)。

そおれん (そうれん) (葬斂) 【名詞】 死者を葬る事、又その儀式。(志 (布施田、鶴方、安乗)、鳥 (鳥羽)、桑郡、桑市、員、三、四、鈴郡、鈴市、松、多、上、阿、張、名、度、伊、南) [会話] 葬式 ソオレンや なあ (です)。日の暮れ (日暮れ) の ソオレンや (だ) 言うてなあ、夕方になると 日の暮のソオレンや (だ) 言うてなあ。夕方になんやかや行事すると、日の暮のソオレンみたいななあ (のようだ) 言うて よお (よく) 言うんやかい (言います)。ソオレン葬式そのもん (物) を 言うんやるなあ (言うのでしよう)。昔や (は) 日暮にすると 嫌いおったけど (嫌って居たが) 今しや (今は) 皆 日暮でも なんでも。昔や (は) 墓参りも 昼迄に 済ませおった (済せました)。今し (今は) よさり (夜) でもいつでも参つて 行くんやよつて (行くのだから)。

そおろそおろ (そうろそうろ)。そおろそ (そうろそろ)。そおろつと (そうろつと) そおろと 【副詞】 そうつとと同義。静かに。[会話] ソオロット せえ まあ (しなさい)。そつと言うのと一緒やなあ (です)。ソオロット言うのも ソロット言うのも 静かにせえ (しなさい) 言うのも一緒や (です)。

ぞおわた (ぞうわた) (臟腑) 【名詞】 内臓。ぞう、臓、

体内の器官。はらわた、わた、腸、内臓。はらわた。わらわた、大腸、小腸などの名称。古くは特に大腸、動物の内臓、臓腑。[会話] 腹のわたの事なあ(です)。ゾオワタ 出たんなあ (出たのだ)。布団でも破れて来て 綿な (が) 出て来ると あや (あれ) ゾオワタ 出とんない (出て居ます)。破れとて (て居て) なんやかや (何彼) 出とると (出て居ると) それを 腹わたに例えて ゾオワタな (が) 出とる言うてなあ、よお言うてや (よく言います)。あの布団 見よまあ (見なさい) 裏な (が) 破れて ゾオワタな (が) 出とるわれ (出て居る) 言うて。魚でも 腹わたの事なあ (を) ゾオワタ言うてなあ (言います)。此の魚 腐つとて (て居て) ゾオワタな (が) 出とられ (出ている)。鳥や (とか) そいな (そんな) もん (物) でも ゾオワタ 腹から出て来るもん (物) をなあ ゾオワタ。何でも ゾオワタみたいや (ようだ) 言うてなあ。ちびり出しとる (はみ出て居る) と、よお (よく) 言うわい (言います)。

そか 其処は

そぎ【名詞】筒袖の衣類。(志、鳥) [会話] 筒袖の事 言うんか (言うのですか) ソギ言うて。

そく (束)【名詞】1) 物を数える単位。百をさす。(志 (布施田)、鈴市、度、北) 2) 束ねた物。束ねた物を数える単位。[会話] イソク ニソク、草履 イソク作った ニソク作った、よなべして 草履 ニソク サンゾク 作った、サンゾク作ったよつて (から) 三銭や (だ) 言うて、一足一銭でなあ。2) 藁やどけ (など) 数えてすんのは (するのは) 一束が十二把、十二把を ひとからげん (一束に) して イソク、1) 魚は百な (が) イソクなあ (です) イソク ニソク、さいら (秋刀魚) イソク こおた (買った) 言うてなあ 百 買うと。

そぐ (削)【他ガ五】薄く削りとる。(北) [会話] なんやかや (いろいろ) ソグ。へぐ (削る) のを ソグ 言うのなあ (のです)。薄く削る うっすう (薄く) けずんのを (削るのを) ソグ、ソンドケ (でおけ) そや 言う人も有るしなあ、へんどけ 言う人も有るし。

そぐい【名詞】似合う事。密着する事。(志 (志島))

そぐいなええ 似合う 密着する

そぐいなわり 似合わない。密着しない。(志 (布施田))

そぐう (そぐふ)【自ワ五】似合う。密着する。(志 (浜島))

そくさい (息災)【名詞】何事もなく、達者である事。

災害、病気などの災を除く事。[会話] 無事で まめ (健康) で ソクサイ 言うてなあ (言います)。無事な事を 言うんやろなあ (言うのでしょうか)。まめ ソクサイ 言うてや (言うのです)。神さん 拝んのも (拝むのも) まめ ソクサイ でありますよおに 言うよつてなあ (言うから)。いかついと (健康である) あゝソクサイ ええなあ (良いですね) 言うのな (言うのです) 元気 健康 そおやてやなあ (そうです)。長生きして ソクサイ ええなあ 言うて よお (よく) 言うんかい (言います)。

ぞくぞく【副詞】1) 極度の緊張、感情のたかぶり、身ふるえをおぼえるさま。ぞくぞくする参照 2) 寒さで身ふるえを感じるさま。

ぞくぞくする 1) 寒けがする。悪寒を感じる。2) 感情がたかぶって身ふるう。(鳥) [会話] 1) 今日 は さぶうて (寒くて) 背中 ゾクゾクスル 言うて、ぞおぞお する言うのを ううた (あゝ) さぶうて 背中な (が) ゾクゾク と 気持ちな (が) わりなあ (悪いです) 言うて、背中な (が) さぶい (寒い) 時な (が) 有るやんな (有るでしょう)。そいなのおを (のを) 背中な (が) ゾクゾクスル 言うてなあ。ゾクゾクシテ さぶうて 気持ちな (が) わり、風邪引く ねなあ (引くのだなあ) 言うて。ぞおぞお する言うのも 一緒やね (です)。ゾクゾクスル さぶけ (悪寒) な (が) して、まあ 風邪引くねなあ 言うて。2) おぞげ (全身の毛) が立って ゾクゾクスル 言うな (のは)。それも一緒の事やなあ (です)。すかん (嫌) で おぞげな (が) たつと、さぶうて おぞげな (が) 立つと なあ、おぞげみぞげ 言うてなあ 背中 こお ぞお として来る 時なあ (に) ゾクゾクスル 言うてなあ、背すじな (が) 冷えん (冷えるのを) ゾクゾクスル 言うて。

そくなう 失敗する 壊す

そくねる (損)【他ナ下一】そくなう。失敗する。傷をつける。壊す。ソコネル (損) の訛。(方言俗語語源辞典)

ぞくぶつ (俗物)【名詞】俗人。無学。不風流の人を卑しんで言う。

そくまめ【名詞】そこまめ、足の裏に出来るまめ。[会話] ソクマメや (だ) 言いおったけど (言っただけ) が、今しや (今は) 言わせん (言いません)。

そくらい【名詞】修理。(志 (志島、国府)) [会話] 新し 網を作る のおは (のは) 網すく 言うの なし (のですし)、破れとると こを (ている所を) な おす のは

きよる言うて、ソクライ すんのを (するのを)。

そくらいぶしん (繕い普請) **【名詞】** 家の修理をする事。
[会話] ソクライブシン言うな (のは)、大工な (に)、勝手 (台所) な (が) わり (悪い) よって (から) ちよいと (少し) 直したてくれえ (直してやって下さい)。戸籍な (が) うちやれたよって (壊れたから) 直したてくれえ 言うのな (のを) ソクライブシンや (と) 言うてなあ (言つて)。おもや (母屋) をうちやらんと (壊さずに) 直す事をな ソクライブシンや 言うてなあ。大工な (が) 嫌う普請やなあ (だ) 言うて。ソクライブシンや (だ) 言うて 直す事なあ (です)。母屋すんのは (するのは) 建てる言うんやけど (言いますが)、直すの (のを) ソクライブシンな (です)。

そくらいもん **【名詞】** 修理。修繕する物。

そくろう 繕う。つくろう。破れたり、壊れたりして居る所をなおす、修理する、修繕する。見ておかしく無いように、外見を整える。乱れをなおす。失敗などが見えないようにうまく上べを整える。ツクロウと同語の変化。(方言俗語語源辞典) (志 (浜島、鶴方、神明、志島、甲賀、国府)) [会話] ソクロテもらわな (貰わなければ) 言うて、なんでも物がうちやれてく (壊れて行く) と ソクロテもらわななあ 言うて。そそくって貰う言うの (のです)。籠でも こや (此れは) うちやれてたけど (壊れたが) まあ ほか (他の所) は ええよって (良いから) 籠屋へ持てて (持って行って) ソクロテもらおやなあ (貰いましょう) 言うの 直して貰う言うのな (のを) ソクロテ貰うと ええんなあ (よいのだなあ)。修理する言う事なあ。きもん (着物) でも、破れとると (て居ると) しきし (布切れ) 当てて ソクロとかな (ておかなければ) おつきなつてくな (大きくなって行く) 傷な (が) 言うて。直す事をなあ、修繕する事を ソクラウ言うて なあ (言います)。

そくろい **【名詞】** 修理 修繕 (志 (布施田)、多)

そくろう 修理する (志 (鶴方、立神、甲賀、国府、安乗)、桑市、員、松、多、伊、北、尾、南)

そぐわし **【形容詞】** 相似合う。つりあって居る。

そぐわん 1) 似合わない。つり合わない。2) 密着しない (志 (布施田))

そげそげ そんなに

そげつけない 相手にしない (志 (布施田)) [会話] ソゲツケナイ、相手にしてくれない言うことやわい (です)。

そげな そんな、そのような。(志 (国府、船越、片田、布施田)、鳥 (答志)、一、度、北、尾、熊) [会話] ソゲナ事 言うたててなあ (言つても) とか、そげん (そんなに) したら はざんやんかあ (駄目だ) 言うて、仕事すんのん (するのに) 下手な事すると。

そげなかつたら そうだったら

そげなこと そのような事 そんな事 [会話] ソゲナコトなあ へっちゃらやれ (だ) 言うて。ソゲナコトするばかん (だけに) まいのきいつばきやれ 言うて。なんでも無いわれ (です) 言うのな、まいのきいつばきや言うて ちよいちよいと したる (してやる) 事を まいのきいつばきや (だ) 言うんなあ (言うのです)。ソゲナコト言うのは そんなこと そんな事ぐらいなあ へっちゃらやれ (だ) 言うて。

そげなとき **【名詞】** そんな時、そのような時。[会話] ソゲナトキ そんに (そのように) 言うてくれや (くれれば) ええもん (よいのに)

そげなな。そげななあ そんなのは

そげなもん **【名詞】** そんな物

そげなんかい そんなのですか そうですか [会話] ソゲナンカイ言うてな。そおかい そおですか言うのをな、ソゲナンカイ言うのな (です)。

そげなんかな (女性語)。**そげなんかれ** そんなのですか、本当ですか。[会話] ソゲナンカナ そいな (そんな) 事言うんかれ (言うのですか)。

そげに **【形容詞】** そんなに。(志 (船越 片田)、鳥、(国崎 坂手) 一、松、多、度) [会話] ソゲニ言うのも、そげん言うのも、そない言うのも、そなん言うのも、一緒やなあ (です) 皆なあ。そげな事言うてとか、そいな事言うてとか 皆 一緒の意味やけど (ですが)、そのにげ (人、人間) よって違うんてや (違います)。

そげる (削) **【自ガ下一】** やせる、細くなる、頬がソゲル。[会話] ソゲテタナア (て行った)、びんずら (頬) そんだる (でやる) どお (ぞ)、叩いたる (てやる) 言うのをなあ びんずら そがれたよお言うて、よお (よく) 言いおった。なんやかや けずれて (削られて) 来るとなあ ソゲテタヨオ (行った) 言うてなあ 裂けてたり (て行ったり) すると あや、そげてたれ (て行った) 言うしなあ (言います)。へげてた (て行った) 部分な (です)。へげてても (行っても) あや (あれ) ソゲテタナイ (行った) 言うてなあ。頬がソゲル 言うのは 頬がこけた (肉がなくなる) 言うのを 細っそお (細く) なつてた (なつて行つ

た)。顔ななあ(が) しなぼれてた (生気かなくなる、水分が無くなる) 事なあ(を)、頬な(が) ソゲル言うて。刺身の事 そぐ言うの、へぐ言うの あれも一緒やわいなあ(です) 魚へぐのやよって (削るのだから)。

そげん【形容詞】 そんなに。そえん。そげに参照(志(布施田)、鳥(菅島)、多) [会話] ソゲン言うたててなあ (言っても)、ソゲン簡単に できよかれ (出来ません) 言うのも有るし。ソゲンも かかったんか (のか) 言うて 長い事かかるとなあ、おおた ソゲンよけ (沢山) くれたんか (くれたのですか) 言う時もあるしなあ。ソゲンよけ もろて (貰って) 来たんか (来たのか) 言う時もあるし。ソゲン したててなあ (しても) 言う時もあるしなあ。そんなに言うの(のを) ソゲンもなあ言うてなあ。

そげんしたら そうしたら それでは [会話] そしたら (そうしたら) こんだ (今度は) こげん (こんなに) しょおか (しましようか) 言うてな、ソゲンシタラ 言うてな、ソゲンシタラ 言うし。

そげんすや そうすれば [会話] のげ (お前の家) の こお (子) と、俺家の こお (子) と ソゲンスヤ どいらい (大変) ええんけどなあ (よいのだが) 言うて

そげんすると そうすると。そんなにすると。[会話] ソゲンスルト、はざんわれ (駄目だ)

そげんそげん それ程。幾度も繰り返されるため、相手の行動を制限する語。

そげんに そんなに(鳥)

そげんも そんなにも

そこ(底)【名詞】 1) 海底。2) 物が積み重ねられている時、下の方の部分。3) 最後。[会話] 1) 海のソコもあるし、2) なんやかや (何彼) ソコン (に) なつとるもんなあ (なつて居る物を)。ソコ入る (潜る) 言うの(のは)、海のソコ なし (ですし)。

そこい 其処へ。其処に。(鈴郡、鈴市、伊、北)

そこい(底翳)【名詞】 そこひ、ひといの訛。外眼部、前眼部に格別の視力障害を来たす程の変化も無いのに、視力障害を来たした場合、眼底に病変が有りそれが原因であると言う意味を持った俗語。黒内障、白内障、緑内障をさす。[会話] 目のソコヒ、ソコイ。アオソコイ やら (とか) 白内障やら (とか) 言うのなあ (言います)。ソコイで めえ (目) な (が) 見えんよおん (見えないように) なつてたんよお (なつて行きました) 言うて。

そごい【名詞】 着物などが体につく様子。その人にまつ

わりつく状態、人や物などの調和。そぐう参照。

(志(志島、甲賀)、鳥(鳥羽)) [会話] うまい (上手に) 事 いたなあ (いった) ぴつたりや (だ) ソゴイよお (よく) いた (いった) 言う事や。(です)

そこいお(底魚)【名詞】 そこうを、浮魚(うきう)の対語。成魚時代を海底近くや砂泥中に生息する魚類を言う。表層魚に比し、体形の扁平な物が多く、遊泳速度が遅く、回遊は、著しくない。主要なものは鯛、鱈、平目、こち、穴子が有る。(志(布施田)) [会話] ソコイオ 言うのは あつかい (赤い) のおをなあ (のを) ソコイオ 言うて、赤い おやなあ (です)。あおざかな (青魚) 言う な (のは) さいら (秋刀魚) やとか (だとか) 鱈やとか (だとか) 鯖とかなあ あいな (あんな) うわつら (表面) とんだるのおは (泳いで居るのは) あおざかな で、あかいおは ソコイオ や 言うわい (言います)。あつかい 魚は。上のほ おとんだる 言うのは 上の方を 泳えんだる (泳いで居る) のおは (のは)、飛び魚やとか さいら (秋刀魚) やとか は 上の方 ピョンピョン飛んだる やんない (でしょう)、そやよって (それだから) そいなのおは (そんなのは) うわざかな で、ソコイオ 言うのは あつかい (赤い) 平家の大將 影清 とか めんつ (かげきよ、金目鯛) やとか ごつち (かさご) とか あつかいのおを ソコイオ や (です)。岩 (岩礁) に付いとる魚 鯛やあいなの (あんなの) を、ソコイオ や なあ (です)。上へ 浮いて 来やへんのやよってなあ (来ないのだから)。鱈やとかなあ 平目とか 言うのは 砂地に ペタンと しとんななし (して居るのですし) 鯛やとか は 島の 下ん (に) 入つとてなあ (入つて居て)。いさぎも ソコイオ や なあ (です)。

そこいじ(そこいち)(底意地)【名詞】 根性。心の底に隠し持つ性格

そこいじなわり(そこいちなわり)【形容詞】 意地悪るだ。(志(布施田))

そこいら(其処)【代名詞】 その辺 そこら (鈴市、鈴郡、伊)

そこいり(底入)【名詞】 潜水。海女が潜る事。(志) [会話] ソコイリ しててなあ (していつて) 言うて な、おつてたや (落ちていつたら) ソコイリ してたない (いった) 言う時もあるし、海女の いつてくの を (もぐるのを) ソコイリ。ふつかい (深い) とこい (所へ) おちこんでくとなあ (で行くと)。ソコイリ してたな (していつた) まあ 言うて な、沈んでく (でいく) 時んなあ (に) ソコイリ してた (していつた)。

磯人(海女) な(が) 磯いて(行って)、ソコイリス んのも(するのもの) 尻かやす。

そこいる 海に潜る 海女が作業すること(志)

そこいれ(底入)【名詞】宴会などの始まる前に少量の食事をすること。又 仕事などで遅くまで、食事が取れない時少量の物を食べておくこと。(南、熊) [会話] 宴会の時に ちょいと(すこし) 先い(に) 食べといて(ておいて) 行かんと(行かないと) 悪酔いするとか、ちょいと(少し) 一口くてけ(食べていけ) 言うのを 言う時な(が) あんな(有ります)。したごさえ(下準備) してかな(していかなければ) ソコ イレテかな 言うてな、よばれてくのん(招待されて行くのに) まあ ちょいと(少し) くてけまあ(食べて行きなさい) 言うて、よおけ(沢山) よお飲まんもん(飲めない者) はなあ、そして よけ(沢山) 飲むもな(者は) それ くたたら(食べたら) 酒のまよかれ(飲まれない) 言うし、よお飲まんもな ちょいと(少し) つくろてかな(入れて行かなければ) 悪酔い すんど(するぞ) 言うてなあ、から腹(空腹) い(に) 飲むと まあ 酒の弱いもななあ(者は)。

そごう(そごふ)【自ハ五】そごう 似合う。調和する。

そこおもたい 重い。ずっしりとした感じ。[会話] こや(此れ) ソコオモタイナ、石な(が) 入いとんね やかな(ているのだろうか) 言うて。どいらい(大変) 重たいと(重いと) このぐらいで持てるやろ(だらう) おもたのおな、おもとおて(重くて) 持てやへん(ない) 時ん(に)、なんやら(何か) ソコオモタイナア言うて。

そこがいしょ(底甲斐性)【名詞】海女の海底での働き 甲斐性 [会話] ソコガイショ な(が) 有って、底(海底) いてからの(行ってからの) 勘な(が) ええ(よい) 言うねわい(言うのです)。こおゆうとこ(所) は 鮑な(が) おる、こんなどこ は くだめな(が) 居る言う勘な(が) 働くにげ(人間) はなあ。ふっかい(深い) とこ よお(よく) いる(潜る) もんは(者) ふかり(深い所) いる(潜る) よって(から) あらとこ(新しい所) い(に) 行くよってん(から) よお とてくるし(取って来ます)、そして 底 ばっか(ばかり) いっても(潜っても) 勘な(が) 働かんと(働かないと) なんも(全く) もん(物) とんのな(取るのが) わり(悪い) にげ(人間) も有るし(有ります)。

そここかす 海底で海流が激しくなる。海底が荒れる。

(志) [会話] いごき(動き) 言う時は 海な(が)、底な(が) いごく(動く) のなあ(です)。上ん(に) 波な(が) のおても(無くても) うねりで 底な(が) いごく 時な(が) あんねてや(有るので) ソココカス言うて 時化な(が) してくる てまえん(前に) なると、底いととも(潜っていても)、海の底で 引張ったりしてなあ どいらい(大変) 働きな(が) しのくいね(しにくいのです)。こや(これは) どいらい ソココカスなあ 時化な(が) して くんなあ(来るのだから) 言うて、二、三日のうちん(間に) 波な(が) してくんね(荒くなって来るのです) 底な(が) いごいて(動いて) ソココカシテまあ言うて、波な(が) してくんのか(高くなるのか) 鮑や(が) 海胆な(が) 皆 荒布を 啜えとんね(啜えているのです)。波なおこって くんねなあ(来るのだ) 言うて、ソココカシテ 底な(で) 仕事な(が) 出来やせんの(出来ないのです)、危のおて(危なくて) 引きづって(ていって) 底な(が) いごくんでや(動くのです)。なびき(潮流) で あちやい(あちらへ) 行き、こちやい(こちらへ) 行きして かずきのくうて(潜りにくくて) 島の下やどけや(などは) 視かれやせん(覗きません)。

そこここ(其処此処)【代名詞】あちらこちら(熊) [会話] ソコ ココ そこら こころ 言うて、そこ言うて ほん(本当に) 近いとこ(所) を そこ言うて言うし 此処言うて すぐんと(すぐに) おる(居る) とこ(所) を 此処言うし ちっかい(近い) とこ(所) そこ。そこら こころ。あちや こちや言うて あそこや(だ) ここや(だ) 言うのも 一緒やけどなあ。(です)。

そこしお(底潮)【名詞】東から西へ流れる潮流。(志(布施田)、度(錦)) [会話] ソコシオ言うななあ(のは)、東から流れてくの(来るのを) ソコシオ言うの(言います)。そして西から来る 東向いて流れんな(るのは) 真潮。そして(そうして) 沖から、たか(陸) 向いて(向かって) 入れて来る潮もあるわい(あります)。より潮な(が) 早よおてまあ(早くて) 今日は言うし(言うのです)。そして こちや(此処) から 沖向いて流れてくのを(行くのを) まあ 今日は で潮(出潮) な(が) 早よおて(早くて) 言うて、じよおし(漁師) の人ら言うやんかい(言います)。なんぼく(南北、四艘張り網) に 行てもなあ(行っても) 今し(今) 出潮ん(に) なって来たよって(から) 網の張り方な(が) 違てくんね

(違って来るのです)。出潮や(だ)言う。たか(陸)向いて(向けて)綱張らな(なければ)はざんよって(駄目だから)さあ潮な(が)変って来たど(来たぞ)出潮になったど(なったぞ)言うて、張り方な(が)違て(違って)。こんだ(今度は)寄り潮な早よ(早く)なって来た言うて又、冲向いて張り真潮や(と)言うて替え 皆色々とその潮によって 違うんやんかい(違うのです)。ソコシオは冷たいし 濁って来んの(来ます)。真潮な(が)入れて来ると(流れて来ると)真潮の海の潮は あおしお(青潮)みたいなあ(のように)カーンと澄んで。真潮でよお澄んで ええなあ(好いなあ)言うて、上から見おろしとでも(て居ても)下のおおび(鮑)な(が)見える位 よお(よく)澄んで来んね(来るのです)。真潮で ずっと(ずうっと)東を見るとなあ何やら(何か)くうろお(暗く)幕 落したよおん(ように)なって来んね。こんだ(今度は)ソコシオン(に) なんのかして(なるのか)覗いて見よまあ(見なさい)真つ黒ん(に) なって来ない(来ました)、ソコシオン(に) になると 濁って来んね。西から来たのん(の)に)ポンと裏返って こんだ(今度は)東から西向いてなあ 変って来る時な(が) あんねてや(有るのです)。ソコシオに替って来て はざんよお(駄目だ)濁って来て言うて。磯(海女作業)しとでも(して居ても)ソコシオな(が)来ると判つとて(て居て)真つ黒ん(に) なって 濁って 赤潮みたい(に) (のように)して来んの(来るのです)。そつとなあ(すると)真潮ん(に) になると カンとしとて(して居て)海の底ん(に) 針な(が) おつとでも(落ちて居ても)見えるよおん(ように) なって来んね。黒潮の流れやなんや 関係なしん(無しに) たか(陸近く)は そおゆう事ん(に) 関係ないいなあ(無いのです)。沖のだいなん(沖遠く)へ行くと黒潮や(と)言うの あれ すんねやろけどなあ(するのでしょうが)、ないざ(波打ち際)では ソコシオ、真潮で あの澄んで来たり 濁って来たり 早なつて来たり(早くなつたり)とごつたり(よどんだり)。磯(海女作業)しとでも かずきよいん(かずきやすい)やんかい(のです)。とごつとる時は、ふっかい(深い)とこ(所)行ても(行っても)ツーと思うとこ(処)へ 行かれるけど(が)、潮な(が)速なつて来ると(速くなって来ると)思うとこへ行かれやへん(行けません)。

そこじゃここじゃ そこだ、ここだ。あれだ、これだ。

ああだ、こうだ。[会話] 其処や(だ) 此処や(だ) 言うてな。喧嘩すると ソコジャ ココジャ言うて 喧嘩しとられ(している) 言うて、あっちゃや(あちら) やない(でない) こっちゃや(こちら) やない 言う事を 其処や(だ) 此処や(だ) 言うて 喧嘩しとられ ソコジャ ココジャ 言うてな。

そこしれん(底知) 限度が判らない

そこすんだり(其処済)【名詞】 失敗した時に使う言葉。

それでおしまい。[会話] なんやかや(何彼) 失敗した事 ソコスダリやなあ(だ)。何か失敗するとなあ おおた(あゝ) ソコスダリやれ(だ) うちやつたてまあ(壊してしまつて)とか、まけたて(こぼしてしまつて) ソコスダリやれ言うて(言つて)。

そこそこ(其処其処)【副詞】【接尾語】 1) 充分とは言えないが、一応満足出来る程度であるさま。数量を表す語について、その数量に達するか達しないかの程度である事を表す。2) 前の動作が終るか終らないうちに次の動作に移るさま。落ちつかず急ぐさま。[会話]

1) ソコソコ おおさおおさ(大体) 言う事やろなあ(でしょう)。まあ ソコソコにしとけ(しておけ) 言うてなあ。そいな事(そんな事) ソコソコにしときや(しておけば) ええない(よろしい) 言うて。話しても ひつつかお(しつつか) 言うると(言つて居ると)、まあそいな事ばつか(ばかり) 言うたらんと(言つて居ずに) ソコソコにしとかんかい(しておきなさい) とかなあ、よお(よく) そいな(そんな) 時に言うなあ(言います)。おおさおおさ言うな(のは) ざつと言う事やわい(です)。ざつとしときや(しておけば) ええない(よろしい) まあ言うて。一貫ソコソコやなあ(だ) とか、丁度や(だ) とか一杯一杯の時は 丁度や(だ) 言うし、一貫足らんと(不足して居ると) こや(これは) ソコソコやなあ(だ) 言う時も 有るなあ(有ります)。一貫ソコソコか 一杯一杯 ソコソコやなあ(だ) 言うて、ちよいと(少し) 足らん事を 言うねやろなあ(言うのでしょう)。ソコソコ言うなあ(言うのは)。

そこだてこき(底伊達)【名詞】 根からの伊達者。しゃれこき参照 [会話] 茶縞着るやつあ(奴は) ソコダテコキ 言うて、そこ(底) な(が) ついとんね(ついているのです)。伊達こきの うわて(上手) やわい(です) ものすごい(大変な) 伊達こきやわい(です)。

そこつく 底が見える、容器に中の物が無くなる
そこつた 干潮が最も極期になった。

そこづみ (底積) 【名詞】 荷物が底 (下) に積まれる事
[会話] にい (荷物) を 底い積むな (のは) 下荷言
うて ソコヅミとかなあ

そこどこ (其処所) とてもその程度でないと言う意を強
めて言う語。それどころ、それにかかわっていらな
い。

そこどこやない それどころでは無い それに関わっ
ていられない。[会話] そいな (そんな) もん (もの)
かもて (関て) おりどこやない (おれない) 畑 行
かんならんのん (行かねばならないのに) それどころ
でない 言うのを ソコドコヤナイ。

そこな (其処) 1) 其処の、其処にある、近くに有る。
(阿、張、名) 2) 其処に居る人を罵って言う。
[会話] 2) とおじんよ (馬鹿) ソコナ 言うて わる
うの (叱るのです)。

そこなう (損) 【他ワ五】 1) 壊して駄目にする。
2) 傷つける。3) 人の気持ちなどを損じる。(三、
鈴市) [会話] 3) シソコナウ、言いソコナウ、そして
機嫌をソコナウ、見そここのた (なった)。機嫌よお
(よく) しとんの (しているのを) ま 変な事言うて
機嫌ソコネタ言うて。1) ソコナウ言時は、物、壊した
り。しぞこない言うやんかい (言います) そやよって
(だから) なんやかや (いろいろ) 壊して言うてな。
3) 機嫌 ソコナウ おや (俺は) ちよいと (少し) ど
んな (へまな) 事 言うたたなあ (言ってしまった)
言うて。

そこなし (底無) 【名詞】 大食漢 よく食べたり飲んだ
りする事、又その人

そこに (底荷) 【名詞】 荷を舟底に入れる事。荷を底に
積む。[会話] ソコニにすると ええんけど (よい
が) 上荷にすると うわかぶき (上が重くて) な
(が) して、ぐらぐらする。

そこぬけ (底抜) 【名詞】 1) 大食漢 よく食べる人。
飲み食いする人。桶などの底の抜けた物は幾ら入れて
も一杯にならない。2) 馬鹿者 [会話] 2) そこの
ソコヌケよ (奴) 言うて、あんごし (阿呆) のおを
(のを) ソコヌケ言うてなあ。なんも (少しも) 考え
の無いなあ、知恵の無いのをなあ、ソコヌケよ (奴)
言うね (言うのです)。其処の ソコヌケや (は) な
んして (何して) けっかんねど (いるのだ) 言うたや
(言ったら) おや (俺は) その底 探しとんねわい
(ているのだ) 言うて。1) よお (よく) 食う、あや
(彼は) ま、底な (が) 抜けとんねどお (ているの
だ) 言うて よけ (沢山) 食うにげなあ (人間)。お

おた そやけど (しかし) あや (彼は) まあ 底な
(が) 抜けとんねやろなあ (ているのだから)、ソコ
ヌケ程 食べんなあ (る) 言うて、底な 抜けとんの
かして (ているのか) よけ (沢山) 食うのなんの 言
うてな。

そこねた (損) 【動詞】 失敗した、壊した、気分を害し
た。

そこねつ (底熱) 【名詞】 発熱の後、なかなか平熱まで
下がりきらないしつこい熱。いつまでも取れない微熱

そこねる (損) 【自ナ下一】 1) 失敗する、しくじる。
(張、南) 2) 壊れる、悪くなる。3) 気分を害する。
[会話] 1) やりソコネル 言うなあ (言います)。何
か失敗した事を やりそここのた (なった)。そここのた
(失敗した) 言うのを、やりソコネル 言うて。

そここのた そこねたに同じ。

そここのとこ 1) その辺 2) そこを (志 (布施田))

そこばえ 【名詞】 五月頃、波が立って海が荒れること。
つゆり参照 [会話] 波な (が) 立つのは ソコバエ
言う。五月ん (に) になると 海の波な (が) でごでご
と 多いねてや (多いのです) ソコバエやなあ (だ)
言うて。

そこびえ (底冷) 【名詞】 体の底まで冷えること、又そ
の寒さ。

そこぶのり 【名詞】 海藻

そこぼつとる 沈んで居る、底の方に有って表面に表れ
ない。だらける参照 [会話] だらけやめや (だ) 言
うて、にぶう (鈍く) 痛むか 痛ませんのか (ないの
か) わからせん (判らない) よおん (ように)、ソコ
ボトル言うよおなのお (の) やろなあ (でしょう)。

そこまめ (底豆) 【名詞】 足の裏に出来るまめ、疣、た
こ。(志 (鶴方、神明、立神、志島、国府)) [会話]
足の裏に出来ると、ソコマメな (が) 出来て 痛おて
(痛くて) 歩かれやせん (歩けない)。豆みたよおん
(のように) こつこつと出来て来ると、足の裏い
(へ) そおすると ソコマメな 出来て来たよってん
(から) 歩かれやへんのやよお (歩けないのです) 言
うて。ソクマメや (だ) 言いおったけど (言って居た
が)、今しや (今は) そげん (そんなに) 言わせんけ
どなあ (言いません)。

そこもり (底盛) 【名詞】 茶碗などの底の部分に、飯を
押し込んでよそう事、上は軽くしておいて皆と同じ様
に見せる。[会話] 鼻のおたべ (性交) と かしき
(炊事夫) のソコモリ してもせんでも かずかんね
ど (疑われる)。

そこやここや そこだ。ここだ。言い争う事。ああだこ
うだ。そこじゃここじゃ参照

そこやま (底山) 【名詞】 海底の岩礁。又は目標となる
物 (志) [会話] ソコヤマ言う と 海のソコヤマかい
(ですか)。ソコヤマ あわしといて (合わせておい
て) 来たか 言うてな、此処ん (に) 鮑な (が) おっ
た (居た) 言うてな、そしたや (そうしたら) 息な
(が) 切れて来て 出てこおと (こようと) すんのん
(するの)に 鮑 見つけて おおた、ソコヤマ 合わ
さんと (さずに) 来たんよお (来ました) 言うてな、
あしこの (あすこ) せえ (瀬、礁) の とこ (所) に
石な (が) あって 荒布な (が) 生えとて (ていて)
言うてな その おおび (鮑) な (が) おった (居
た) とこ (所) の目印をなあ ソコヤマ合わさんと
(さずに) 来たよお (来ました) 言うて、出てくんの
ん (くるの)に 泡 食うて息な (が) 切れて来てなあ
そして ま 息な (が) 切れん (ぬ) 時なら そこ
(底) 見いもて (見ながら) あしこん (あるこ)に な
んな (なにが) 有ったなあ、ここん (に) なんな (な
にが) 有ったなあ おもてなあ (思つて) それ 目印
ん (に) すんのを (するのを) ソコヤマや (だ) 言う
ね (言うのです)。海の底の岩でも もお (藻) でも
なん (なに) でも 目印ん (に) なるもん (物) をな
あ わがと (自分が) おぼえんのなあ (覚えるので
す) それを ソコヤマ 言うてな。今度また あすこ
い (へ) よお (よく) 行くかいなあ (行けるか) 言う
て 潮 (潮流) な (が) ぬるいとなあ (おそいと) 出
て来て 見とるとなあ (見ていると) 其処い (へ) 行
かれる、潮 (潮流) な (が) 速いと 流されてく (て
行く) やんない (でしょう)、そすとまあ (すると)
おった (居た) とこい (所へ) よお行かんやんない
(行けないでしょう)。そやもんで (それで) ソコヤ
マ 合わさんと (さずに) 来たよお言うてな 言う時
な (が) あんねてや (有るのです)。いそなあを も
お (藻) え ゆわえ (くくつたり) たり しよおった
(して居ました) そげん (そんなに) する時や (は)
息な有る時や (です)、おけなあ を、たてなあん
(に) しといて (しておいて) くんねけど (くるのだ
が) 息な (が) 無いもんで (ので) 出てくんねやんか
い (くるのです) そやもんで (それで) ソコヤマは
出えもて (出ながら) うつぶいて (うつむいて) ソコ
ヤマ合して くんねけど (来るのだが) 息な (が) 切
れると ま それ合わず ひま (時間) な (が) ない
ね (無いのです) それどこや (それどころで) ないや

んか (ないのです)。ま はよ (早く) 出てかな (行
かなければ) おもて (思つて) そいな (そんな) のお
を (のを) ソコヤマ言うのなあ (です)。息な (が)
有つてなあ まあ ひとかしらん (一度の潜りに) よ
お獲らんよつて (獲れないから) いそなあ しばつと
いて (くくつておいて) こお (こよう) おもて (思つ
て)、わがと (自分の) 腰綱取つて、ねき (近く) の
荒布い (へ) しばつとといて (くくつておいて) 来ると
其処い (へ) 完全に行かれるけどな、それ 放しと
いて (ておいて) 出て来ると 潮ん (に) 流されたると
(てやると) その 鮑な (が) おるとこい (居る所
へ) よお行かんやんない (よく行かないでしょう) ソ
コヤマ 合わしとくと (ておくと) それ目当ん (に)
ほおてくんやんかい (匍つて行くのです)。そやもん
で (それで) ソコヤマ 合さな (なければ) はざん
(いけない) 言う。

そこら 【代名詞】 その辺 (志 (布施田、立神)、安、度、
南) [会話] ソコラ 言う と 其処。ここら言う と
此処。そのあたり ソコラアタリ 言うの ソコラア
タリ ここらあたり言う、ソコラアタリ言う と ちよ
いと (少し) 離れたとこや

そこら 程度 少量を表す。千円やソコラ、100mソ
コラ

そこらあたし 【名詞】 その辺り (熊)

そこらあたり (其処辺) 【名詞】 その辺り、自分側に属
さない場所を漠然と示す。そこら：其処、其所、そは
その意味。代名詞こは所、聞き手に比較的近い所
今述べた場所、そのところ。あたり：ある時間、場所
を基準としてそれに近い範囲、付近、近所、近く、一
帯 周囲、時間、程度などの大体を表す。(度) [会
話] ソコラアタリに茶屋有れば言う。ソコラアタリ
その辺に 言う事やなあ (です)。ソコラアタリで
とてきたねえ (取つて来たのだ) 言うて ソコラアタ
リいきや (行け) あられ (有る) とかなあ。

そこらい その辺へ。その辺に。(阿、張、名)

そこらうち (其処中) 【名詞】 そこらじゅう、周囲一帯。
[会話] ソコラウチん (に) おろかれ (居るものか)
言うてな、そいな (そんな) とこ (所) に おろかれ
ま それより 遠いとこい (所へ) いとる (行つてい
る) 言う事をな。そこらこらん (に) おろかれ言う
て。ソコラウチん (に) おろかれ あんななあ (彼
が) 言うて。

そこらかいゆい 【名詞】 そのあたり、周囲 (上、阿)

そこらこころ 【名詞】 近く その辺り [会話] あのか

あ (子は) どこい (に) 行たんかいなあ (行ったのだから) 言うど、ソコラココラン (に) おろかれ (居ません)、どこい 探しても おらせんと (居ないと) ソコラココラン (に) おらせんわ (居ません) 言うて。そこら見てみよまあ (みなさい) 言うて。そこらへんを 探せ言うのな (です) ソコラココラ 見てみよまあ おらせんか (居ないか) 言うて。あしこ (あすこ) や (だ)、此処言うのな (です)、そこら言うて。ソコラココラン (に) おろかれ 言うたり ソコラココラン (に) あろかれ (有りません) 言うたり。

そこらじゅう (そこらぢゅう) (其処中) 【名詞】 周囲一面、そのあたり全体。(志 (布施田)、南) [会話] いもちな (が) つくと、ずうと はざん (駄目) よおんな (な) (な) (な) あっこお (赤く) (な) (な) ソコラジュウ全滅してくね (して行くのです)。

そこらへん (其処辺) 【名詞】 その辺、附近 (鳥) [会話] ソコラヘン言うど その周囲の事をなあ、ソコラヘン言うて、其処ら 此処らに茶屋有れば、まま (飯) を炊かすが 合点か言うて その周囲の事をなあ言うの (のです)。

そこらまわし 【名詞】 その辺、附近 まわしはマワリ (廻) の変。(志 (布施田)、安、鈴市、上、阿) [会話] そこら 此処ら 此処らへん言うのも ソコラマアシ言うのも一緒や (です)。

そこり (底) 【名詞】 底り、潮が干いて底の表れる事。干潮の最中で潮の動きのない状態。(志 (越賀、浜島、布施田、船越、鶴方、神明、立神、志島、国府、甲賀)、鳥羽市全域、桑郡、桑市、三、四、鈴市、多、度、北、尾、南) [会話] 潮のソコリ言うてなあ 潮な (が) あげえもさげえも (上下) せんとなあ (せすに) しとる (して居ると)、潮な (が) 干ききったと こ (処) を ソコリや (だ) 言うなあ (言います)。ソコリな (が) 来たよつて (から) こんだ (今度は) 潮のはなな (が) 来る言うてなあ、そこつたると (てやると) じっきん (すぐに)。潮のはな言うて 入れて (寄せて) 来る潮なあ (です) みち潮の事なあ まあ、ソコリやよつて (だから) 潮のはなな (が) くんど (来るぞ) 言うて。潮のはなが来ると ないざ (江) 砂もと (砂のある所) な (が) 泡立ちもて (ながら) ざあざあ 潮な (が) 入れてくんの (来るのを) 潮のはなな (が) 来た言うて。一杯に にっとる時は 潮な (が) 満潮の時は にちきつとる (満潮一杯) 時ソコリとは 言わせんの (言いません)。干いてた (て行った) 時を、ソコリ言うてなあ、潮な (が) 干

いてて (て行って) 島な (が) ほやがって (放り上って、表れて) 来ると ソコリで 島な (が) ほやがって とられ (て居る) 言うてなあ。ほやがる 言うのは島が たっこお (高く) 出て来るやんな (でしょう)。潮な (が) 干ききつてくと (て行くど) そいな時 (そんな時) まあ、潮な (が) 干ききつて 島な (が) ほやがって来たれ言うて。潮な (が) 干ききつて あつそおて (浅くて) 尻ほんにやげて、尻ほつたて かづいとる (潜って居る) 言うて。潮があつさい (浅い) もんで (ので) そこいり (潜って) 底 (海底) かんでもええし (よいので) 尻 ほつたてとて (ていて) 取んのをなあ (取るのを) 潮な (が) ひつから かして (干ききつていて) 尻 ほつたてとや (て居れば) ええんよお (よいのです) 言うて 尻ほつたて あさつとるよお (あさつて居る) 言うて。ほやげるとか ほつたてる言うのは 上向いて あがつとる (あがつて居る) 言う事や (です)。

そこる (底) 【自ラ五】 潮が干いてその極に有る (志、津) [会話] 潮な (が) ソコッタ。潮な (が) そこりん (に) になると、ソコツとられ (ている) 言うてな。潮な ひききつた (ていった) 時な (です)。潮な (が) ソコル 言うて。

そこん (其処) そこに その所に んとにの音訛 (志、鳥 (答志)、鈴市、亀、伊) [会話] ソコン あんない (有る) 言う、ソコンなけな (無ければ) こつちや (こちら) やれ (だ) 言うて。そこに言うのを ソコン言うて ソコンとこん (所に) 無かったら こつちや 見よ言うてなあ。

そこん 底に

そこんおるかともいわせん。そこんおんのかいともいわせん 無視して居る。(志 (布施田))

そこんとこ 【名詞】 1) 其処の所 そこ (鳥 (鳥羽、国崎)、鈴市、亀、伊) 2) そう言う事で、そう言う訳で [会話] 1) ソコンとこん (に) 有るやんない (有るでしょう) 言うて、そこにあんのをな (有るのを) ソコンとこん 有るやんない 言うて。

そざい 【名詞】 副食 惣菜 家族全員の副食 そうざいの訛 [会話] 総菜言わんと (言わずに) ソザイ 言うて みんな (皆) ごちやごちやん (に) しといて (しておいて) やうちな (一同が) 真ん中い (に) 置いといてなあ (ておいて) ソザイ で やうちで 食うたよお (食べました) 言うて

そさくさ 1) 急いで何かするさま、隠れて何かするさま。2) 落ち着きがないさま。

そしたか そうしたか。[会話] 叢雲言うな (のは) くらから変る言うの (の)です。雲な (が) 真つ黒ん (に) なるてくるやんない (でしょう)、ソシタカ、思うと晴れて来る やんない。

そしたや (然) 【接続詞】 1) そうしたならば 2) とところで そしたら参照 (志)

そしたら 【接続詞】 1) そうしたならば、然したならば、同意肯定。2) とところで (話しを元に戻すのに用いる)。(志、三、鈴市、亀、多、阿、張、尾、南)
[会話] 1) そおしたら言うのを ソシタラ言うたり (言ったり)、そげな (そんな) 事したらとか。ソシタラどおやれ (どうだ)、こげん (こんなに) したらどおやれ 言うのをなあ、そんな事したら言うのを。そげな事したら言うのを ソシタラ言うてなあ。ソシタラ言わんと (言わずに) ソシタヤ言う時も 有るしなあ (有ります)。ソシタヤ あんな (彼が) こげん して (こんなに)して) 言うて。ソシタヤ言うのなあ (言います)。

そして 【接積詞】 そうして (鈴市、鈴郡、安、伊、尾、北) [会話] ソシテナあ言うて、それまた言う事を言うんかいなあ (言うのでしょうか)。ソシテナあ、そしたや (そうしたら) こげんして (こんなに)して) 言うてな、そおして言うのを ソシテナあ言うねやんかな (言うのです)。そおしたらとか、そおするととか言う事を ソシテナあ 言うたり そしたやなあ 言うたりな。

そしてから そうしてから それから (安)

そしてなれ 【接積詞】 そうして、それで [会話] それで言うのなあ (です)。そんで (それで) 言うて、その人ん (に) よって そいで (それで) 言う人も有るし ソシテナレ言うてなあ。

そしといて そうして、そうしておいて、そして。[会話] こちな (が) 吹いととと (ていと)、ソシトイテ 雨降らせんけど (ないが) 三日も四日も吹くとひやれごちや (だ)。

そしとく そうして置く

そしらん (素不知) そしらぬ、知って居て知らないふりをするさま。何も知らないような、そらとぼける、空惚ける。知って居るのにわざと知らないふりをする。すらぼける。すら参照 [会話] ソシランカオしていたな (行った) あやれ (あれ) 言うてなあ。よおでも (呼んでも) 返事せんと (せずに) すらぼけて (空とぼけて) 行くとなあ、ソシランカオしていた (行った) とか言うのなあ (言うのです)。返事せんと 行

たり (行ったり) あいそ (愛想) したり しやせんと (しないと)、ソシランカオ しとんね (して居るのだ)。すらぼける言うのも一緒や (です)。よおだけど (呼んだが) 返事もせんと すらぼけて、いたない (行ってしまった) 言うてなあ。あいそ (愛想) も打たせん (ない) とか、あいへんど (相返答) も かかせんとかなあ すらぼこ (空とぼけ) しとるの (しているのを) あいへんども うたせん、かかせん とかなあ。おら (俺が) 言うたてて (言つても) あいへんども うとかれ (打たない)、あいへんど かこかれ 言うて、相手にならん (ならない) 言う事やろなあ (でしょう)。あいそ (愛想) しやせん 言う事を あいへんどかかせんとか うたせんとか あいくらかかせんとか言うて、愛想しやせん 言う事や (です)。あいくら 言うな (のは) どおやな (どうですか) こおやな 言うても、返事せん事を あいへんどおしやせん とか、あいくらかかせんとか 榎打たん (相榎打たない) 言う事やわな (です)。あいくら言うのは 返事、あいへんど言うのも 返事やなあ (です)。

そしらんかお (素不知顔) 【名詞】 知って居ながら知らぬ顔をして居る事。無関係をよそおう様。そしらん参照

そしる (謗、誹) 【他ラ五】 1) 陰で悪く言う。陰口を利く。(志 (鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗) 2) 馬鹿にする。[会話] 1) ソシル言うな (のは) 人の事。嘘いい (嘘つき) やなあ (だ) とか、どげな事 (どんな事) 言うてとか、人の事言うの (の)です。わり事言う事を ソシル言うのなあ (言うのです)。ソシッてまあ おんな (俺が) おらんあいに (居ない間に) 言うて。尻な (が) かいと (痒いと) 誰か ソシットンネナア (そしって居る) 言うて 言うやんかい (言います)。おれ (俺) ソシットンネ (て居る) かして (思へて) 尻のけつな (が) かい (痒い) 言うて。

そすと 【接続詞】 すると、そうすると (北) [会話] そおすると言うのを、ソスト。ソストまあ こげん (こんなに) して、あげん (あんなに) 言うて 言うてなあ。

そすとさいが。そすとさいご 【接続詞】 その時、そうするとその時。[会話] ソストサイゴ こおんなねやんかい (なるのです) 言うて、そげんして (そんなに)して) すると こやつて (このように) なる言う事を、ソストサイゴ こげん (こんなに) なんねやんかい 言うて。そおすると こおなります言うのをなあ、そ

の時には言う意味空(です)。

そそ【名詞】 女陰 おそそ おたべ。それぞれと指す意(大言海) (志、松)

そそお(そう、そさう)【粗相】【名詞】 1) 過ちをする事、過失、又そのさま。2) 大小便をもらすこと。
[会話] 1) 失敗した 言う事なあ (です)。ソソオしたて(してしまって) まあ 言うてなあ、失敗したと (してやると) うた (あゝ) ソソオしてなあ (しました) 言うてなあ (言います)。

そそかし【形容詞】 態度、行動に落ちつきが無い。軽率で不注意である。軽はずみである。あわて者である。
[会話] ソソカシ 言うな (のは) 泡くらい の事をな、ソソカシんよってん (のだから) あや (彼は) ま泡くらいやよってん 言うて、ソソカシて まあ あや (彼は) なんでも しぞこない (仕損い) する言うて ソソカシねよってん 言うて。あわてもんの事を泡くらいやよってん言うて。

そそかしや【名詞】 慌て者(上、阿)

そそぐ【濯】 洗い流す ゆすぐ すすぐ

そそくりだいく【名詞】 下手な大工、修理ばかりして家を新築する事の出来ない大工 [会話] どこやかや(何処其処) ちよいちよい (少しづつ) わり (悪く) なって来たとこを (所を) なおしてくれ (下さい) 言うて、なおしてもらうの、あや (彼は) ソソクリダイクや (だ) 言うて。大きな家は よお建てんよおな (建てられないような) ちよいちよいの大工の事を

そそくりぶしん【名詞】 家の修繕

そそくりもん【名詞】 修理を必要とするもの [会話] そそくる 言うね (言うのです) なおす事をなあ。わりとこを (悪い所) なおすのを ソソクリモンや (だ) 言うやんかい (言います)。

そそくりや【名詞】 着物などの破れたのを修理する人 [会話] ソソクリヤ 言うななあ (のは)、破れとる (ている) とこ (所) を しきし (当て布) 当てて縫いつけん (る) のを そそくる。なおすのをなあ。そして それを 雇われて来る人を ソソクリヤ言うてなあ。なんでも (何でも) ちよいちよい (少し) 修繕する人を ソソクリヤ言うて。

そそくる【自ラ五】 ざっと間に合わせに修理する、部分的に修理する事。修繕する。破れなどを繕う。(志(布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府)、鳥、員) [会話] ソソクルも そくらうも 一緒やわい (です)。一緒の言葉やけど (ですが) 言い方な

(が) 違うけど (が) ソソクル言うのも、なんやかや (何彼) 直すんなし (直すのですし)、そくらう言うのも うちやれとる (壊れて居る) のを、直すのを、そくらう。

そそらげる 敬遠する。[会話] ソソラゲトカナ (ておかなければ) はざん (いけない) 言うのは、おだてて (煽動して) たてまつる (棚上げする)、上手言うて そやしとく (ほめておく) 言う事や (だ)。

そそる【他ラ五】 気が引かれる

そだち(育)【名詞】 育てられかた。育った境遇や、育った時、受けたしつけなど。[会話] 氏よりソダチ言うてな、生れたのおより (のより) ソダチ方な (が) ええとなあ (よいと) 生れはわりいても (悪くても) 上手ん (に) 育つ

そだちざかり(育盛)【名詞】 子供が最も盛んに成長する時期。

そだつ(育)【自ラ五】 1) 一人前になる。2) 成長する。成長して大きくなる。[会話] 1) この かあ (子は) よお (よく) ソダツタナア言うて、かしこお (賢しこく) になった言うてなあ。2) たなもん (種物) 撒いても おたこや (これは) よお ソダツテ 成人 (成長) したなあ言うて よお (よく) 出来た言う事を。

そだてあげる(育上)【他ガ下一】 一人前にする。

そだておや(育親)【名詞】 育ててくれた親 養父母

そつ【名詞】 手落ち、手ぬかり、無駄。(志(神明、立神)、鳥、鈴郡、鈴市、安) [会話] ソツガナイ言う事は ぬかりがない 言う事やわいなあ (です)。あのひた (人は) なんしたてて (何をしても) ソツな、のおてなあ (そつがなく) 言うて、仕事しても、なん (何を) しても 立派な事 するとなあ あの人な (が)、した事に ソツな (が) あるかれ (有りません) 言うて。手落ちとか 失敗や (だ) とか そいなんやろなあ (そんなのでしょう)。ソツな (が) 無い 言うんよって (言うのだから)。

そつがない。そつない 無駄がない。手落ちがない。抜け目がない。そつ参照

そつから そこから(安、張、伊) [会話] 昔や (は) 小庭言うて 一枚戸ですとこ (所) な (が) ありおったわい (有りました)。ソツカラおおかた (大部分) 出入りしよおったわい。

ぞつき【形容詞】 横着なさま。ぞんざいなさま。[会話] ソツキな言葉使うと どんざれ言葉 (硬い、汚い言葉) で言うて。

そっくい (そっくひ) (續飯) 【名詞】 飯粒を押し潰して、練って作った糊。そくい (続飯) の急呼 ソクイヒ (続飯) の略 (大言海) (志、鳥、鈴市、津、上、阿、伊、尾) [会話] わしら (私) てえ (手) い (へ) あかぎれな (が) 切れてもなあ、めつつぼ (飯粒) をきれ (布) に練つといて (ておいて) ソックイしとくと (しておく) あかぎれな (が) 治る言うてなあ。秋 (秋の収穫の臨時やとい) 行くと たあ (田) 刈んのん (刈るのに) きれ (布) ほっそお (細く) 切つといて (ておいて) それへ めつつぼ じっばん (立派に) 練つといて 巻いとくと (ておくと) 日がな一日 (一日中) まあ仕事しとても (して居ても) 取れてかせん (取れて行かないのです)。ソックイで 巻きすえとけ (巻ききつておけ) 言うて。飯粒を 茶碗へ ちよいと (少し) もって来といて (盛る、よそって来ておいて) それ 指で練つてなあ きれ (布) を、ほっそお切つといて 指でじっばん (立派に) 練つて糊みたいん (のように) しといて (しておいて) 巻いとくと (ておくと) いくら仕事しても よさ (夜) 迄 じっばんしとんの (して居ます)。あかぎれな (が) 治つてくの (て行くのです)。そげん (そんなに) せな (しなければ) ほかのもん (物) しても じっきん (すぐに) 破れてくねけど (行くのだが) ソックイは なかなか破れやせん (破れません)。

そくび (素首) 【名詞】 首又は頭をのしつて言う語。そくび、素首の促音化。(鳥、一、上、阿、度) [会話] ソックビ 引き抜いたんど (てやるぞ) 言うてなあ、わり (悪い) 事すると、ソックビやどお (だ) 言うて。子供らをわるう (叱る) 時、ソックビ 引き抜いたろん (てやるう) 言うて、ぎよおぎよし (大げさに) 言いおったの (言つて居たのです)。ソックビ 引き抜かれおったよお (抜かれるところでした)。わるう言うのは 怒るのなあ (です)、怒られたのおを (のを) わるわれた 言うてなあ。

そっくり 【副詞】 1) 全部、全く。(鳥 (相差)) 2) よく似て居るさま。[会話] ²⁾ よお (よく) 似とる事をなあ うなし (同じ) よおにしとる (して居る) 事をソックリやなあ言うて。きんさん ぎんさん みたよおに (のように) あんして (あんなに) して。双子よお似とるおを (のを) おおた (ああ) 双子みたよおん (のように) ソックリやなあ 言うて。

ぞっけ 【形容詞】 粗雑だ。乱暴だ。[会話] ゾッケな (だ) 言う、ゾッキ 言うやんかい (言うのです)。あの、荒っぽい言葉を使う人を、言葉な (が) ゾッキ

で 言うてなあ、荒い言葉 つこたり (使つたり) 汚い言葉 使うと おおた 言う言葉な (が) ゾッキで おとしよおななあ (怖いようだ) 言うてなあ。

そっけない (素気無) 【形容詞】 言葉や態度に相手に対する好意や思いやりのない、すげない。[会話] そげつない言うのを あいそ (愛想) ないのおをな そげつけのおて (無くて) 言うてなあ。おら (俺) な (が) いても (行つても) そげつけのおてなあ (無くて) あの家やなあ (は) 言うて、相手ん (に) してくれやへんのをな (くれないのを) てらくら (愛想) 言うてええんけど (よいのだが)、それ 言わんとなあ (言わないと) ソッケナイしとんね (しているのだ) 言うてなあ。

そっちゃ (其方) 【代名詞】 そっち、其の方、そちら、聞き手に近い関係に有る方向、方角、聞き手の近くに有るもの。(志 (布施田)、鳥 (鳥羽、坂手、加茂)、員、三、鈴市、鈴郡、津、久、一、松、上、阿、張、名、度、伊、北、南、熊) [会話] そっちへ行け 言うのなあ (のを) ソッチャへ行け 言う (言います)。ソッチャへ 行とれまあ (行つておりなさい) 邪魔ん (に) なんのん (なるのに) 言うて。ソッチャ こっちゃ あつちや。こっちや (此の方) へ来い 言うてわが方 (自分の方向) へ、あつちやへ行け そやあれ 言うて 皆 ちゃな (が) つくの (付きます)。

そっちやべた 【代名詞】 そちら側 (北) [会話] ソッチャベタ そちらべた そちらがわ 言うのを、そっちや、ソッチャベタ 言う。べたが付くと そちらがわ、あつちやがわ こっちやがわ言うのなあ、あつちやべた こっちやべた 言うて。

そつてく 走つて行く (北)

そつてた 走つて行つた。

そつと 【副詞】 1) 静かに 2) ひそかに [会話] ¹⁾ ソット とお (戸) 閉めよ。

そつと 【名詞】 卒倒 急に気を失つて倒れる事。そつと うの末尾母音の省略

ぞつと 【副詞】 1) 強い感情が身内を走り抜けるさま。

2) 寒さで体がふるえるさま。

ぞつとした 身の凍る思いをした

ぞつとする 感心しない。驚いた、嫌だ。[会話] ゾットスルナア (する) あの人な (が)。いやな思いすんのをなあ (するのを)。おた ゾットスルナア言うて、言う事な (が) 好からつたり (なかつたり)、する事な (が) 好かだつたり (なかつたり) すると、あの人な (が) する事 ゾットスルナア 言うて、おおた

あの人な (が) 言う事 聞いたや (ら) ぞっと した
よお (しました) 言うて。

ぞっとせん 感心しない、ぞっと、寒さや恐しさのため、全身の毛が逆立つように感ずる。強い感動が体の内を通り抜けて行くさま。(志(布施田)) [会話] ぞっとしたれ (しました) いやらし (いやらしい) もん (物) 見ると、おおた (あゝ) ぞっとしたなあ 言うなあ (言います) おおた あれ見たらぞっとしたよお(しました) 言うてなあ。ぞっとする言うのは びっくり (驚いた) する言う事やろなあ (でしょう)。まあ、見てびっくりして おおた 思うと最後 (その時)、おおた ぞっとしたわい (しました) 言うてなあ (言って)。ゾットセン (しない) 言うな (のは) どっとせん言う (言います)。あんな (彼の) 言うこと (事は) どっとせんなあ (しない) とか しなもん (品物) のわりの (悪い) 見ると おおた こや (此れは) ゾットセン なあ 言うてなあ

そっぱ (反歯) 【名詞】 そりはの転。前歯が普通より前に出て居るもの。(志(浜島、布施田)、鳥(鳥羽、坂手)) [会話] でば (出歯) の事なあ (です)。はあ(歯) むき出しとんの (て居るの) ソッパ の剥き出し。西瓜喰うのん (のに) ええ (よい) んなあ。出っぱに西瓜喰わすな 適当にしとけ (しておけ) 言うて。わしら (私達) な (が) 一口喰とる (食べて居る) あい (間) に 出っ歯でこそげたて (根こそぎ取ってやって) 出っ歯に 西瓜喰わして (食べさせて) 見よまあ (見なさい) 言うて。歯の出とる (て居る) ところ (所) で こそげんのなあ (こそげます)。出っ歯に西瓜か言う (言います)。えてに乗っとんね (得意になって居るのです)。

そっぱった 面倒だった。倒れる程動いた。倒れた 疲れた。そっぱる参照 (志(片田))

そっぱる 1) いやになる、大変だ。疲れる。(志(甲賀)、北) 2) 強情を張る、言い張る、強く反対する。(志(布施田、甲賀)) [会話] 1) 今日はまあ 仕事な (が) えろおて (大変で) ソッパッタ なあ、あんな (彼が) 言うこと (事は) えげつのおて (きつくて) ソッパル なあ言うて。あんまり (あまり) えげつない (極端な) 事言うと、ソッパル よおな事言うて (言うて) 言うわい (言います)。その時は 嫌 になるとか えらいねやろなあ (大変なんでしょう)。まあ ソッパッタ 言うよって (から) えらい (疲れた、大変だった) 事を言うんやろなあ (言うのでしょう)。仕事な (が) えろおて (大変で) ソッパッタ とか 言うやん

かい (言います)。

そっぱ 【名詞】 横の方、よその方向、よそを向く事、無愛想。(鳥) [会話] ソッポ 向いた言うんかい (言うのですか)。あや (彼は) ソッポ 向いて まいきって たれ (舞い切る、非常に強い表現、行ってしまった) 言うて、えろおて (大変なので) いた (行った) いや (嫌) でいたとか (行ったとか) 言う時ん (に) ソッポ 向いていた とか、ソッポ 向いて いたたれ (行ってしまった) 言うてなあ。なんか (何か) する仕事な (が) いや とか、言われた事な (が) いや になった時ん (に) ソッポ 向いていた 言うやんかい (言います)。あや (彼は) まあ ソッポ 向いて いたたどよお (行ってしまったぞ) 言うて。

そっぱこだに (すっぱこだに) 【名詞】 僻地にある村落。すっぱこだに参照 (志(鶴方、神明、立神、安乗)、員、安) [会話] 山や、家 でも 取りかこ で (囲んで) 袋みたいん (ように) なつとる (なつて居る) とこ (処) を、ソッポ コダニ 言うやんかい (言うのです)。山 でも じよおほ (両方) から こおして (迫って) 来たの (のを) あのら (人達は) ソッポ コダニ ん (に) 住んどんねもん な (住んで居るのだから) 言うて、やまあい (山と山との間に) 住んどる (て居る) ら を ソッポ コダニや (だ) 言うてなあ (言います)。

そっぱむく 横を向く 相手にしない そっぱ参照 (鳥)

そっぱり 【形容詞】 すべて 全部 (志(片田)) [会話] みんな (皆) 言う事な (です)。千 ソッポ リ 言うやんない (言うでしょう)。千 言うても、皆 嘘や (だ) 言うと、千 ソッポ リや (だ) 言う。なんもかも (なにもかも) 全部 言う事を ソッポ リや (だ) 言う。

そづみぐい 【名詞】 つまみ喰い。[会話] つかみぐい (つまみ喰い) も しよおずみぐい も 一緒やわい (です)。ちよいと、まあして 喰うのを ソツミグイ や (です)。

そで (袖) 【名詞】 1) そで瓦、屋根の左右の端に用いる瓦。2) 物の横側。[会話] きもん (着物) の袖も有るし、1) 屋根のソデガワラ 言うて、ふち (端) に すんの (するのを) ソデガアラ 言うやんかい (言います)。ヒダリソデ ミギソデ 言うやんかい。しゃかん 屋 (佐官屋) なあ 瓦置きん (に) 行くと そや (それ) ヒダリソデ おこせ (よこせ)、ミギソデ おこせ。あのはふ (破風) へ、そおて (平行して) す

んのを(するのを)ソデガワラ言うてなあ(言います)。一番ふち(縁、側)の外側ん(に)なる破風言うて打ってあるやんない(あるでしょう)。その破風へべたんと行くよおん(に)あの瓦のソデな(が)ついとんの(ついて居るの)そやよって(だから)ソデガワラ言うて。

そでのおてさい。そでのおてさえ それで無くても。

[用例] ソデノオテサエ 泣きたいのん(のに)そいな事言うよって(そんな事言うから)泣いてくれ(泣いて来る)。

そでむつき【名詞】 輪になって居るむつき おしめ[会話] ソデムツキ 言うて、さわ(竿)い(に)通してわあ(輪)ん(に)なつとんの(なっているのを)あれ ソデムツキや(だ)言うて。

そと【接続詞】 すると さうすると約(志) [会話] そすと これ こげん(こんなに)なんねやんかい(なるのです)、そおすると 言うのを そすと言うて、言うねなあ(言うのです)。そすとやわんと(言わずに)ソト、まあ早口で言うたんのなあ(言うてやるのです)。

そとあし(外足)【名詞】 爪先が外を向いて居る歩き方。

そとあるき【名詞】 家の中に居ず外出する事。

そといお(外魚)【名詞】 廻遊する魚。あおいおに同じ [会話] 鯉や 回って来る 外の魚 言う事や(です)。外から回って来る、鯉でも さいら(秋刀魚)でも回って来るやんかい(来ます)。あおいお(青魚)言うて、あおいおは 鯉や しび(鮎)や、さいらやとか そいなのおを(そんなのを)あおいお言うよってなあ(から)そいなのおを(そんなのを)言うんやろなあ(のでしょう)ソトイオ言うて。

そとくど(外竈)【名詞】 屋外に作った竈。日常の炊飯には用いない。多くは鉄で出来た円柱状の物を示し、宴会など大勢の飲食をする時に庭に設置する。(志(布施田)) [会話] 鉄の まるくたい(丸い)のおも(のも)有るし、土で 塗つとる(ている)家も有るし ソトクドなあ、炊き出しの時ん(に)大きな釜で。ソトクドで 焚こやんかれ(焚きましよう)言うて。昔や(は)皆 ソトクドで 焚きおつたねなあ(焚いて居たのです)、藁や かやや 芋がら(芋の茎)や 言うて、焚くもんでなあ(ので)。冬ん(に)なると 外は さぶい(寒い)もんで(ので)よけ(沢山)焚かせんけど(ないが)夏ん(に)なると ま 暑いもんで ソトクドで おおかたなあ(大部分)ゆう(湯)沸かしたり 麦 よましたりなあ

(ふくらませたり)。

そとづら(外面)【名詞】 外部の人との対応に見せる顔つきや態度。[会話] ソトヅラな(が)よおて(よくて)、家ん(の)中では 渋柿みたよん(のように)して むっかし(むつかしい)事ばっか(ばかり)言うておつて(居て)、外い(へ)行くと 上手言うてな。家で渋柿 世間でさわし 世間さわしな(が)くらわりよか(食べられるか)てて(言つて)、家では むっかして 外い(へ)行くと よおて そいな(そんなのを)世間ざわし。外い(へ)行くなあべつんも(特別に)心な(が)ええよん(よいように)言うてな、家の中では むっかし しとんのをなあ(しているのを)あの人あ(人は)ソトヅらばっかでなあ(ばかりで)言うて。

そとながし(外流)【名詞】 屋外の洗い場 土のついた野菜などを洗う(松) [会話] 外の洗い場なあ(です)、外い(へ)洗場 作つとりおつた(て居ました)外で 皆 せんだく(洗濯)したり 魚やどけ(など)でもなあ 中で作ると 生臭いもんでな(ので)、ソトナガシで 野菜もあるたりなあ(洗つたり)、魚もこさえたり(作つたり)すんのなあ(するので)。

そとにわ(そとには)(外庭)【名詞】 家の廻りの庭、内庭、中庭に対して言う。(志) [会話] 築山の事 ソトニワ 言うやんかい(言います)。庭 作る言うて、庭も作つて あの家や(は)言うやんかい、ソトニワ じっぱな(立派な)のお 作つとるよお(ている)言うて。

そとのかみさん【名詞】 門松 [会話] ソトノカミサン かどがみさん(門松)言うて、しよんがつ(正月)にや(には)言うけどな。かどがみさんや うちがみさん(神棚)や言うて、祭りん(に)行く時や(は)かどがみさん 祭ったか言うて言うしなあ、そして 中の神さんは うちがみさん祭つといて(ておいて)、かどがみさんも 祭つて 浜い(へ)祭りん(に)行け 言うて、みいとこ(三カ所)え、しよんがつはまつよおつたね 朝ごつと祭り よさごつと祭り しよおつた。

そとばら(外腹)【名詞】 沖にある島の沖の方、外側。うちばら参照 [会話] 沖の方は ソトバラで、たか(陸、陸より)を うちばら言うて、大島のうちばらソトバラ言うて 今日潮な(が)はよおて(早く)大島のうちばら かずいた(作業した)とか ソトバラ かずいた(潜つた)とか。

そとばら (外腹) 【名詞】 妻以外の女性との間に出来た子供 (熊)

そとぶろ (外風呂) 家外に有る風呂

そとまあし (外回) 【名詞】 家の周囲、外壁。[会話] 家を建てた時、ソトマアシ重ねてすんのを (するのを) よろいがこい。

そとまご (外孫) 【名詞】 他家に嫁いだ子供の子供。[会話] 伊勢やら (とか) 東京やら (とか) どこやら (何処か) いとるのおをだ (行って居るのを) ソトマゴ。うちん (の) のおは (のは) 内孫。あととり (長男) の子供をなあ 内孫言うの (言うのです)。ソトマゴ言うな (言うのは) よそ (他家) へ 嫁ん (に) いた とか、婿んいた (行った) とか言うのを ソトマゴ言うのなあ (言うのです)。ソトマゴのかわい (可愛) のと 尻がさ (出来物) の痒いのは やるせない 言うて。ソトマゴは可愛もん (もの) やてなあ (ださうです)。たま (時々) 来るよつて (から)、家におるもん (者) は じょつく (いつも) おるもんで (ので) 鼻に付いとて (て居て) すんねけど (するのだが) 外におるもん (者) は たまん 盆と正月より来やせんもんで (来ないので) そんで (それで) 可愛もんで かおおてかおおて (可愛くて)。尻がさ (尻の出来物) の痒いと 孫の可愛のはやるせない。幾ら 掻いても 掻いても 痒いもんで やるせない。

そとまた (外股)。**そとわ (外輪) 【名詞】** 両足のつま先を、外側に向けて歩く歩き方。そとわに、そとわにあしの略 (大言海) (上、阿) [会話] ソトワのにげや (人間は) また あや (あれば) 特別やてや (です) 男歩きやなあ (です) あやなあ (あれば)。

そない 【副詞】 そのよう、そんな、そのような。(鈴市、安、松、阿、張、北、尾、南) [会話] そげに言うのも そげん言うのも ソナイ言うのも そなん言うのも 皆 一緒やなあ (です)。

そなえ 【形容詞】 そんな [会話] ソナエん (に) して、言う人な (が) 有るなあ (有ります)。そげん (そんなに) して 言うんてや (言うのです) ソナエん (に) して 言う人も有るけどな、ソナエんしたら はざおかれ (駄目だ) こげんせんかれ (しなさい) 言うてな。

そなえ (そなへ) (備) 【名詞】 用意 準備

そなえもち (そなへもち) (供餅) 【名詞】 1) 鏡餅 (志 (鶴方、浜島)、鳥 (神島、菅島)) 2) 神佛に供える餅 [会話] ²⁾ 御供。神さんえ 供える じゅう にがさね (十二重)。しよんがつ (正月) にや (は)

供えて そして 庚申さんや (だ) とか、勝手の神さんや、えべっさん (恵比寿さん) や言うて、ふたあつ つ (二つづつ) するけど (が) ほんと (本当) の神さんや (には) 十二重して、そして 聞な有る年は ひと とかさね (一重) よけ (多く) してなあ 神さんえ お供。ソナエモチや (だぞ) 言うてな 神さんえ上げ んの (るのを) まあ 一番に ひとくぼ (一臼) こや (これは) お供えやどお (だ) 言うてなあ、別ん (に) しとくの (しておくのです)。十二重 神さんえ あげるやんかい (供えます)、おつごも (大晦日) に。そすと それ下げて、朝 お雑煮にして 祝わうの (のです)。そして ソナエモチ言うな (のは) 床の間え、まえもんや (だ) 言うて、どいらいの (大きなの) するやんない (するでしょう)、鏡餅。あれも ソナエモチな (です)。十二重 言うと ち つちやあい (小さい) 小餅、こもちを 十二重だ その家ん (に) よつて違うけどだ (が) たいがい (大体) そげんするなあ (そんなにします) 大きいのは 床の間え 鏡餅なあ (です)。さざえ (栄螺) や、海老や、橙や言うて 床の間い (へ) するやんない (するでしょう)。そすと、まえもんはやし言うて 二日ん (に) になると それ、はやしおったね (切つて居ました)。

そなえもん (そなへもん) 【名詞】 供物、神佛の前に供える金品。(志 (浜島)) [会話] ソナエモンを せな (しなければ) 言うてな。しよんがつ (正月) は ソナエモン 言うて、餅だけで、他のもな (物は) しや せんけど (しないが) 盆はなあ よけ (沢山) ソナエモンするけど (します)。

そなえる (そなへる) 【他ア下一】 用意する。準備する。

そなわる (備) 【自ラ五】 1) 身につく。2) 貰う。[会話] ²⁾ ソナワッテキタ言うて、なんやかや (いろいろ) 貰らうと、ま こいな (こんな) ええもん な (よい物が) ソナワッテ 言うて、供えてくれて。ソナワッテこや (これは) ごつおや (御馳走だ)、あがり もん (貢ぎ物) な (が) して、珍らしもん (物) な (が) ソナワッテ。ソナワル言うて、貰らう言う時も有る。

そなん 【形容詞】 そのよう、そんな、そのような。そげん、そない参照

そねむ 【他マ五】 ねたむ 羨む (志 (布施田))

その 【接尾語】 あるんソノ だらう [会話] そこん (に) あるんソノ言うて、有るやんない (でしょう) 言うの、そこに有るでしょう言うのを あるんソノ

言うの (のです)。

そのうち (其内) 【名詞】 そうこうしている間、短時間。
近日中 [会話] ソノウチにまあ あれも (彼も) 来る やろん (でしょう) 言うて、じつきに (すぐに) 来る 言う事を、ソノウチん 来るやろん 言うてな。

そのおり (其折) 【名詞】 その時 (志、三、鈴市、一)
[会話] ソノオリん (に) また 貰らうわい (います) 言うて。その時に 言うのをな、ソノオリん (に) ソノオリん また 寄らして (せて) 貰らうとか 言うてな。

そのかた (其方) 【代名詞】 その人 (鈴市、多、伊) [会話] その人 言うのを ソノカタ 言うて、てえねん (丁寧) に 言うけどな (言います)。あの人や (だ) この人や 言うな ソノカタ あのかた 言うのな 丁寧に 言うとな。

そのくせ (其癖) 【名詞】 それでありながら それにも拘らず [用例] 俺ばな (俺を) 怒っといて (ておいて) ソノクセ われとも (自分も) よおせんね (出来ないのだ)。

そのぐらい (其位) 【形容詞】 1) 程度や度合が示されたものと、略々、同じである事を表す。2) 程度や度合が少ない事を表す。[会話] 1) ソノグライな (が) ちょおどな (の) とこやなあ (ところだ)、ちょおど ええなあ (よい) 言うてな。それくらい 言うのを、ソノグライな (が) ちよくなとこ (丁度よい所) やなあ (だ) 言う時もあるしなあ。

そのじぶん 【名詞】 その頃 (志) [会話] ソノジブンにや (には) 丁度 おらも (俺も) 行くやろど (でしょう) 言うてな。その頃に、おそ言う頃に、二時なら二時頃 言うてな言うのを ソノジブンにや まあ、おらも (俺も) お前のとこ (所へ) 行くわい (行きます) 言うてな。そいな (そんな) じぶんにや (は) いとるやろんとか (行っているだろうとか) ソノジブンに 来るやろん とか。

そのとおざ (そのたうざ) (当座) その事の有った時。

そのときばったり 【名詞】 なり行きまかせ (上、阿)

そのぶん (其分) 【名詞】 1) その事。その事情。
2) その代り。[会話] 2) ソノブン おんな (俺が) くとくわい (食べておきます) 言うて、ソノブン わしな (私が) しとくわい (しておきます) 言うて、仕事なら言うしなあ。

そばいもよらん 大きな距りが有る。劣って居る (志 (布施田))

そばえ (そばへ) (戯) 【名詞】 甘えふざける事。

そばえかかる (そばへかかる) (戯掛) 【自ラ五】 甘えかかる。戯れかかる。じゃれつく。[会話] 猫な (が) ソバエカカン (る) のも 一緒に、じゃれる事なあ (です)。あの人 ソバヤカシテ おら (私は) あそどたれ (遊んでいました) 言うて。

そばえかす (そばへかす) (戯) 【他サ五】 甘えさせる。ふざけさせる。そばやかす参照 [会話] ソバエカスも じゃらかす言うて じゃれる事やわい (です)。ソバヤカス言うななあ (のは) ソバエカス言うて 自分がさすし (させる) あの人な (が) そばえて来て言うし、ソバエカカル 言うのは こっちがするし ソバエカスは自分がさせる

そばえる (戯) 【自ハ下一】 1) 戯れる。馴れてたわむれる。あまえる。動物がじゃれる。2) 子供などがふざける。調子にのってふざけ騒ぐ。(志 (浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (相差)、員、鈴市、安、久、一、松、多、上、阿、張、飯、伊、北、尾) [会話] 1) 猫な (に) どんとひぼ (紐) やって (与えて) ここすと (紐をゆすると) こおこおして来る、それ ソバヤカシタレ (させてやれ) 言うてなあ (言います)。ちっちゃい (小さい) 時や (は) よお (よく) ソバエルの (のです)、おつき (大きく) なって来ると そばえやせんけどなあ (そばえないが)、赤ちゃんのうちや (間は) よおソバエルわい (じゃれます)。そすと 猫 ソバヤカス よおなな (ようだ) 言うて。2) 子供でも そばん (そんなに) ソバエル言うて、ソバエンナまあ 言うて、ちょおける となあ、ちょおける事を、よけソバエンナまあ 言うて。ちょおける 言うのは じゃれる事なあ じゃれて まきつきあるく (まとわりつく) と よけ (あまり) ソバエンナまあ 言うてなあ (言います)。

そばえんな。そばえんなまあ 甘えるな。ふざけるな。
そばえる参照

そばがゆ (蕎麦粥) 【名詞】 熱湯に蕎麦粉を入れて練ったもの。そばがき。[会話] いっち (一番) 金持ちやけど (だが)、食べもん (物) な (が) わり (悪い) 家で、その家へ殿さん連れてて (て行って) ソバガユ 喰わたねてわい (食べさせたのだそうです)。

そばがら (蕎麦殻) 【名詞】 蕎麦の実の殻。

そばのほたがい 【名詞】 蕎麦粉に熱湯を入れ、混ぜ合せたもの。蕎麦かき。がいりはかゆ (粥) の訛りか [会話] 蕎麦入れといて (ておいて) あつつうい (熱い) 茶を掛けて 捏ねると 固まって、それい (に)

又茶 入れて 飲むのを朝ぼち(朝食)に ホタガイして 飲んで言うて。蕎麦のこお(粉)を あつつうい ちゃあ(茶)で 捏ねたと(てやると) 団子みたよん(のように) なんねてや(なるのです)。又 あつつうい ちゃあ 掛けて 蕎麦飲む様ん(に)して 飲むのを ホタガイや(と)言う。

そばはずかし 1) 側に居ても恥ずかしい。2) きまりが悪い(志(布施田)、南) [会話] 1) 側のもん(者) な(が) 恥かしね(恥かしいのです)。そいなのおを(そんなのを) ソバはずかし 笑止な 言うね(言うのです)。

そばめ(側目)(蕎麦目)【名詞】 1) 横から見る事。目だけで横のものを盗み見すること。横目。2) 怒って目を三角にする。(蕎麦目) [会話] 2) めえ(目) 三角ん(に)して ソバめん(に)する事を 三角言うんやろなあ(言うのでしょうか)。蕎麦(蕎麦の実) な(が) 三角ん(に) なるやんかい(なります)。

そばやかす【他サ五】 からかう。甘えさせる。[会話] ソバヤカシテ したんの(しているのを)、ちよっからかす(からかう) 言うやんかい(言います)。

そび【名詞】 こびりついて居る物。[会話] ソビな(が) 付いて来た言うて、なんやかや(何彼) こび(固く付着した物) みたいんなあ(ように) のり(海苔) な(が) 付いたりして来ると、ソビな(が) 付いて来たれ(来ました) 言うやんかい(言います)。かなもん(金物、金属製品)へ しゃび(錆) な(が) 付くよんな(ように)、垢 な(が) 付いて来ると。にげ(人、人間) な(の) 垢も 言や(言えば、例えれば) ソビやわいなあ(です)。ソビな(が) 付いて来て言うて 垢な(が) 付いて来て言うのを。なんやかや しなもん(品物)でも 水につかっとなり(て居たり) 湿っとなり すんのん(するの)に 畳んどくと(で置くと) ソビな(が) 付いて来るやんない(でしょう)。風呂桶(浴槽)でも 磨かんと(磨かず)に おつてみよまあ(見なさい) 脂な(が) 浮いて来て ソビな(が) 付いたよおなあ(ようだ) 言うて、にげ(人)の脂はなあ ソビみたよに(のように) 風呂桶へ 手で撫でると じゃらじゃらしとんのなあ(して居ます)。掃除せん時ん(しない時に) 撫でて見よえ、毎日 掃除しとても(して居ても) よさり(夜)のおを(のを) 朝まで ほっとく(ほうっておく)と、そんななあ(それが) ふち(縁) い(へ) 付いて来る。ざらざらしとる そいなのを(そんなのを) ソビ言う(言います)。なんでも(何でも) ざら

ざらして こびりついとんのを(付いて居るのを)、なんか(何か) こびつくと ソビな(が) 付いて来たなあ言うてなあ(言います)。

そひて【接統詞】 そうして(志、松、多、伊、尾)

そびやかす(聳)【他サ五】 そびえるようにする。高く起こして立てる。肩などをいからすようにする。[会話] 肩 ソビヤカシトンナイ(ている)あひた(人は) 言うて、肩な(が) たっかいと(高いと) 肩な ソビヤカス 言うけど

そびれる【自ラ下一】 1) 機を逸する。その動作をする機会を失う意を表す。しそこなう。 2) しおれる。元気がない。[会話] 2) ソビレテナなあ(てしまった)、ソビレトルなあ(て居る) 言うな(のは)、なんやら(何か) しおれたよん(ように) したると(して居ると)、しよびれて来たよおなあ(ようだ) 言うてなあ。ただれて来たとか しおれて来たとか ソビレテ来とんなあ(来て居るなあ) 言うて、ソビレル言うな(のは) そいな(そんな)のおもなあ(のもの)。1) 言いソビレルと、あの時 言うたりや(言つてやれば) よかったのん(のに) その時 言わんと(言わずに) 来て、まあ 言いソビリヤカシタテ(そびれてしまつて)、後で 言おんともて(言おう思つて)、言う時期な(が) 無いとなあ 言いショビレテナあ。時期を おくらかしたた(おくれさせた、失った) 言う事やるなあ(でしょう)。言い ソビレル 言うのは。

ぞぶくら。ぞぶくる。ぞぶくろねこ。ぞぶくろふぐ【名詞】 1) 大食の人、犬、猫が大食する事(志(片田浜島 布施田)) 2) 犬の事(志(志島、甲賀)、度) [会話] 1) よけ(沢山) 喰うのを ズブクロや(だ) 言うやんかい(言います)。ズブクロみたいんなあ(のようだ) 言うて、2) 犬のおっきいのおを ズブクロや(だ) 言うて よお(よく) 喰うもんで(ので)。そやもんで(それで) ズブクロ。おっきい(大きい) 犬の よお(よく) 喰うのを ズブクロやなあ(だ) 言うて、にげ(人)でもなあ よけ(沢山) 喰うとズブクロやなあ(だ) 言うて。ズブクロフガあ(河豚め) 言うてなあ、ズブクロみたいん(のように) 腹な(が) おつき なつて来るもんで(ので) 言うんやろなあ(言うのでしょうか)。ズブクロフガあ言うて、子供ら(を) わるう(叱る) 時ん(に) わり(悪い) 事するとなあ。よけ 食べる人な(を) ふが(河豚は) 腹な(が) おっきい やんな(でしょう)。腹な(が) おっきいと ズブクロフガよ(奴)。

ぞぶり(素振)【名詞】 動作、気配。表情や動作、態度

に表れた様子。[会話] 顔の色や(とか)、ソブリな(が) どいらい (大変) いそんだ (急いだ) よおなふう (様子) すんのを (するのを) けっそお変えて。

そぶれる【自ラ下一】 機を失う。そびれる。(員)

そべた 転んだ。そべる参照(志(片田)北)

そべとる 転んで居る(志(布施田))

そべる。ぞべる【自ラ五】 1) 蹠いて倒れる。(志(浜島、志島、甲賀、国府、安乗)、度) 2) 長々と横になる。寝ソベル(志)[会話] 1) のたる (横になる) 事なあ (です)、こける (転ぶ) 事を ソベタよお (しました)。けつまげて (蹠いて) ソベル 言うてな。のたる 事をなあ、ソベル 言うの (言います)。わしら なあ (私達は) めえ (若布) もなあ はさ (稻架、物をかける場所) に おりとんのおを (掛って居るのを) じべた (地面) に こお (並べる) すんのを (するのを) めえ (若布) ソベナ (なければ) はざん (駄目だ) 言うて、じべた へ 並べんのを (並べるのを)。にげ (人) でも こけて (転んで) じべた へ べたん とするのを ソベル。

そばろ【名詞】 魚肉に味付けし粉状にした物。そそけてほろほろとなった意(大言海)(三重県全域)

そま【名詞】 魚名。平宗太 宗太鮠 すばた参照(志(鶴方、立神、甲賀、安乗)、鳥、度、北、尾、南、熊)

そむける(背向)【他下一】 後ろを向く。横の方を見る。視線をはずす。

ぞめき【名詞】 騒ぐ事 ひやかし ぞめく参照(志、鳥、上)

ぞめく(騒)【自カ五】 騒いで遊び歩く。騒ぐ。うかれさわく。騒ぎ歩く。特に遊郭や夜店をひやかしながら歩く。買うつもりもなく、商品などを見て回る。冷やかす。(志(浜島、布施田、鶴方、志島、甲賀、国府)、鳥、名、員、鈴市、安、上、阿、北)[会話] なんやかや (何彼) 物かいんいて (買いに行つて)、こんな (これが) ええなあ (よい) あんな (あれが) ええなあ 言うて、すんのを (するのを) ゾメク 言うの (言うのです)。かわん とおつて (買わずにいて)。店 ゾメキン (に) 行こか (行きましようか) 言うやんかい (言います)。旅行へいても (行つても) 夜店へいて (行つて) ゾメイテこおや (来ましよう) 言うて、買わんとおつて しなもん (品物) あれ見い これ見い すんのを (するのを) ゾメク 言うのな (言うのです)。おやまさん (女郎) ゾメキン (に) いた (行つた) たら (とか) 言うて、よお (よく) 言うやんかい (言い

ます)。わしら な (私達が) 朝鮮 行く時 大阪 い (へ) いてなあ (行つて) 松島 行くと おやまさん ばつか (ばかり) で、男の人ら (が) 行くのん (の) に 付いてて (て行つて)、松島 おやまさん 覗きん (に) いて 仲居ん (に) 塩 ふられて おなご (女) な (が) 行く と 縁起 な (が) わり (悪い) 言うて 塩振 っておこすの (よこすのです)。塩 振られて やうち (一同) な (が) ぶるぶる 言うて。そやけど (しかし) 男の人ら に 付いてかな (行かなければ) おなご (女) な (が) 行く と 仲居 な (が) 外ん (に) おつて (居て) おなご は はいれやへんやんな (入れないでしょう)。そやもんで (それで) 男の人ら の後い (へ) 付いてて (行つて) おやまさん な (が) 並んどんの (で居るのを) 覗いて 来よおつたの (来て居たのです)。松島 行くと おやまさん ばつか (ばかり) ずうと ひとまわり (全部) おやまさん で それへ、皆 男の人ら な (が) ゾメキン (に) 行くやんない (行くでしょう)。そすと それへ 追わえて きおつたの (追わえて行つて居たのです)。その時は 買わんと (買わずに) 騒ぎ に行く、買わんと みいん (見)、覗きん (に) だけ行くのなあ (行くのを)。ゾメク 言うのな (言うのです)。

そめこ(染粉)【名詞】 粉末の染料。そめもんや参照

そめもん【名詞】 染物。染める品物。

そめもんや(染物屋)。そめや【名詞】 染物を業として居る家、又その人。[会話] きるもん、皆、染めて もらよおつたわい (貰らっていました)、しらけて (色があせて) 来ると ソメコ こおて (買つて) 来て わがとら (自分達) な (で) 染めたり なあ。ソメモン やい (へ) やったり (出したり) しよおつた (して居ました)。色 を染め直したり 模様 置 く 人も 有るけど たいがい (大体) 色あげ すんのなあ (するのです) 色 を こい (濃く) したり すんのん (するの) に ソメヤい (へ) やったり わがとら な 染める 時も 有る し。

そや【感動詞】 1) それ、そりゃの転。それ(感嘆詞) 驚かしたり、指示したり、注意したりする時に用いる語。(志(布施田)) 2) それは。(志(船越、片田、波切、浜島))[会話] 1) ソヤ 呉れる わ言うの をな あ やんのを (やるのを) ソヤ ソヤレ 此れ 呉れる わ言うて。ソヤレ 其もてこい (持つて来い) やたら (とか) ソヤレ こやれ 言うて なあ (言います)。

そやあら【感動詞】 それ、そら。[会話] 此れ せんこ (しなさい) ソヤアラ。

そやあれ【感動詞】 そうれ、そやの女性言葉。そやれ
[会話] そやと ソヤアレ言うのも 一緒や (です)。
ソヤアレ言うのも、そや見たけ (それ見たか) 言うの
も 一緒や。それ言うて、男の人には それ言うて、
おなご (女) や、子供に言う時は ソヤアレ言うし
(言います)。ソヤアレ言うのは 女の人ななあ (が)、
男の人は それ言うてなあ (言います)。それせんか
い (しなさい) 言うて。ソヤアレせんかれ (しなさい)
言うて、おなごら (女達) に言うし。男の人らに
それせんかい 言うてな かいを使うのな (使うので
す)。

そやかして そうだとみえて そうなので (度) [会話]
ソヤカシテ やつしころばかして (めかしこんで) 来
たれ (来た) 言うて。

そやかて それでも。そうだけれども。(張) [用例]
ソヤカテ いんなおとしよって (犬が怖いから) よお
いかん (行けません)。

そやから それだから (志、度、北、南)

そやげえ ずり上げよ [会話] こお (子供) な (が)
ぞれてたれ (落ちていった) ソヤゲエ そや (それ)
言うてな。こお (子) も ゾヤゲント (げすに) そや
れ (それ) ぞらかして (落して) 言うて。なんやかや
(いろいろ) 上げる時や (は) もちやげる (持ちあげる)
言うけど (が)、背中ん (に) 負いねとると (て
いると) 子供はなあ、ゾヤゲル言うの (のです)。ぞ
れ降りる 言うやんない (言うでしょう) 背中から
ぞれおりて そやれ 言うて。

そやけど【接続詞】 そうだけれど、然しながら。然りだ
が、だが。(志 (神明、片田、畔名、船越、志島、甲
賀、浜島、鶴方、立神、志島、国府)、鳥 (坂手)、度、
三、四、鈴市、鈴郡、安、久、一、松、多、上、阿、
張、名、伊、北、尾、南) [会話] ソヤケド こや
(これは) テレビやけど (だが)、そや (それは) そ
おやけど (そうだが) 言うて。ソヤケド 言う時も
有るし、それやけど 言う時も有る。それやけど (だ
けれど) 言うのをなあ ソヤケド言うの。そおですけ
ど (けれど) 言うのをなあ。ソヤケド 言う人も有る
し しやけど 言う人もあんね (有るのです)。

そやげる すり上げる 剃りあげる

ぞやげる ずらして上げる [会話] こお (子供) おお
どても (背負っていても)、こお (子供) をな、背中
から ゾヤゲエマア 言うて。尻を上げて 上い (に)
あげんのを (上げるのを) ゾヤゲル。ゾヤゲタレマア
(てやれ) 言うて、おいねとんのな (背負っているの

が) ぞれてくと (落ちて行くと)。

そやこそ それこそ、大変だ。[会話] ソヤコソなあ
言うなあ (言います)。ソヤコソ 昔からなあ そい
な (そんな) ことな (が) 言うて有るやんない (有る
でしょう)、それやこそ 言うて、それやこそなあ
それを じょおく (いつも) 言うてるやんかあ (言っ
て居るでないか) 言うて。そおだから言う事を言うの
なあ (です)。大変な事が起った時に ソヤコソ見た
か言うて、つね (日常) に せんぎり (充分に) 注意
しとんのに (しているのに) それ聞かんとおって (ず
に居て) それが 悪化して来た時になあ ソヤコソ
言わん (ぬ) 事か言うてなあ。

そやさかい。そやさかいに それだから (志、鳥、鈴市、
安、久、上、阿、張、伊)

そやさけ。そやさけに。そやさけん それだから、それ
やもんで参照 (志 (片田) 多、上、阿、張、名) [会
話] ソヤサケン、それやけど言うのも一緒や (です)。
それやけど ソヤサケン 言うて、それやけどなあ そ
や (それは) こおやった (だった) やんかあ (です)
言うてなあ (言います)。

そやして 煽てて [会話] ソヤス言うな (のは) 誉め
る言う事やわな (です)。ほめて上手言うてすんの
(するのを)、ソヤシテ言うて。ソヤスのん (のに)
上手で。

そやす【他サ五】 そそのかす。おだてる。(上、阿) [会
話] ソヤス、煽てる、おまや (お前は) えらいなあ、
おおた なんさしても (なにさせても) 言うてな、金
儲けも 上手やし (だし) 腕もええしなあ (よいし)
言うて ホメソヤス言うやんかい (言います)。

そやさおと (そやさうと)【接続詞】 それはそうとして、
其然。(志) [会話] ソヤソオト言うてなあ ソヤソ
オト言うのは 思案した時に ソレハソオト こおや
ったなあ (だった)、ああやったなあ 言うて 話しの
はじまりに ソヤソオト あや (あれは) どおこおや
ったなあ 言うて、はじまり (始め) に ソヤソオト 言
う事なあ (を)。

そやさおや その通りです それはそうだ [会話] ソ
ヤソオヤなあ言うて、わがとな (自分の) 話と、あ
たな (貴方の) 話しと 合うとなあ ソヤソオヤなあ
言うて。

そやさや 1) それ、それ 2) その通りだ (桑市、鈴
市、亀、安、一、上、阿、張、名、南) [会話] 1) ソ
ヤソヤ言うて 人ん (に) やんのん (やるのに) ソヤ
ソヤ言うてな。ソヤソヤ 早よ (早く) もてけ (持つ

て行け) 言うて、はよ そや言うてな。そやれ (それ) はよ もてかんかれ (持って行きなさい) 言うて、ええてや (よろしい) 言うても そやれ (それ) もてけ (持って行け) 言うてな。

そやった その通りだった。そうだった。(安)

そやったら 1) そうだったら しかし(北) 2) そうしたら その様にしては

そやって 1) そうして(阿) 2) そのままで [会話]
1) ソヤッテ じょおく (いつも) そいな (そんな) 事、しとんねやんない (しているのだらう) 言うてな

そやっとく そうしておく

そやで【**接続詞**】それだから(志、鳥、桑郡、三、四、安、津、一、松、多、上、阿、度、伊、北)

そやてかい そうですね [会話] そおですか言うのをソヤテカイ言う。今日は さいら (秋刀魚) 舟な(が) よけ (沢山) とて来たんでわい (獲って来たそう) 言うて、ソヤテカイ言うてな ソヤテワイなあ (そうですね) 言うて。

そやてわい そうだそうですね そやてかい参照

そやなあ 1) それはですね 2) そうですね(四、安、一、阿)

そやないと そうでなければ

そやなけな そうでなければ [会話] ソヤナケナ 来るはずあ(はずは) 無いやんか (有りません) 言うてな。そげな (そんな) 事 言うたてて (言っても) ソヤナケナ そげん (そんなに) あの人な(が) 来るはずあ(はずは) 無いやんかあ (有りません)。ぐわい (調子) な(が) わりなけな (悪くなければ) 言う事 やるなあ (でしょう)。そおでなければ ぐわい な わりなけな 医者 たのもかれ (頼まない) 言うよおな時んなあ(に)。ナケナは なればや (です)。医者 頼むはてや (と云えば) ぐわい な(が) わりナケナなあ (悪くなければ) ソヤナケナなあ言う事。

そやのお 1) そうやのう そうですね 考える時(志) 2) そうですね [会話] 2) ソヤノオ言うのはそおですか 言うの (のを)、ソヤノオ言うの(のです)。ソヤノオは その通りや (だ) 言うの (のです)。ソヤノオ その通りやのお (だ) 言うて 合わしてくの (て行くのです)

そやのおて そうでなくて

そやのおても それでなくても(上、阿) [会話] ソヤノオテモ そげん (そんなに) 言お (言おう) 言うて かんまえとんのか (待ち構えているのに) 言うて。そおでないのに言うのを ソヤノオテモ 言うねんな

あ (言うのです) ソヤノオテモ 人のいなん (要らぬ) 事を 言いたいにげ (人間) やのんなあ (だのに)、そいな (そんな) 時ん (に) 言う言葉や。(です)

そやのに。そやのん それだのに [会話] そやのおに (のに) こげん (こんなに) 言うて 言うてな。そお やのになあ (だのに) そや (それは) 違うやんか (でないか) 言う言葉やわいな (です)。ソヤノンナア こげん 言うて 言うて。

そやまあ それはそれは。

そやまた それはまた

そやみたか。そやみたけ。そやみたけな。そやみたけん。

そやみたけんの それ見たか、それ見た事か、注意などを無視して失敗した時に叱る言葉。そや見たか 言わん事やないわれ。それ見ろ 相手の失敗をとがめる言葉 [会話] なんやかや (いろいろ) こげん (こんなに) せえ (しなさい)、あげん (あんなに) せえ 言うてあんのん (有るのに) 他の事するやんない (でしょう)。すると 失敗すると ソヤミタケン言うてソヤミタケも ソヤミタケンも一緒やけど (だが) その時ん (に) よってなあ 言葉な (が) ちごて (違って) 来るけど (が) 一緒の事や (です)。そや見よ おらな (俺の) 言う事 聞かせんよって (聞かないから) その通りやれ (だ) ソヤミタカ 言う人も有るし、ソヤミタケン 言う人も 有るし (有ります)。

そやみよ そら見ろ。(志(片田)) [会話] ソヤミヨ おらな (私の) 言う通り 言う事 聞かせんよって (聞かないから) その通りやれ (だ) 言うてな。そや見たか 言う人も有るし、そや見たけん 言う人も有るし。そや見たけん おらな (俺の) 言う通りにすると ええけど (よいのに) 言う事 聞かせんよってん (聞かないから) その通りやれ (だ)。

そやもん【**接続詞**】それだから。だから。(志) [会話] そおやもんで 言うのをな そおやから (そうだから) 言うのを、ソヤモンで言うねなあ(言うのです)。そいなねもんでなあ (そんなのだから) 言うてな。

そやもんで【**接続詞**】それだから、それゆえ。そやもん参照(志(浜島、畔名、志島、国府)、鳥(鳥羽 坂手 答志)、鈴市、鈴郡、安、津、一、松、多、度、伊、北)

そやもんでさけん【**接続詞**】それだから

そやよって。そやよってに。そやよってん【**接続詞**】それだから。(志(越賀、船越、片田、浜島)、鳥(答志)、北) [会話] 高腰でおると 舟な(が) かたん

で(傾いて)ぐらぐらするもんで(ので)ソヤヨッテ下、降りて座れ 言うて 男の人らに わるわれる(叱られる)。

そやれ【感動詞】 それ(志) [会話] 物やる(与える) 時も ソヤレ言うてやんのなあ(あげるので)。そや言うたりな。母さんらん(に) そや これ やるわい(あげます) 言うて それ言う事や(です)

そやろ そうだろう

ぞよお(ぞやう)【名詞】 雑費、種々のこまごました費用。ぞおよう参照(志(甲賀)、熊) [会話] ゴヨオ、ぞよおお言うのも一緒やわい(です)。ぞよおおや(だ)とか、費用とか、いりよおとかは 言うけど(言うけれど) そいな言いは がいん(あまり) しやせん(しません) よおやなあ(ようです)。する人も あんねやろなあ(あるのでしょうか)。

そら(空)【名詞】 1) 上の方、高い所。(志(浜島)、鳥、三、鈴郡、一、多、張、度、北、南、飯) 2) 暗記して居る事。覚えて居る事。3) かみ、かみ手。(志(飯) 4) 他所。5) 長男 長女(伊) [会話] ¹⁾ 上のソラ(空) かい(ですか)。あのソラ(上)に据えといた(置いておいた) やんかい(です) 言うて、ソラ(空) から落って(落ちて) 来た言う時も有るし、上の事を たっかい(高い) 事 言うんか(言うのでしょうか) 上をなあ。たっかいとこも(所) 上も 一緒やけどなあ(ですが) あの上から落ちて来たれ(来ました) 言うてなあ 上へあげといた とか ソラへあげといた(ておいた) とか 一緒やけどなあ(です)。あすこの ソラの家 言うて たっかいとこ(高い所) ん(に) ある家をな。²⁾ 頭な(が) よおて(良くて) なんでも(何でも) ソラで憶えとる(て居る) 言うてなあ かかんと(書かずに) 憶えとる事なあ(を)。暗記しとんのなあ(して居るのです) あのひた(人は) 頭な(が) ええ(よい) ので ソラで なんでも憶えとて(て居て) 言うて。ソラで 覚えとけ(ておけ) 言うてな 歌でもなあ ソラで よお、おぼえんで(覚えられなくて) 書いて覚えた 言うてな。

そら それは。(志(布施田)、鳥、三、四、鈴市、安、津、上、張、度) [会話] せんど(船頭) ひんよお分けてくれえ(平等に分けて下さい)、ソラ すけないなあ(少ないです)。

そらあい(そらあひ)【空合】【名詞】 天候の状態

そらいき【名詞】 雲行き 天候の変化

そらおぼえ【空覚】【名詞】 暗記している事

そらかした 勢いよく走った。

そらかしてく 走って行く 疾く走って行く [会話] 猫な死んだ思とたや(思つて居たら) いきやがつて(生きあがつて) 来て、ソラカシテク 言うてな。

そらかしたた 早く走って行った。[会話] 走ってく(行く) 言うな(のは) ソラカシテタ 言うの。

ぞらかしとけ 1) 少し場所を移動させる。ずらしておけ。2) 下へずらしておけ [会話] ¹⁾ ちよいと(少し) ゾラシテケ 言うて、ずらかす(動かす) 事を ゾラカシテケ 言うて。きちつと してあんのを(あるのを) ちよいと 場所 移す いじらかす(動かす) のを、

そらかす【他サ五】 大変な勢で走って行く。そる、走る。逸(ソル)に関係ある語か。(志(志島)) [会話] ソラカス 言うて、走ってく(て行く) 事をな。 あやあれ(あれ) ソラカシテタナイ(走って行った) 一人で、子供おいとでも(子守りしていても) まあ 親ばな(を) ほつといて(放つておいて) 一人 ソラカシテタない(て行った) 言うて、そいな(そんな) 時ん(に) よお(よく) 言うなあ(言います)。 ソラカシテタリ(行ったり)、まいこんでたりとか 言うてなあ 走る事を ソラカス 言うてなあ(言います)。

ぞらかす 1) 外す。紛らわす。2) そむける

ぞらかす 滑り落す。ずらす。[会話] ズボン ソラカスとか、土な(が) ぞれて来たとか、物な(が) ぞれて来たとか。積んで あんのな(有るのが) 潰れてくんのを(来るのを) ぞれて来た 言うてな。すべり落ちるとか ずべり落とすとか 土な(が) 落ちて来て まあ言うてな。

そらかせ 早く走れ。走れ。[会話] 風な(が) よけ(沢山) 有ると、主帆もまいて、ソラカセ。

そらごと(空事)【名詞】 1) よそ事。2) 嘘 [会話] ²⁾ ソラゴト 言うのやったら(だったら)、嘘を言うのを ソラゴト 言うやんかい(言います)。

そらじに(空死)【名詞】 死んだふりをする事。すらじに。[会話] ソラジニかい(ですか)。 ソラジニしとてまあ(して) 言うて、猫どづいたら(叩いたら)、やい、ソラジニしとて(して) いきやがつて(生き上つて) 来たね(来たのだ)。 いきやがつてくんね(来るのです) 猫はなあ。 猫な(が) 死んどんない(でいる) 言うて、はよ(早く) まあ 放りん(捨てに) 行かな(なければ) はざんわれ(駄目だ) 言うたや(言ったら)、まあ、ちくでん(逐電) してたね(して行ったのだ) 蜘蛛でもよお(よく) ソラジニ するなあ(します)。蜘蛛は きりつと わあ

(輪) ん (に) なっててなあ (行って) 死んでたね (でいったのだ) 思うとなあ いきやがって (生き上って) 来てなあ ソラジニ すんの (するのが) 上手なね (のです)。死んだ格好しててなあ (して) ぐも (蜘蛛) ななあ (が) くるくと まるくとお (丸く) なあって (なあって) 死んどんね (でいるのだ) おもて (思) 棒で はねたるとな (てやると) いきやがって 来て ソラジニ すんの (するのが) 上手なね (のです)。

そらす (逸) 【他サ五】 1) 速く走る。そらかす。2) その物から外す。逃がれるようにする。[会話] 2) めえ (目) ソラス。あの人な (が) なんやら (何か) しとんねけど (しているのだが) まあ めえ (目) ソラシタんよお (ました) 言うて、見とても (見ている) みやん (見ない) ふりしてなあ、するのを、めえ (目) ソラス 言うんなあ (言うのです)。1) ソラスで 走る、ソラカシテ来い、ソラス 言うの、走って く (ていく) 言うな (のは) ソラカシテタ (ていった) 言うの (のです)。あやれまあ (あれ) いきやがって (生きあがって) 来て ソラカシテタレ (ていった)

ぞらす 1) くずし落す。(志 (布施田)、多) 2) 場所を移す。[会話] 1) ソラス言うのは 上ん (に) しとんのおを (して居るのを) 下へ ソラス。そやれ (それ) 帯も ゾレトラレ (ぞれて居る) 言うてなあ。帯 しとても (して居ても) しよるけ (ゆるむ) て来ると、そやれま (それ) ゾレタレ (て行った)、なかね (腰巻) な (が) ゾレタレ、ゾレトラレ (ている) 言うて、さがって く (て行く) 事を ゾレル 言うのな (言うのです)。下向いて ゾレタ 言うてなあ。きもん (着物) 着とる (て居る) 服装な (が) 乱れとても (て居ても) ゾレル。帯な (が) ゾレタ (て行った) 言うけど (が)、きもんも ゾレテキテ、羽織な (が) さがとる (ている)。紐でくくって有るもん (物) が ゆるんで来ると ゾレル 言うのなあ (言うのです)。そやれま (それ) ゆるんで ゾレタレ 言うて、そして (そうして) 子おんどても (背負って居ても) わたっしや (あゝ) こおな (が) ゾレタレ 言うて、下へさがって来たのおを (のを) こおな (を) ソラス 言いおったよってなあ (言) 居ましたから)。崖やなんや 上の方崩しといて (ておいて) 下向いて ゾラス 言うてなあ、がら (岩塊) ゾラシテおこした (よこした) 言うて、石を ぞらさして (させて) おこした (よこした) とか、きい (木) でも ゾ

レテ来たれ (来た) そやれ (それ) 言うて、下げておこす (よこす) 事を ゾラス 言うのなあ (言うのです)。

そらそおと 【接続詞】それはそうと 然し(員、鈴市、伊、北)

そらつかう (そらつかふ) とぼける

そらとぼける (空惚) 【自カ下一】 知って知らぬふりをする。すらとぼける。

そらなき (空泣) 【名詞】泣きまね。泣く真似をする事。

そらなみだ (空涙) 【名詞】悲しくも無いのに偽って出す涙。

そらね (空寝) 【名詞】寝て居るふり。すらね参照

そらのこ 【名詞】上の子、又は長男 長女 (三、阿、張、名)

そらぼける 知って知らぬふりをする。すらぼける。

そらみみ (空耳) 【名詞】1) 聞いて聞かないふりをする 2) 何も聞こえないのに聞いた感じがする。

そらよみ (空読) 【名詞】1) 嘘読み。2) 暗唱 [会話] 1) 百人一首したりすると ソラヨミ して ”朝寝して 人には楽に 思われて しょんべん (小便) こらえて 何がよかろう。”

そりなあわん 互の性格が合わない。親しくなれない。嫌いだ。(志 (布施田))

そりはし (反橋) 【名詞】登り降の傾斜の強い橋 太鼓橋 [会話] 池に ソリハシ 団子にちんこ これ一つなあに 言うて、どひん (土瓶) 言うて、がっこ (学校) い (へ) 行くじぶん (頃)、つもりごと (謎かけ) しよおや (しましよう) 言うてな ふち (縁) に とってあんの (有るのは) あや (あれは) 団子そすと 口は ちんこ、だんごにちんこ。ソリハシ言うな (のは) ずうっと 反とる (ている) 橋 太鼓橋なあ (です)。

そりや それは (志、鈴市、度、伊、北、尾、南、熊)

そりよとる 反発して居る。言い争うて居る。[会話] ゆいやい (言い争い) すん (る) のを、言うたよな事 ばっか (ばかり) 言うて、ふたんな (二人が) ソリヨトル 言うて

そる 走る (志 (志島、甲賀)、鳥 (答志)、度、北、尾)

そる (反) 【自ラ五】 曲つて居る。

それ 【感動詞】1) 人に物を与える時。どうぞ。 2) 語と語を継ぐ時。

ぞれ 【名詞】崖 潰れ、崩れ落ちるような傾斜地。(志 (越賀、布施田、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、

鳥、飯 [会話] 崖のソレ ソレ言うかなあ (言うの
かなあ)。

それいえ それ それどおぞ [会話] そや (それ) 言
うたり、しや (それ) 言うたりなあ、ソレイエ 言う
事やなあ (です)。

それおちた 滑り落ちた ずり落ちた [会話] ソレオ
チテ 来たない (来た)、滑り落ちて くんのをなあ
(来るのを) ソレオチタ、ぞれる。こやあれ がけっ
ちよ (崖) から ソレオチテ来たない (来た) 言うて
な、滑る言うのを ぞれる言うのなあ (です)。

それおちる 崩れ落ちる すべり落ちる [会話] ソレ
オチルのも、ずりこんでく (ずり込む、入り込む) 言
うのも 一緒やなあ (です)。

それおりる 滑りおりる。滑り落ちる。[会話] すべり
降りて来たれ (来た)、言うのをな、滑って来る 言
うのを ソレオリテ来たれ (来た) 言うのなあ (で
す)、すべん (る) のおを (のを)

それかして そうと見えて

それかて 然しながら (志 (甲賀)、阿)

それからこっちゃ 【名詞】 それ以来 [会話] ソレカラ
コッチャ あのひた (人は) 顔出したこた (事は) 無
いない (ありません) 言う時も 有るやんかい (有り
ます)。それ以来 ソレカラコッチャ まあ あの人の
此処い (へ) 来たこた 無いなあ 言うてな。こっ
ちゃえ まあ 来たこた 無いなあ、見やせんもんなあ
(見ないから) 言うて。ソレカラコッチャい くんな
(来るな) 言うて 場所も ソレカラコッチャ 言う
て、きり (区切り) 切ったんのなあ (してやるので
す)。

それぐらい (其位) 【名詞】 1) 其位、それ程、その程
度、程度や度合が示されたものと略々同じ程度 2)
少ない量を表す時用いる。[会話] ²⁾ ソレグライのこ
た (事は) なんどお (なんだ) 言うてな、ソレグライ
なら おら (俺) も よおすられ (出来る) 言うてな。
そんな事ぐらい言うのを、ソレグライなら おら (俺
は) なんでも すられ 言うてな。ソレグライの事な
ら おらやてて (俺でも) できんこた (出来ない事
は) ないやろど (ないだろう) 言うてな。1) そして
痛い時でも ソレグライの事 しんぼ (辛抱) せえ
(しなさい) とかなあ、泣きたい時でも ソレグラ
イの事ん (に) 泣いたら いかんやんかあ (いけません
ん) とか 言うてな。

それこそ その事は、大変だ。[会話] ソレコソ ひま
のかあ (大変) やれ (だ) まあ言うて ソレコソ え

らい事やれ まあ、あれん (彼に) 聞かれたら たけ
られんねやれ (怒られるのだ) 言う時んなあ (に)。
米の かし汁でも ほったた (捨てた) 事なら ソレ
コソや (だ)。

それこむ ずり落ちる

それしきのこと 【名詞】 その位の事

それしや (其者) 【名詞】 1) その道によく通じて居る
人。専門家、(志 (甲賀)、鳥) 2) 藝者。(志 (甲賀)、
津、松) [会話] ¹⁾ ソレシヤや (です)。専門家。そ
の仕事上手な人を ソレシヤやなあ (だ) 言うて。ソ
レシヤや (だ) 言うて あや (彼は) ソレシヤやもん
でなあ (だから) 言うてなあ。

それぞれ (其々) 【感動詞】 1) 或る物、事に注意を促
す語。2) 或る事を思い出した時に発す語。

ぞれてた、**ぞれてたない**、**ぞれてたれ** ずり落ちて行っ
た。崩れ落ちた。[会話] 帯しとでも (していても)
しよろけて (ゆるんで) 来ると、そやれまあ ソレテ
タレ ぞれとられ言うて。

ぞれとられ 崩れている、崩れ落ちている、ぞれてた参
照

ぞれとる ずり落ちて居る、崩れ落ちて居る。

それどこやあるかい、**それどこやあるかな** (女性語)。
それどこやあるかれ、それどこやねえ、それどこやね
えわい、それどこやねえわな (女性語)。それどこや
ねえわれ それに関わっては居られない。大変忙しい。
大変な事が生じた。

そればっか 【副詞】 そればかり。一つの事を繰り返し行
ったり、言ったりする時に使用する。そればかりの急
呼。(志 (片田)) [会話] ソレバッカ 言うとんね
(言っているのだ) とか、ソレバッカ 食わしとんね
(食べさせていのだ) とか、ソレバッカ着とる (着て
いる) とかなあ、そればかり言うのか 一つの物ばっ
か (ばかり) 言うのなあ (です)。おなし (同じ) も
ん (物) ばっかり 言う事やなあ (です)。同じ物ば
っかり やよつて (だから) 一つのもん (物) やなあ
(です)。

そればな それを [会話] きもん (着物) な (が) 破
れてたよつて (ていったから) ええの (よいのを) お
るせ、ソレバナ あげたて (捨てて) 言うて。

それみたか その通りだろう 注意しても聞かず失敗し
た時に言う語 ざま見ろ それみたけん参照 (熊)

それみたけ、**それみたけん**、**それみたけんな** 言った通
りだろう [会話] ソレミタケ おんな (俺が) 言う
通りやんな (だ)、あんな (彼が) 怒ってくる やん

ない(でしょう)言うて。なんやかや(いろいろ)言うたら あんな 怒ってくんど(来るぞ)言うて、いつも おんな 言うとのん(言っているのに)お前な(が) そいな(そんな)事 言うよって(から)ソレミタカ、ソレミタケ 怒られたど(ぞ)言うてなあ。ソレミタケン 言うてな、おんな 言うた通りや(だ)言うて。言わんことか つね(平素から)に そいな(そんな)ことな(は) 判つとのん(判っているのに)言うてなあ。つね から 判つとのんなあ(判っているのに)言うのを ソレミタケ 言わんことか言うて。ソレミタケン言うて、そやみたけ 言うて 今し(今) しとる(している)事をなあ(です)ソヤミタケ言うて。

それやかして そうとみえて

それやけど【接続詞】それだけれども。然しながら。けど、けれども。上に述べた事や、それから予想される事と反対、不釣合 不調和な事を以下に述べる事を示し、しかし、だが、だけど。一つの事柄を一応そうだと認め、しかし、更に、同等の事柄を対比的にあげるのに用いる。聞き手の意見に、異議を述べるのに用いる。ある事柄にそれと逆の、又は関係の薄い事柄を結びつける。前置を本題に結びつける。二つの事柄を単に結びつける。事実とは反対の事柄を願う気持ちを表す。実現しそうにない、はかない願いを表す。軽蔑し軽んずる気持ちを添える。はっきり言わず、遠回しに述べる気持ちを表す。けれど、けども、けど、くだけた言い方。(志) [会話] ソレヤケド そやけど 一緒やなあ(です)。そやけど ソレヤケド、そやさけん 言うのも一緒やわい(です)。それやもん そやもん 言うのも 一緒や(です) れ な(が) 入るだけや(だけです)。

それやこそ それだから そうだから [会話] ソレヤコソ それをなあ じょおく(いつも)言うやんかあ(のだ)言うてな そおだから 言う事を ソレヤコソ言うのなあ(です)。

それやさけん それだから。それやもんで参照 [会話] ソレヤサケン あんな(彼が) そげん(そんなに)言うて 怒って来たんなあ(のだなあ)言うなあ。それだから、ソレヤサケン あんな、あいな(あんな) 元氣(勢い)で、怒って かつこんで(駆け込んで) 来たんやれ(来たのだ)言うて。

それやったら それだったら(北)

それやで それだから。だから。

それやてのん それだから。そお言ったのに。(鳥(国

崎))

それやてや それです

それやのん それなのに、それなのにの古い言い方。それなのに、そうであるのに、なのに。(志) [会話] おんな(俺が) あげん(あんなに) 言うて(言つて) あんのん(有るのに)、ソレヤノン のな(お前が) また そいな(そんな)事 すんねもん(するのだから)言うてな。ソレヤノンは それだから やなあ(です) それだから 僕が忠告したではないか 言う事や(です)。

それやもん それだから。だから。[会話] ソレヤモン 言うのもな、そやもん言うのも、一緒の言葉やけど(です) その にげ(人間)によってなあ、言いよな(方が) 違うんでや(のです)。ソレヤモンデ そやもんで 言うね(言うのです)。ソレヤモンデ 言うのをな そやもんで こげんなつてたんやんか(こんなになつて行つたのでないか)言うて それだから 言うのに。

それやもんで それだから それ故に それやもん参照(志)

それやよって。それやよってん それだから(志) [会話] そやよってん言うのも、ソレヤヨッテン言うのも一緒や(です)。そやよってん 言うね(言うのです)、よってん言うて てん 付けんね(るのです)。そやよってん 言うた事か 言うてな。注意してあんのん(有るのに)喋つたりすると、ソレヤヨッテン あの人な(が) あげんして(あんなにして) 来たんなあ(来たのだ)言うて。

それやわれ それです(南)

それやんか それです

それる(逸)【自ラ下ー】 勢いよく走る。逸ソレに関する語か(志(布施田)、度、伊、北) [会話] 奥山 むいて(むかつて)ソレル。

それる(逸)【自ラ下ー】 はずれる

ぞれる【自ラ下ー】 1) 崩れる、乱れる。ぞらす参照(志(浜島、布施田、鶴方、神明、立神、国府、安乗)、尾、北、熊) 2) ずれる。少し位置が動く。[会話] 1) ズレルも ぞらすも 一緒やけどなあ(ですが)、ひとり(自然に) ぞれてくのと(行くのと)、人な(が) ぞらすのおと(のと)、上から がら(岩塊) つついておこして(寄して) ぞらすのおと。ぞらす言うのは 人な(が) するし ズレル言うのは ひとり(自然に) ぞれて来るのをな そんだけ(それだけ) な(が) 違う(のです)。

そろい (そろひ) (揃) 【名詞】 全体がそればかりで揃って居る事を表す。[会話] 対の事をなあ みんな (皆) うなしのお (同じのを) 着とると (ていると)、ソロイの浴衣やなあ (だ) 言うてな。昔や (は) みな 友達な (が) ソロイのお (のを) かおや (買しましょう) 言うて ソロイのもん (物) かよお った (買っていました)。

そろろう (そろふ) (揃) 【自ワ五】 1) 集まり、集合。2) 二つ以上のものが一つにまとまる。3) 二つ以上の物の形、程度が等しい状態になる。[会話] 3) うなじ (同じ) よおなのな (が) よお (よく) ソロウ言うて。にげ (人) も せえ (身長) な (が) たっかい (高い) のおと (のと) ひっくい (低い) のおと (のと) うなし (同じ) にすると うたあや (あゝ) よお (よく) ソロトナア とかな、人柄 (性質) も よお ソロトナア 言う事も有るしなあ (有ります)。人柄な (が) よお (よく) ソロウ 言うのは、よお 似とる (て居る) 言うしなあ。せえ (身長) も うなしよおん (同じように) しとんな (して居るのは) よお ソロウナア 言うし (言います)。豆やなんでも 粒な (が) よお ソロウのおを (のを)、とおし (篩) できて とおし (篩) の蓋 取ったると (取ってやると) こやまあ (これは) よお ソロタレ (そろった) 言うて、ちっさい (小さい) の ふるたると (振るい落としてやると) こえん (こんなに) よお ソロテ (揃って) ええのん (よいのに)、めば (見た所) な (が) ええなあ (よろしい)。売る時ん (に) なるとな ちっさいの ふるて (ふるって) 抜い (といて) (ておいて) おっきい のだけ みば (見場) よお して (よくして) 売るわい (売ります)。家い (に) その通したのは おい (といて) (置いておいて) 売るのは あらくたい (粗い) 粒のええのを (よいのを) 揃えて よお ソロトナア こや (これは) 言うてな あ (言います)。1) 今日 公民館へ皆 ソロトシネ てわい (集まって居るそうだ)。皆 寄とる (寄り集まって居る) 言う事なあ (です)。皆 寄って ソロタ (揃った) とこや (ところ) 言うて、ソロタ とこで (所で) なんでも 相談すやなあ (すれば) 言うて 寄り集まると (て居る)。集まって ソロタ トコデ (揃ったところで) なんでもしよおや (しましょう) とか、いおや (言いましょう) とかなあ。

そろえ (そろへ) (揃) 【名詞】 全体がそればかりで揃って居る。そろいの訛。

そろえる (そろへる) (揃) 【他ア下一】 前もって準備す

る。調える。(張) [会話] 下駄 ソロエル。お客さんな (が) 来たよって (から) 庭の下駄も 揃えとけよお (ておきなさい) 言うて。おっきい (大きい) のおと (のと) ちっちやい (小さい) のおと えりわけて (選り分けて) 揃えとけよお 言う時も有るしなあ。色どり (色調) も ソロエル 言う時も 有るしなあ。なんもかも (なにもかも) 皆 そろえとけよお 言うて、ごっつお (御馳走) の用意すんの (するのを)、下準備すんのなあ (するのです)。なんもかも ソロエテ えごと (完全に) しとけよお 言うて、手芸すん (る) のでも 道具も ソロエル 言うてな。

ぞろける 【自カ下一】 崩れる。ずれ落ちる。だらしなくなる。(志 (磯部)) [会話] ぞれてた (ていった)。すべってた 言うのを、ゾロケル。まいかけ (前掛) な (が) ぞれててまあ (て行って) 言うて、腹な (が) へったかして (空いたのか) 帯も ゾロケル とかなあ。帯な (が) ゆるんで来ると なあ。ずれて来ると やんない (でしよう)、そすと ゾロケル 言うの (のです)。だらしのおて (だらしなくて) すべり落ちて くんのをなあ (来るのを)、ゾロケル 言うの。そして きもん (着物) な (が) 破れとんの (ているのを) 着とると (ていると) ぞれとんの (ているのを) 着とんない (ている) 言うて。

そろそろ 【副詞】 1) ぼつぼつ、間もなく 2) ゆっくり 静かに

そろた そろった 揃っている (桑郡、鈴市、度、伊) [会話] ソロタ。みんなな (皆が) 一緒ん (に) になった 言う事や (です)。ソロタ ソロタ 踊り子な ソロタ 秋の出穂より よおソロタ 言うて 踊り子な (が) 揃うのも ソロタ。着るもん (物) でも おた よお (よく) ソロタ なあ 言うて。

そろっと 【副詞】 静かに、そっと、ひそかに。(鳥、上、阿) [会話] そっと 言うのと、ソロット 言うの、それも 一緒やんかい (です)。その人の 言いよ (方) によって、ソロット 歩いて来いまあ (来なさい) とか、そっと 歩いて来いまあ 言うて。

ぞろっと 【副詞】 1) 小さい物が多数あるさま。2) だらしないさま。(鳥、上、阿) [会話] 2) ゾロット 言うと、きもん (着物) 着たら なあごおなあ (長く) つちのこ (踝) いまで ゾロット 引き摺って言うてな、こんぶ (瘤) い (へ) 迄 きもん (着物) きとると (着ていると) つちのこ 引き摺とられ (ている) 言うてな。1) 豆や そいな (そんな) もん (物) な (が) よけ (沢山) 有ると ぞろぞろ する程 あら

れ(有る) たらなあ(とか)、沢山有ることを ゾロツ有る言うてな。

そろて 1)揃って(志、鳥、三、鈴市、阿、伊) 2) 一緒になって [会話] ① みんなな(皆が) ソロテ、出て来たたらなあ(のだ) 言うて。一緒ん(に) なって。みんな(皆) そろて来た言うのも ソロテ来た。① きもん(着物) おなしんのを(同じのを) きとんのも(着ているのも) まあ ソロテ 着とんなあ(着ていますね) 言うてな、うなしんのを(同じのを) きとんと(着ていると)。

ぞろね【名詞】 だらしく寝ているさま [会話] 寝ころんで ゾロネ こいて(して) 言うて、ころんどんのおを(寝転んで居るのを)。

ぞろねこく だらしく寝ている。[会話] ぞろね言うな のたつて(寝そべつて) 横ん(に) なったりすると ゾロネコク言うて。

そろばん【名詞】 ころ、物を移動させる時下に敷く丸い玉。ころ参照 [会話] ころ言うな(のは) すべりの事。家 こかすの(移動させるのを) ソロバン、ころや(だ)

そろばんづく【名詞】【形容詞】 何事も損得を考えて行動する事。かんじよづく。

ぞろひく 着物の裾や帯などを引きずる。

そわす(そはず) (添)【他サ五】 夫婦にさせる。結婚させる。

そわり つけ加わるもの 副えるもの 新たに加わるもの [会話] いこに(行こう) おもとる(思っている) 内に、また 誰か ソワリな(が) 来て、ながびてて(長くなって) 時間な(が) 遅れたよお 言うて。

そわりもん【名詞】 与えられたもの。授かった物。

そわる(そはる) (添)【自ラ五】 1) 側にある 2) 与かる。与えられる。(志(布施田))

そん(孫)【名詞】 孫、血統、血筋。(志(浜島、布施田、安乗)、度、南、熊) [会話] あの家の ソン、血統の事を ソんや(だ) 言う。あの家の ソンは 肺病のソんや(だ) とかなあ、何々のソんやとか 言うてな、血統の事をな。ソンは 笛吹く 煙草は吸う 言うて。

そんかく(損) 損をする。[会話] ソんカク。損した言う事。そんかけて(させて) 言う時も 有るしなあ、損した時や(は) ソんカイタよお(しました) 言うて、ものすごい(大変な) ソんカイテ、よわつたよお(困った) 言うてな。

そんかけて(損) 人に損をさせて [会話] 人にソん

カケテ、損かける(させる) 時やなあ(です) ソんカケテ言うのは。

そんかける(損) 損をさせる。[会話] 喰うて 倒したる(てやる) 事 ソんカケル事 喰い倒し。

そんかぶる(損) 損をする。(尾)

そんげな【副詞】 そのような

そんげなこと そんなこと(志、桑市) [会話] そげな事 言うたてて(言つても) 言うね(言うのです)。人な(が) なんやかや(いろいろ) 言うて ソんゲナコト 言うたてて わかろかれ(判りません) おらな(俺が)。偉い人な(が) 英語 言うて来ると ソんゲナコト 言うたてて わしらな(私達が) けんとな(見当が) わかろかい(わかりません) 言うて。

そんげに【副詞】 そのように、そんなに。[会話] そげん ソんゲニ。そんげん(そんなに) よけ(沢山) くれんねかいとか(くれるのですかとか)、そげんまあ おとつしや、もてくねかい(持って行くのですか) 言うたりな、そげんも(そんなに) 言うな(言います)。そんなに よけ くれんのか 言うの(のを)、そげんよけ 言うてな。そげにも ソんゲニも 一緒やけどな(です)、なんか(なにか) ちよいと(少し) 気張つて ソんゲニ言うて ものすごお(大変) よけ もろたり(貰つたり) するとなあ。

そんげん【副詞】 そんなに。そげん参照(志(布施田)、鳥(菅島))

ぞんざい【名詞】 1) 物事を丁寧にしな事。いひかげんにする事。2) 失礼。無礼。(志(甲賀)、松、多、尾) [会話] ① ゾんザイな言葉 つこて(使つて) 言うやんかい(言います)。丁寧ん(に) せんとか(しないとか) 何も彼も ざつばにする事なあ てえねえ(丁寧)にしな事なあ(です)。

そんしゃ そうすれば。[会話] 一服言うな(のは) 仕事休む事。ひと息いれる 言う事。ソんシヤ 煙草な(が) 吸いたいもな(者は) 吸うし 休むもな 休むし。

そんじゃ 1) それなら、それじゃ、それではの転。前述の事柄を受けて、そこから導かれる結果へ続ける語。前述の事柄をしめくくつて、話題の転換を示す語。

2) 別れの挨拶の言葉。そうゆう事では。(志、鈴市、伊) [会話] ① ソんジャア あれ せんかい(しなさい)、ソんジャ 其れもて来い(持って来い) とかな。ソんジャア 言うこた(事は) 言うな(言います)。ソんジャア それ したろかい(してやろうか) 言うて。ソんジャア それ しよおやんかあ(しましよ

う) 言うてなあ。

そんじゃあ それでは **そんじゃ参照** (志、鈴市、伊)
そんじょ (そんぢょ) 事物、場所、時、人などについて
具体的な名をあげず、又、不確定に指示する時に用い
る語。

そんじょそこら (そんぢょそこら) 【代名詞】 その辺。
そこら辺。ソソジョはソソジョウ (その定) の転。
(広辞苑) そこらを強めて言う語。(志 (浜島)、鳥)

そんじる (損) 【他ザ上一】 壊す。損なう。

そんする (損) 【他サ変】 利益を失う。損をする。(南)
[会話] ソソスル。そんした言うけどな (言います)。
おら (俺は) 今日はそんやった (だった) 言うてな。
なんも (少しも) 出来んで、ソソスルとか、**なんも**
貰らわんで (わなくて) ソソスル とかなあ、**あしこ**
い (あすこへ) **いたけど** (行ったが) **おらんで** (居な
くて) **そんやった** 言うて、言う時も有るしなあ。
のげ (お前の家) **い** (に) **いたけど** (行ったが) **のな**
(お前が) **おらんで** (居なくて) 行き損やった、歩る
き損やった 言うたりな。

そんた 【代名詞】 貴方 君 その人 そなた (其方)
の変化した語 (志、鳥 (加茂)、松、度、尾、北、
南) [会話] あんた ソソタ 言うて あんたや ソ
ソタや言うて。

そんたい (其代) 【名詞】 その代り そのかわりの古語
ソソダイ (其代) の転 (広辞苑) (度) [会話] 働き
な (が) **えろおて** (大変で) **えろおて**、朝も早やいし
よさり (夜) も **おっせいし** (遅いし) ソソダイ、**ち**
ん (賃金) は、**よけ** (沢山) **貰らうんけど** (ののだが)。
ソソダイ 此れを **お前げ** (お前の家) **い** (へ) **やる**
わい (あげます) 言うて、その代り 言うのをな **お**
前ん (に) 此れもろた (貰らった) ソソダイ 此れ
わしげから (私の家から) **やるわい** 言うてな。かわ
りに **やる** 言う事をなあ、ソソダイ **言うねなあ** (言
うのです)。交換することやなあ (です)。

そんだけ (其丈) 【名詞】 1) それだけ、それきり、其
れ切り、物事をそれ迄と限定する意を表す。 2) そ
れで最後、それ限り、それっきり、それで全部、それ
だけ。それだけ、他の事はともかく、特に、それは、
それで全部、それきり、それくらい、その程度、その
程度にふさわしい事。(員、三、鈴市、鈴郡、張、伊、
北) [会話] 1) ソソダケの **もんなあ** (物) 言うて、
すけない (少ない) となあ ソソダケの **もんなあ** 人
ら (に) **やんのん** (やるのに) **やらよかれ** (やられな
い)。ソソダケの **もん**。ソソダケやそこら 言うたり

(言ったり) ソソダケの **もん** (物) **人らげ** (家) (他
の人に) **やんのん** **わりわれ** (悪いです) 言うてなあ。
ソソダケの **もん** とか **ソソダケやどけ** (其の位) 言う
のは **一緒やわい** (です)。**すけない** (少ない) 言う
事なあ (です)。

そんだけぐらい その位 少量の事を表す。(上、阿)

そんだけやそこら。そんだけやどき。そんだけやどけ
その位 少量を表す [会話] ソソダケヤソソラ **く**
れんのかい (くれるのですか)、**もろて** (貰って) **来**
たててなあ (来ても) **なとするや** (どうするのだ) 言
うて。**すこおしの** (少しの) **もん** (物) を言う事、**ち**
よいと (少し) の事をなあ、そんだけの **もん** 言うてな。
そんだけの **もん** なあ **おらな** (俺の) **一口やれとか**
(だとか)、仕事なら そんだけの **もな** (ものは) **お**
らな (俺が) **ちよいちよいと** **したられ** (しまし
まう) 言う時も 使うしなあ。お金でも **ちよいと** の時
や (だ) となあ、そんだけの **もん** **くれるわ** (あげま
す) 言うてな。ソソダケヤドケの **もん** (物) **言うね**
(言うのです)。**ちよいと** **やと** (だど) ソソダケヤ
ドケの **もん** 言うて。ソソダケヤドキも ソソダケヤ
ドケも **一緒やんかい** (です) ソソダケヤソソラも **一緒**
や (です) そんだけの **もん** (物) 言う時も 有るし
なあ。

そんだる そいでやる。削ってやる。そんだろん参照

そんだろん 1) 張り倒してやる 叱る時の言葉 2)
削ってやる。[会話] 1) **びんづら** (横面) ソソダロン
言うて、**こらら** (子供) **わるう** (叱る) **時ん** (に)、
怒る **時ん** なあ (に)。**だれ** (どれ) **おんな** (俺が)
びんづら ソソダロン 言うて、**びんづら** **撲ったろん**
(てやろう) 言うのなあ。2) 削るのも **ソソダル** **そ**
んだたない (削ってしまった) 言うて、滑べって 足
そんで **来たんよお** (来ました) 言う時も有る **やんかい**
(有ります)、**擦り剥いたる** (てやる) ことをなあ。

そんて そのようにして。そうして。(志 (布施田))

そんで 【接続詞】 1) それで、その物で 2) 然りて、
それで、前述の事柄を理故として、次の帰結へ続ける
場合に用いる語。それだから、そのため、話題を新し
く発展させる場合や相手の話しを促す場合に用いる語。
そして。(志、桑郡、桑市、鈴市、安、津、久、一、
多、阿、張、度、伊、北、熊) [会話] 1) ソソデ
今日は **なんか** (何か) **しょおやんかあ** (しましよ
う) 言うのを、**ソソデエ**。それでえ 言うのを ソソ
デまあ 今日は **なんか** すると **ええねなあ** (よいの
だなあ) 言うたり。

そんでえ その物で

そんでなれ そうしてです。

そんでも【接統詞】それでも、けれども。(鳥(相差)、三、四、鈴市、鈴郡、阿、張、伊、南) [会話] ソンデモ お前(貴方) こげん (こんなに) 言うたやんかい(でありませんか) 言う事なあ(です)。言うた事を あんたな (貴方が) 違うやんかい (違います) 言うても、ソンデモ お前 こげん言うたやんかい。相手の事を 否定する言うか ソンデモ お前 わしな (私が) こげん言うた時 こげん (こんなに) 言うたやんかい。

そんとき【名詞】その時間、その時。[会話] ソントキに お前(貴方)、言うてくれやええもん (言ってみればよいのに) 言うてな。ソントキ そんに (そのように) 言うて くれやええもん。そげな時 ソントキ 言うのなあ (言います)。その時ん(に) 言うて くれや ええけど (よいのに) いまどき (今) 言うたてて (言っても) はざおかい (駄目だ) てな事や (と言う事です)。

そんな【形容詞】1) そのような。2) それが。(志(浜島)、鳥(坂手)、津、伊賀地方、度) [会話] 1) ソンナもん(物) 言うのは、そげなもん (そんな物) 言うて。そげなもん くれたてて (くれても) おら (俺は) 要らんわれ (要りません) とかな、そげなもん (そんな物) 間にあおかれとか (合わない) 言うてな ソンナもん (物) や (です)。

そんないく 損をする。損を生ずる。[会話] それ お前げ(家) い (へ) 呉れたたら (呉れてやったら) ソンナイクわい(です) 言う時も有るしなあ。そんだけ (それだけ) お前げ(家) い (に) もてたら (持って行ったら) おらまあ (俺は) なんも (少しも) 儲や (は) ない、ソンナイク言う。なんも (少しも) 儲な (が) のおて (無くて) ソンナイク言うて、損する言う事をな ソンナイクわい 言うて、なんも 儲ないわい (有りません) 言うて。

そんながり そのまま。その状態のまま。(志(布施田)) [会話] そのまま言うのを ソンナガリ 言うの。まるね (着替えずに寝る) するとなあ、ソンナガリ まあ 寝てたれ (寝ていった) 言うて。

そんなきや【接統詞】それでは。そんなら参照

そんなら【接統詞】1) それなら、そういう事なら、それでは。それなら。(志(国府、甲賀、鶴方)、鳥(相差)、桑郡、四、鈴市、鈴郡、一、松、多、上、張、名、伊、尾、熊) 2) 別れの挨拶の言葉。[会話]

1) ソンナラやろか (しましようか) てやら (とか)、ソンナキヤやろか 言うてなあ 櫓 漕ぐ時ん (に) 〇〇言う人な (が) 櫓 漕んでも なつとも (何んとも) 言わんと (言わずに) むしこぎ (黙って漕ぐ) するもんで (するので)、〇〇 櫓声もせんか 言うたら (言ったら) ソンナラ、やん言うて。やんやん言うて わしらな (が) 漕ぐのん (のに)、〇〇な (は) なつともかつとも (何も) 言わんと (言わずに) むしこぎしとんの (して居るのです)。〇〇 櫓声もせんか 言うて あ ソンナキヤ、やん言うて。むしこぎ言うのは黙ってなあ、櫓 漕ぐ時や (は) 皆 掛け声 で やんやん 言うて漕ぐわい (漕ぎます)。そすと (そうすると) 又 替つても 替つたもん (者) な (が) やん言うて、後ろも まえども 言うて 両方な (が) 漕ぐやんな (でしょう)。そすと 体な (が) 一緒になると 体うつやんかい (打つのです)。こつちや (こちら) な (が) 引いて あつちや (あちら) も引いて来ると、ぼたんぼたん 言うてなあ ぎやふぎやふ 言う程 打つやんかい。そやもんで (それで) こつちや な (が) やん言うて そすと (すると) 又 あつちや な (が) やん言うて 引く時ん (に) やん言うて あつちやな やん言うた時ん(に) こつちや 押すやんない (押すでしょう)。そやもんで (それで) 体な つかえやせんねけど (触れないが) 櫓声な (が) 無いとなあ びたびた打つ時な (が) あんねてや (有るので)。そやもんで (それで) 皆 櫓声 すんねやんかい (するので) やんやん言うて。

そんならそおと それならその様に(員)

そんなり【名詞】そのまま。(員、伊、北) [会話] おつけの(味噌汁) みい (実) なんも (なにも) 入れんと (入れずに) 味噌だしとして ソンナリ 炊いたの (のを) がんじる 言うわい(言います)。

そんなりや【接統詞】それでは、それなれば。[会話] そんなら 俺も 行くわい (行きます) 言うて。来て くれえ (下さい) 言うて、わしげや (私家は) 行かれやせん (行けない) けど (が)、あんたな (貴方が) そげん (そんなに) 言うんなら ソンナリヤ 行こかいなあ (行きましようか) 言うて。そんなら言うて。

そんなんてや そうなのです。その通りです。[会話] なんか (何か) 言うても そおやてや (そうです) ソンナンテヤ 言うて。相槌打つ事を。

そんなんてや 損なのです。

そんに そんなに。(志(志島、神明、浜島)、桑市、員、

鈴市、鈴郡、度、伊) [会話] 時化な(が)して来て
どしゃ降りやれ(だ)言うて、時化降り言うな
(のは) 言わせん(言いません) ソンニ(そんなに)。

そのうわぬり 損の上に更に損を重ねる事

そんひく 遺伝する(志(浜島)) [会話] ソンヒク、
そん言うて 血統の事をなあ。ソンヒイトンネよって
(ているのだから) 言うて、ちい(血) ひく言う事を
なあ。あや(彼は) まあ かぎ(盗人) の血統やよっ
てん(だから) とか、そんやよってん(だから) とか
言うてな。わり(悪い) 病気になるなあ そんやよ
ってん 言うてな、あや(あれは) あの家 そんや
(だ) もんなあ(から) 言うてな。

ぞんぶ 【名詞】 存分。十分なさま。思い通り行う事。
思うままに行う事。思っ居る事。(志(布施田、鶴
方、神明、立神、甲賀、国府、志島)) [会話] せん
ぎり(十分に) 言う事やなあ(です)。ゾンプ よば
れた(御馳走になった) 言うて。ゾンプよばれて(御
馳走になって)、もおて(貰って)。せんぎり言う事や
なあ(です)。せんぎりでや(とは) 十分に せんぎ
りよばれて 言うのは、ゾンプ よばれて。言いたい
事 ゾンプ 言うて まあ とくしん(得心)(納得)
した 言う事も有るしなあ(有ります)。ゾンプ言う
な(のは) 存分と一緒や(です)。

ぞんべ 【名詞】 崖の傾斜の緩い所。[会話] 坂な(が)
ゾンベなどこ(所)、あの坂 なるうて(ゆるくて)
ええなあ(よい) 言うて。

そんや 損だ。嫌だ。

そんやった 損だった 得るものが無かった [会話]
ソんヤッタ言うて。 なんも(少しも) 出来んで(な
くて) ソんヤッタとか、なんも 貰らわんで(わな
くて) ソんヤッタとか、あしこい(あすこに) いたけど
(行ったが) おらんで(居なくて) ソんヤッタ 言う
て。

そんりよお(そんれう) (損料) 【名詞】 損料。使用料。

長崎の夫婦喧嘩

言わしときや ござんんでも ござんんでも ぬかし
やがる。おがぜんで おが、じよる 買うとに 何
ちゅうとか まいっぺん 言うてみる しょうちせん
とばい ここにや おかかんけん でてうせろ こもつ
れて。

“言わしておけば どうでも こうでも 言いやがる。
俺の銭で 俺が女郎買うのに 何言うかもう一度 言
ってみろ 承知しない。此処には 置かぬから 出て

失せろ 子も連れて。”

さいらの歌

わいら いかんこ はよいかな さいらのわたが あ
たられぬ おぼき だら 持って よいやはしれ さ
だいち こつる だらもってはしれ。

“お前達 行きなさい。早く行かないと 秋刀魚のわ
た(内臓) が貰えない。おぼき(小母貴) だら 持っ
て一生懸命に 走りなさい。定一 こつる だら持っ
て走れ” さいら(秋刀魚) 開きん(に) 行くのんなあ
(のに) わしら(私) 子供の時分(頃) 皆な(が) さ
いら(秋刀魚) 開きん(に) 行きおったの(行きました)
。嫁と 姉んこ(娘) と ふたんななあ(二人
が) 精四郎屋(屋号) い。(へ) その家ん(に) 開き
に行くね(行きます)。そすと 姉んこな(が) 開く
と わしや(私は) わた(内臓) 取ってなあ、しまい
に(終りに) その さいら(秋刀魚) の わた(内
臓) を皿で分けてなあ お前もひとしろ(一人前) わ
しも(私も) ひとしろ(一人前) 言うて みんなん
(皆に) 宿(主人) の人な(が) 分けて呉れてなあ
皿に一杯つ(ずつ)、そして残ると 又 分けて呉れ
てなあ。よがなよおじゅう(一晚中) しても さらん
(皿に) 一杯か二杯つ 貰うのんなあ(のに) 朝迄え
つ(まで) 開いとりおったの(開いて居ました)。そ
の さいらのわたを 当られやせん(貰えない) 言う
て言う歌やわいなあ(です)。“わいらいかなこ はよ
いかな さいらのわたが あたられん おぼき だら
もって よいや走れ。” はよ(早く) いて(行って)
開かな(かなければ) おっそお(遅く) 行くと あの
ひた(人は) 今頃来ても 皿一杯貰うね(貰います)、
おら(俺は) こげん(こんなに) はよ(早く) 来とて
も(来て居ても) 皿一杯より貰わせん(ない) 言われ
るもんで、(ので) はよ(早く) いかな(行かなけれ
ば) 言うて、その歌やわい(歌です)。だら だら
言うのは 昔や(は) 漁師の家ん(に) 楕円形の卵形
の蓋を びちんとしてなあ 魚入れとく(ておく) の
ん(のに) だらや(と) 言うて有りよおったわい(有
りました)。必ず有よおったわい。今し(今) で言う
と 冷蔵庫の代りやわい(です)。それへ 魚入れて
びちゃつと 石おさいとく(押さえておく) 猫な
(が) 喰わんよん(食べないように) しときおったの
(して置きました) それを だら言うの(のです)。
だら持って走れ そのだらい(へ) 分けてもおて(貰
って) しょから(塩辛)。さいら(秋刀魚) の わた
(内臓) 入れて くんのん(来るのに)。さいらのわ

たは しょからん (に) すんの (します) わたじよか
らん (に) 又うまいんてや (美味しいのです)。それ喰
うのな (が) 麦飯ん (に) べたつとして 喰うとなあ
五、六杯つ (ずつ) 喰うやんかい (食べます)。それ
貰うのんなあ (のに) 開きん (に) 朝迄えつ (迄) よ
け (沢山) ある時やなあ (は) 開いとりおったの (開
いて居ました)。そすと 朝ん (に) なんと 又なあ
塩したのおを (のを) 干し番に行くやんかい (行きます
す)。貰やって (並べて) 皆な (が) 干し番に 行く
んやんかい (行きます)。そすと そのさいら (秋刀
魚) あるた (洗った) しる (汁、残り水) を たあご
(たご、担桶) 一杯つ貰うのん (のに) 昼迄いつ
(迄) かかりおったの (かかりました)。よさり
(夜) は 開きん (に) いて (行って) わたもろて
(貰って)、朝ん (に) なんと 塩したのおを (の
を) 干し番にいて 水みたいなのおを (のようなの
を) こやし (肥料) ん (に) いっかあつ (一荷ずつ)
貰うのん (のに) 昼迄えつ (迄) かかってなあ 行き
おったねな (行きました) 昔や (は)。